

川西徹：健康医療戦略とナノDDS製剤のレギュラトリーサイエンス。

日本薬剤学会第31年会ラウンドテーブル (2016.5)

川西徹：第17改正日本薬局方の告示とその医薬品品質へのインパクト。

第14回新製剤技術とエンジニアリングを考える会 (2016.7)

Kawanishi T: Expectation for the future and the role of the JP From academia's perspectives.

JP 130th Anniversary Symposium (2016.9)

川西徹：国立医薬品食品衛生研究所。

COINS国際シンポジウム (2016.12)

Mori K^{*1}, Yamori T^{*2}, Kawanishi T, Inoue T: Regulatory Science for R&D Promotion of Innovative Pharmaceuticals.

The 3rd International Meeting for Medicinal Sciences (2017.3)

*¹ MHLW

*² PMDA

合田幸広：シンポジウム，伝統医学の国際化はだれのためか「The Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) の活動」。

第67回東洋医学会 (2016.6)

合田幸広：シンポジウム I，定量NMRから見えてくる世界「日本薬局方における定量NMR」。

日本生薬学会第63年会 (2016.9)

合田幸広，細江潤子，杉本直樹，末松孝子^{*1}，三浦亨^{*2}，山田裕子^{*2}，鈴木裕樹^{*3}，勝原孝雄^{*3}，五十嵐靖^{*3}，西村浩昭^{*3}，菊地祐一^{*3}，山下忠俊^{*4}：吸湿性試薬の定量NMR。

日本生薬学会第63年会 (2016.9)

*¹ ジオルレゾナンス

*² 和光純薬

*³ ツムラ

*⁴ 常磐植物化学

合田幸広：第17改正日本薬局方における生薬関連の話題。

生薬学会関西支部秋期講演会 (2016.10)

Suematsu T^{*1}, Hosoe J, Sugimoto N, Yamada Y^{*2}, Miura T^{*2}, Suzuki H^{*2}, Katsuhara T^{*3}, Igarashi Y^{*3}, Nishimura H^{*3}, Kikuchi Y^{*3}, Yamashita T^{*4}, Goda, Y: Application of quantitative 1H NMR to the hygroscopic reagents.

5th Annual Practical Application of NMR in Industry Conference, South Carolina, USA (2017.2)

*¹ ジオルレゾナンス

*² 和光純薬

*³ ツムラ

*⁴ 常磐植物化学

篠田量太^{*1}，山路誠一^{*1}，吉田和範^{*1}，赤坂優駿^{*1}，新井一郎^{*1}，寺林進^{*2}，酒井英二^{*3}，阿部尚人^{*3}，三宅克典^{*4}，合田幸広，川原信夫^{*5}，飯田修^{*5}：日本薬局方『ボクソク』の生薬学的研究 (第4報)。

日本薬学会第137年会 (2017.3)

*¹ 日本薬科大学

*² 横浜薬科大学

*³ 岐阜薬科大学

*⁴ 東京薬科大学

*⁵ 医薬基盤研薬用植物資源研究センター

Yoshida H, Kuwana A, Shibata H, Izutsu K, Goda Y: NGI and ACI Analysis of Aerodynamic Particle Size Distribution of Dry Powder Inhalers: Effect of Cut-off Diameter and Flow Rate.

Respiratory Drug Delivery 2016 (2016.4)

伊豆津健一：実用段階に達した医薬品コクリスタルの製造に関する留意点。

日本薬剤学会物性・前臨床開発FGジョイントセミナー (2016.5)

伊豆津健一：ジェネリック医薬品の品質確保と生物学的同等性。

日本薬剤学会第31年会シンポジウム (2016.5)

柴田寛子，吉田寛幸，伊豆津健一，合田幸広：腸溶錠からの薬物放出に対する炭酸水素緩衝液の濃度と種類の影響。

日本薬剤学会第31年会 (2016.5)

吉田寛幸, 桑名明美, 柴田寛子, 伊豆津健一, 合田幸広:
フロースルーセル内の水流と製剤の溶出性への送液ポン
プの種類の影響.

日本薬剤学会第31年会 (2016.5)

Shibata H: Issues with bioequivalence for parenteral
formulations.

5th DIA CMC Forum in Japan-Challenge of Future BE
Study- (2016.5)

吉田寛幸, 柴田寛子, 伊豆津健一, 合田幸広: 公的試験
機関による後発品の品質確保への取り組み –ジェネ
リック医薬品品質情報検討会におけるアレルギー用薬の
溶出試験結果–.

医療薬学フォーラム2016 (2016.6)

照屋慶太*, 吉田寛幸, 柴田寛子, 伊豆津健一, 郡司美
穂子*, 米持悦生*, 合田幸広: フロースルーセル溶出
試験装置における水流プロファイルと製剤の溶出性への
試験液の脱気の影響.

第60回日本薬学会関東支部大会 (2016.9)

* 星薬科大学

伊豆津健一: ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動
内容について.

ジェネリック医薬品学会 第10回学術大会 (2016.7)

Izutsu K, Yoshida H, Shibata H, Goda Y, Arai R,
Ito M, Sugano K, Noguchi S, Terada K: Formation
of glycine/glutaric acid cocrystal by freeze-drying:
Characterization of frozen solutions and dried solids.
CPPR Freeze Drying of Pharmaceuticals and
Biologicals Conference (2016.7)

Izutsu K, Shibata H, Yoshida H, Goda Y: Freeze-Drying
of Multi-component Pharmaceutical Formulations.

20th International Drying Symposium (2016.8)

柴田寛子, 吉田寛幸, 伊豆津健一, 合田幸広: リュー
プロレリン酢酸塩封入マイクロスフェア製剤からのin
vitro薬物放出性評価.

第26回日本医療薬学会年会 (2016.9)

吉田寛幸, 柴田寛子, 伊豆津健一, 合田幸広: Model
independent multivariate confidence region procedure
(method B) を用いた溶出挙動の類似性判定に関する検

討.

第6回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2016.9)

伊豆津健一: 欧米における早期承認審査制度とCMC,
GMP対応について.

日本PDA製薬学会・開発QA委員会・研究成果報告会
(2016.10)

吉田寛幸, 柴田寛子, 伊豆津健一, 合田幸広: 公的試験
機関による後発品の品質確保への取り組み –ジェネ
リック医薬品品質情報検討会WGによるロラタジン錠等
の溶出試験結果–.

第49回日本薬剤師会学術大会 (2016.10)

吉田寛幸: 後発医薬品の品質確保の推進に向けた今後の
取り組み.

第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

吉田寛幸: 日本薬局方における吸入剤試験法の現状.

日本薬剤学会経肺経鼻投与製剤FG研究会 (2017.1)

伊豆津健一: 欧米における共結晶医薬品ガイドラインの
動向と評価法.

立命館大学創剤研究コンソーシアム・研究会 (2017.2)

宮崎玉樹, 阿曾幸男, 合田幸広: 市販経皮吸収型製剤の
粘着特性.

日本薬剤学会第31年会 (2016.5)

宮崎玉樹, 杉林堅次*¹, 四方田千佳子*², 道中康也*³:
ラウンドテーブルセッション「経皮吸収型製剤の未来を
見越して –さらなる発展に向けた品質評価法とは」.

日本薬剤学会第31年会 (2016.5)

*¹ 城西大学

*² RS財団

*³ 久光製薬

Miyazaki T, Aso Y, Goda Y: Application of thermal
analysis in the field of drug discovery: Stability
assessment of amorphous drugs by DSC and IMC.

CALCON 2016 (2016.7)

Miyazaki T, Aso Y, Goda Y: Temperature and
relative humidity dependence of the polymorphic
transformation rate of sulfathiazole form I to form IV.

2016 AAPS Annual Meeting (2016.11)

宮崎玉樹, 阿曾幸男, 合田幸広: 未開封状態での測定による経皮吸収型製剤中の薬物の結晶性評価.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

Sasaki T^{*1}, Tanabe T^{*2}, Sakamoto T, Nishizawa J^{*2}: Continuous Wave Terahertz Signal Generator based on Difference Frequency Generation in Gallium Phosphide Crystal and its Applications for Spectroscopy.

The 11th Annual IEEE International Conference on Nano/Micro Engineered and Molecular Systems (IEEE NEMS 2016) (2016.4)

*¹ Shizuoka University

*² Tohoku University

坂本知昭, 副島武夫*, 赤尾賢一*, 香取典子, 合田幸広: 赤外, 近赤外及びラマン分光法を用いたキノロン系合成抗菌剤の酸化チタン (IV) 光触媒分解の分子振動解析.

平成27年度日本分光学会年次講演会 (2016.5)

* JASCO

副島武夫*, 名越利之*, 湯本政昭*, 赤尾賢一*, 永森浩司*, 坂本知昭: ラマン分光法を用いた医薬品錠剤のUV劣化に関する深さ方向の評価.

平成27年度日本分光学会年次講演会 (2016.5)

* JASCO

島村りえ*, 岡留悠祐*, 鈴木郁也*, 小出達夫, 久田浩史*, 井上元基*, 深水啓朗*: ラマン分光法を用いた錠剤中主薬の定量.

日本薬剤学会第31年会 (2016.5)

* 明治薬科大学

井上元基*, 久田浩史*, 小出達夫, 深水啓朗*: プローブ型低波数ラマン分光器による結晶転移のモニタリング.

日本薬剤学会第31年会 (2016.5)

* 明治薬科大学

久田浩史*, 井上元基*, 小出達夫, 深水啓朗*: 近赤外レーザー搭載携帯型ラマン分光計を用いた医薬品原料の受入れ試験と分析法バリデーション.

日本薬剤学会第31年会 (2016.5)

* 明治薬科大学

小野誠^{*1}, 深水啓朗^{*2}, 小出達夫, 池田幸弘^{*3}, 谷田智嗣^{*4}, 米持悦生^{*5}: 承認薬におけるCocrystalの可能性調査.

日本薬剤学会第31年会 (2016.5)

*¹ 第一三共 (株)

*² 明治薬科大学

*³ 武田薬品工業 (株)

*⁴ 中外製薬 (株)

*⁵ 星薬科大学

深水啓朗^{*1}, 渡邊和佳^{*1}, 沢田亜幸^{*2}, 田籠美保子^{*2}, 外石昇^{*2}, 井上元基^{*1}, 山本佳久^{*3}, 小出達夫: タクロリムス含有する軟膏剤中における主薬の分散状態に関する研究.

日本病院薬剤師会関東ブロック第46回学術大会 (2016.8)

*¹ 明治薬科大学

*² 総合東京病院

*³ 帝京平成大学

嶽本佳菜子^{*1}, 東初樹^{*1}, 山田優希^{*2}, 井上元基^{*1}, 山本佳久^{*2}, 小出達夫, 深水啓朗^{*1}: カールフィッシャー法と近赤外分光法による半固形製剤中の水分量測定.

日本病院薬剤師会関東ブロック第46回学術大会 (2016.8)

*¹ 明治薬科大学

*² 帝京平成大学

照沼憂哉^{*1}, 向山龍司^{*2}, 田籠美保子^{*2}, 外石昇^{*2}, 久田浩史^{*1}, 井上元基^{*1}, 山本佳久^{*3}, 小出達夫, 深水啓朗^{*1}: アセトアミノフェン坐剤に含まれる主薬の粒子径および分布の可視化に関する研究.

日本病院薬剤師会関東ブロック第46回学術大会 (2016.8)

*¹ 明治薬科大学

*² 総合東京病院

*³ 帝京平成大学

坂本知昭, 佐々木哲朗*, 香取典子, 合田幸広: アナターゼ型酸化チタン (IV) の水和医薬品への光触媒作用に関するフォノン及び分子振動解析.

日本分析化学会第65年会 (2016.9)

* 静岡大学

秋山高一郎*, 堀田和希*, 坂本知昭: テラヘルツ波減衰全反射分光法を用いた牛乳とヨーグルトの吸収特性の経時評価.

日本分析化学会第65年会 (2016.9)

* 浜松ホトニクス中央研究所

堀田和希*, 秋山高一郎*, 坂本知昭: テラヘルツ波減衰全反射分光法による点眼剤・注射剤の計測評価.

日本分析化学会第65年会 (2016.9)

* 浜松ホトニクス中央研究所

上山栄二*¹, 阿形泰義*², 尾澤侑治*³, 井上敬介*⁴, 臺場昭人*⁵, 香取典子: Quality by Design における規格試験の役割および消費者危険/生産者危険を考慮した規格設定提案.

日本PDA製薬学会技術教育委員会 研究成果発表会 (2016.9)

*¹ 第一三共 (株)

*² アステラス製薬 (株)

*³ 大鵬薬品工業 (株)

*⁴ 武田薬品工業 (株)

*⁵ ダッソー・システムズ・バイオピア (株)

東初樹*¹, 嶽本佳菜子*¹, 山田優希*², 井上元基*¹, 山本佳久*², 小出達夫, 深水啓朗*¹: 近赤外分光法を用いた半固形基剤中の水分含量測定.

第26回日本医療薬学会年会 (2016.9)

*¹ 明治薬科大学

*² 帝京平成大学

田邊佑太*¹, 前野祐介*², 井上元基*¹, 久田浩史*¹, 小出達夫, 深水啓朗*¹: 医薬品コクリスタルの探索スクリーニング法に用いるEnhancedナノスポット法の開発.

第60回日本薬学会関東支部大会 (2016.9)

*¹ 明治薬科大学

*² 日産化学工業 (株)

Inoue M*, Hisada H*, Koide T, Fukami T*: Real-time monitoring of crystalline compounds using in situ low frequency Raman probe.

SCIX 2016 (2016.9)

* Meiji Pharmaceutical University

Fukami T*, Inoue M*, Hisada H*, Koide T: Pharmaceutical evaluation of atorvastatin calcium tablets available on the Internet.

SCIX 2016 (2016.9)

* Meiji Pharmaceutical University

阿形泰義*¹, 上山栄二*², 尾澤侑治*³, 井上敬介*⁴, 臺場昭人*⁵, 香取典子: Quality by Design における規格試験の役割および消費者危険/生産者危険を考慮した規格設定提案.

日本PDA製薬学会第23年会 (2016.11)

*¹ アステラス製薬 (株)

*² 第一三共 (株)

*³ 大鵬薬品工業 (株)

*⁴ 武田薬品工業 (株)

*⁵ ダッソー・システムズ・バイオピア (株)

Koide T, Hisada H*, Inoue M*, Fukami T*, Katori N, Goda Y: Pharmaceutical quantification for content uniformity of solid dosage forms using Raman Spectroscopy.

2016 AAPS Annual Meeting (2016.11)

* Meiji Pharmaceutical University

Sakamoto T, Mineki H*¹, Fujimaki Y*², Katori N, Kanbayashi N*¹, Fukuda S*¹, Goda Y: Distribution Analysis of Two Active Pharmaceutical Ingredients in Imported Anti-Malarial Drugs by Near-/Mid-IR Imaging.

The 5th Asian NIR symposium (2016.12)

*¹ JASCO Engineering

*² Tokyo Metropolitan Industrial Technology Research Institute

Fujimaki Y*, Sakamoto T, Hayashi K*, Somekawa S*: Prediction of pore diameter of nano porous silica using Near Infrared Spectroscopy.

The 5th Asian NIR symposium (2016.12)

* Tokyo Metropolitan Industrial Technology Research Institute

Hattori Y*, Seko Y*, Sakamoto T, Otsuka M*: NIR Mapping of Polymorphism and Amorphous Atorvastatin Calcium Hydrate in a Tablet. The 5th Asian NIR symposium (2016.12)

* Musashino University

Sakamoto T, Sasaki T*, Chikuma T, Katori N, Goda Y: Phonon and molecular vibration analysis on photocatalytic reaction of anatase-type titanium dioxide (IV) against hydrate active pharmaceutical ingredients using terahertz and Raman spectroscopy. Pittsburg conference on analytical chemistry and applied spectroscopy (PITTCON2017) (2017.3)

* Shizuoka University

Sasaki T*¹, Sakamoto T, Tanabe T*², Nishizawa J*²: Continuous wave terahertz laser spectrometer and its applications for pharmaceuticals. Pittsburg conference on analytical chemistry and applied spectroscopy (PITTCON2017) (2017.3)

*¹ Shizuoka University

*² Tohoku University

坂本知昭, 佐々木哲朗*, 知久馬敏幸, 香取典子, 合田幸広: 市場流通医薬品の品質確認のための分光分析 第1報 抗マラリア合剤Riamet錠における2主薬成分及び添加剤のテラヘルツ及び近赤外分光/イメージング解析.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

* 静岡大学

知久馬敏幸, 坂本知昭, 合田幸広: 市場流通医薬品の品質確認のための分光分析 第2報 国内未承認抗マラリア薬Riamet錠のラマンスペクトル解析.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

佐々木哲朗*¹, 坂本知昭, 大塚誠*²: 高精度テラヘルツ分光スペクトル測定による中分子量医薬品のスペクトル観察.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

*¹ 静岡大学

*² 武蔵野大学

秋山高一郎*, 堀田和稀*, 坂本知昭, 高橋宏典*, 合田幸広: 医薬品品質評価を目指したTHz-ATR計測による溶液中での結晶化モニタリング.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

* 浜松ホトニクス中央研究所

副島武夫*, 湯本政昭*, 赤尾賢一*, 永森浩司*, 坂本知昭: 薬品の品質評価技術としてのラマン分光法の活用 - 顕微ラマン分光イメージングを用いた原薬結晶多形の空間分布評価.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

* JASCO

藤巻康人*, 小金井誠司*, 坂本知昭: 内部量子効率計測による医薬品主薬の状態解析.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

* 東京都立産業技術研究センター

秦欣森*¹, 伊藤雅隆*¹, 坂本知昭, 菅野清彦*¹, 寺田勝英*², 野口修*¹: テラヘルツ時間領域分光法を用いたOD錠の吸湿性評価.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

*¹ 東邦大学

*² 高崎健康福祉大学

佐久間発*, 久田浩史*, 小出達夫, 井上元基*, 深水啓朗*: 日本薬局方各条における確認試験法としての携帯型ラマン分光計の実用性.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

* 明治薬科大学

小出達夫, 島村りえ*, 荻原聖弥*, 久田浩史*, 井上元基*, 深水啓朗*, 香取典子, 合田幸広: 透過ラマン分光法を用いた測定試料数が多い場合の製剤均一性評価に関する研究.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

* 明治薬科大学

山本佳久^{*1}, 杉田みずず^{*1}, 瀬田昌子^{*2}, 小出達夫, 深水啓朗^{*2}: クロバタゾールプロピオン酸エステルクリーム製剤の製剤特性に関する研究.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*1} 帝京平成大学

^{*2} 明治薬科大学

井上元基*, 落合陸夫*, 久田浩史*, 小出達夫, 深水啓朗*: 低波数ラマン分光法を用いたシクロデキストリン包接複合体の分析.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

* 明治薬科大学

加藤くみ子, 南條邦江, 原矢佑樹, 合田幸広, 奥田晴宏: ナノテクノロジー応用医薬品の分類とサイズ・形態解析法に関する研究.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

灘井亮^{*1}, 原矢佑樹, 西辻和親^{*2}, 内村健治^{*3}, 加藤くみ子, 重永章^{*4}, 川上徹^{*5}, 大高章^{*4}, 北條裕信^{*5}, 坂下直実^{*2}, 斎藤博幸^{*1}: アルギニンペプチドのグリコサミノグリカン糖鎖を介した細胞膜透過機構に関する物理化学的解析.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*1} 京都薬科大学

^{*2} 徳島大学大学院医歯薬学研究部 (医学系)

^{*3} 名古屋大学大学院医学系研究科

^{*4} 徳島大学大学院医歯薬学研究部 (薬学系)

^{*5} 大阪大学蛋白質研究所

Takechi-Haraya Y, Goda Y, Sakai-Kato K: Membrane rigidity of liposome determined by means of atomic force microscopy and its relation to cellular uptake efficiency.

3rd International Conference on Biomaterials Science (2016.11)

Nadai R^{*1}, Takechi-Haraya Y, Nishitsuji K^{*2}, Uchimura K^{*3}, Sakai-Kato K, Shigenaga A^{*4}, Kawakami T^{*5}, Otaka A^{*4}, Hojo H^{*5}, Sakashita N^{*2}, Saito H^{*1}: Sulfated glycosaminoglycans promote cell membrane penetration of arginine peptides via enthalpy-driven interactions.

The 53rd Japanese Peptide Symposium (2016.10)

^{*1} 京都薬科大学

^{*2} 徳島大学大学院医歯薬学研究部 (医学系)

^{*3} 名古屋大学大学院医学系研究科

^{*4} 徳島大学大学院医歯薬学研究部 (薬学系)

^{*5} 大阪大学蛋白質研究所

原矢佑樹, 加藤くみ子, 合田幸広: 原子間力顕微鏡法による液中リポソームの力学的特性解析手法とその有用性の検討.

第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9)

阿部康弘, 加藤くみ子, 合田幸広: siRNA封入りポソームによる自然免疫応答の評価手法に関する検討.

日本薬剤学会第31年会 (2016.5)

灘井亮^{*1}, 原矢佑樹, 西辻和親^{*2}, 内村健治^{*3}, 加藤くみ子, 重永章^{*4}, 川上徹^{*5}, 大高章^{*4}, 北條裕信^{*5}, 坂下直実^{*2}, 斎藤博幸^{*1}: アルギニンペプチドの細胞膜透過はグリコサミノグリカン糖鎖へのエンタルピー依存的結合によって促進される.

日本膜学会第38年会 (2016.5)

^{*1} 京都薬科大学

^{*2} 徳島大学大学院医歯薬学研究部 (医学系)

^{*3} 名古屋大学大学院医学系研究科

^{*4} 徳島大学大学院医歯薬学研究部 (薬学系)

^{*5} 大阪大学蛋白質研究所

Ishii-Watabe A: Current Situation in Immunogenicity Assessment of Therapeutic Proteins in Japan.

10th Workshop on Recent Issues in Bioanalysis (2016.4)

石井明子: バイオ医薬品 (組換えタンパク質医薬品) の品質と免疫原性.

第16回日本蛋白質科学会ワークショップ (2016.6)

石井明子: バイオ医薬品の不純物評価・管理の概要.

第43回日本毒性学会シンポジウム (2016.6)

石井明子: バイオシミラー開発に関する国際的動向と品質安全性確保の課題.

日本ジェネリック医薬品学会第10回学術大会シンポジウム (2016.7)

石井明子：バイオ後続品の概要.我が国におけるバイオ後続品普及へのクリティカルパス.

第6回レギュラトリーサイエンス学会学術大会シンポジウム (2016.9)

石井明子：抗体医薬品バイオシミラー開発における同等性／同質性評価.

日本薬物動態学会第31回年会シンポジウム (2016.10)

石井明子：バイオ医薬品の免疫原性評価に用いられる抗薬物抗体分析に関する技術的要件.

第8回JBFシンポジウム (2017.2)

石井明子：遺伝子組換えカイコにより製造されるバイオ医薬品の品質安全性確保の課題.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

石井明子：バイオ医薬品製造工程におけるシングルユースシステム関連の品質リスクマネジメント.

バイオエンジニアリング研究会シングルユース小委員会講演会「シングルユースの現状と課題」～品質管理とExtractable & Leachables～ (2017.3)

橋井則貴：バイオ医薬品開発と質量分析.

第29回バイオメディカル分析科学シンポジウム (2016.9)

津元裕樹^{*1}, 西風隆司^{*2}, 橋井則貴, 三浦ゆり^{*1}, 阿部由紀子^{*3}, 新井康通^{*3}, 岩本慎一^{*2}, 石井明子, 広瀬信義^{*3}, 田中耕一^{*2}, 遠藤玉夫^{*1}: 超百寿者血漿タンパク質のN-結合型糖鎖シアル酸結合様式の解析.

第35回日本糖質学会年会 (2016.9)

^{*1} 東京都健康長寿医療センター研究所

^{*2} 島津製作所

^{*3} 慶応大学

橋井則貴, 鈴木琢雄, 蛭田葉子, 石井明子：水素重水素交換／質量分析法の糖鎖-タンパク質間相互作用解析への応用.

第89回日本生化学会大会 (2016.9)

橋井則貴：液体クロマトグラフィー／質量分析を用いたバイオ医薬品の生体試料中薬物濃度測定.

第8回JBFシンポジウム (2017.2)

橋井則貴：質量分析を用いたバイオ医薬品の血中濃度測定手法に関する研究.

平成28年度日本医療研究開発機構研究費 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2017.2)

橋井則貴：質量分析によるFc融合タンパク質医薬品のO-結合型糖鎖部位特異的解析.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

Shibata H: Pharmaceutical Reference Standards in Japan.

12th Annual International Symposium on Pharmaceutical Reference Standards (2016.11)

柴田寛子：バイオ医薬品の凝集体／不溶性微粒子評価法に関する研究.

平成28年度日本医療研究開発機構研究費 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2017.2)

柴田寛子, 木吉真人, 伊豆津健一, 石井明子, 合田幸広：タンパク質医薬品注射剤の微粒子測定におけるFlow Imaging法の有用性評価.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

原園景：第十七改正日本薬局方改正：生物薬品関連試験法（糖鎖試験法等）について.

第23回クロマトグラフィーシンポジウム (2016.5)

竹元裕明^{*1,2}, 高橋純^{*1,2}, 日向須美子^{*2}, 山下忠俊^{*3}, 大嶋直浩^{*4}, 丸山卓郎, 日向昌司, 天倉吉章^{*5}, 袴塚高志, 小田口浩^{*2}, 合田幸広, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1,2}: エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキスと麻黄エキスをを用いた麻黄の副作用の比較検討.

第33回和漢医薬学会学術大会 (2016.8)

^{*1} 北里大学薬学部

^{*2} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*3} (株) 常磐植物化学研究所

^{*4} 国際医療福祉大学薬学部

^{*5} 松山大学薬学部

西岡宗一^{*1,9}, 小林功^{*3,9}, 原園景^{*9}, 久保勇樹^{*4}, 松崎祐二^{*5}, 真板宣夫^{*6}, 日高朋^{*2}, 辻大輔^{*1,8}, 瀬筒秀樹^{*3,8,9}, 町井博明^{*3,8}, 石井明子^{*9}, 川崎ナナ^{*7,9}, 伊藤孝司^{*1,8,9}: グライコシンターゼによるTGカイコ由来ヒトリソソーム酵素のN型糖鎖リモデリング.

第35回日本糖質学会年会 (2016.9)

^{*1} 徳島大院薬

*² 徳島大薬

*³ 農研機構

*⁴ 増田化学工業 (株)

*⁵ 東京化成工業 (株)

*⁶ 徳島大先端酵素研

*⁷ 横浜市大院生命医科学

*⁸ 医薬品作物・医療用素材等の開発PT

*⁹ AMED (創薬基盤推進研究事業)

Harazono A, Ishii-Watabe A: Points to consider for the development of glycosylation analysis and peptide mapping procedures.

29th Annual and International Meeting of Japanese Association for Animal Cell Technology (2016.11)

原園景: バイオ医薬品の標準物質に期待される役割.

BMS研究会講演会「抗体標準物質と標準化」(2016.11)

原園景: O-結合型糖鎖試験法の標準的試験方法に関する研究.

平成28年度日本医療研究開発機構研究費 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2017.2)

原園景, 木吉真人, 石井明子: 日局参考情報 単糖分析及びオリゴ糖分析/糖鎖プロファイル法への代表的な分析手順追記のための予備的検討.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

小林哲, 小村純子*, 石井明子: 免疫抑制剤投与患者における各種ウイルス感染症リスクアセスメントの試み.

日本薬剤疫学会第22回学術総会 (2016.11)

* 医薬品医療機器総合機構

木吉真人, 原園景, 多田稔, 石井明子: FcγRIIIaカラムを用いた抗体医薬品の特性解析.

第89回日本生化学会大会 (2016.9)

木吉真人, 多田稔, 原園景, ホセマルチネスカアヴェイロ*, 津本浩平*, 石井明子: 抗体医薬品の分子設計への応用を目指したFc-FcγR 相互作用解析.

大阪大学タンパク質研究所セミナー バイオ医薬品開発の鍵となる分子設計技術 (2016.11)

* 東京大学大学院工学系研究科

木吉真人: FcγRIIIaカラムを用いた抗体医薬品の特性

解析.

第3回FcR研究会 (2017.3)

西村和子, 秦信子*¹, 橋本勉*², 森民樹*², 中村隆広*³, 野村達希*³, 齊藤哲*⁴, 箕浦恭子*⁴, 青山宗夫*⁵, 細木淳*⁶, 相馬雅子*⁷, 角辻賢太*⁸, 西宮一尋*⁹, 香取典子*¹, 坂本典久*¹⁰, 石井明子: バイオ医薬品の非臨床・臨床試験における抗薬物抗体の標準的評価スキームに関する研究.

第6回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2016.9)

*¹ (株) Ig-M

*² (株) LSIメディエンス

*³ (株) 新日本科学

*⁴ アステラス製薬 (株)

*⁵ エーザイ (株)

*⁶ 協和発酵キリン (株)

*⁷ 第一三共 (株)

*⁸ 大日本住友製薬 (株)

*⁹ 中外製薬 (株)

*¹⁰ 医薬品医療機器総合機構

西村和子, 宮間ちづる, 多田稔, 鈴木琢雄, 斎藤嘉朗, 石井明子: 抗EPO抗体国際標準パネルを用いた抗薬物抗体測定系の分析能比較.

第23回日本免疫毒性学会学術年会 (2016.9)

西村和子, 秦信子*¹, 橋本勉*², 森民樹*², 中村隆広*³, 野村達希*³, 齊藤哲*⁴, 箕浦恭子*⁴, 青山宗夫*⁵, 細木淳*⁶, 相馬雅子*⁷, 角辻賢太*⁸, 西宮一尋*⁹, 香取典子, 坂本典久*¹⁰, 石井明子: バイオ医薬品に対する抗薬物抗体の測定における陽性判定基準設定に関する研究.

日本薬物動態学会第31回年会 (2016.10)

*¹ (株) Ig-M

*² (株) LSIメディエンス

*³ (株) 新日本科学

*⁴ アステラス製薬 (株)

*⁵ エーザイ (株)

*⁶ 協和発酵キリン (株)

*⁷ 第一三共 (株)

*⁸ 大日本住友製薬 (株)

*⁹ 中外製薬 (株)

*¹⁰ 医薬品医療機器総合機構

西村和子, 秦信子*¹, 若林弘樹*², 橋本勉*², 森民樹*², 中村隆広*³, 野村達希*³, 齊藤哲*⁴, 箕浦恭子*⁴, 青山

宗夫*⁵, 細木淳*⁶, 相馬雅子*⁷, 角辻賢太*⁸, 西宮一尋*⁹, 柴田寛子, 斎藤嘉朗, 香取典子, 坂本典久*¹⁰, 石井明子: バイオ医薬品の免疫原性評価に用いられる抗薬物抗体分析に関する技術的要件.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

- *¹ (株) Ig-M
 *² (株) LSIメディエンス
 *³ (株) 新日本科学
 *⁴ アステラス製薬 (株)
 *⁵ エーザイ (株)
 *⁶ 協和発酵キリン (株)
 *⁷ 第一三共 (株)
 *⁸ 大日本住友製薬 (株)
 *⁹ 中外製薬 (株)
 *¹⁰ 医薬品医療機器総合機構

日向須美子*¹, 日向昌司, 大嶋直浩*², 丸山卓郎, 鎌倉浩之, 山下忠俊*³, 天倉吉章*⁴, 袴塚高志, 小田口浩*¹, 合田幸広, 花輪壽彦*¹: エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE) のMET阻害作用を介したがん細胞の運動能抑制作用.

第33回和漢医薬学会学術大会 (2016.8)

- *¹ 北里大学東洋医学総合研究所
 *² 国際医療福祉大学薬学部
 *³ (株) 常磐植物化学研究所
 *⁴ 松山大学薬学部

日向須美子*¹, 日向昌司, 西村行生*², 伊藤和幸*³, 小田口浩*¹, 花輪壽彦*¹: MET過剰発現非小細胞肺癌の増殖に対する麻黄及びエルロチニブの併用効果.

第75回日本癌学会学術総会 (2016.10)

- *¹ 北里大学東洋医学総合研究所
 *² 九州大学
 *³ 野崎徳州会病院附属研究所

Hyuga M, Tada M, Hashii N, Harazono A, Ishii-Watabe A: Current Topics about Evaluation and Control of Host Cell Proteins (HCP) as Impurities Existing in Biopharmaceuticals.

29th Annual and International Meeting of Japanese Association for Animal Cell Technology (2016.11)

日向昌司: 漢方製剤の薬効を担保する品質評価手法に関する研究.

平成28年度日本医療研究開発機構研究費 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2017.2)

日向須美子*¹, 日向昌司, 西村行生*², 伊藤和幸*³, 山下忠俊*⁴, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩*¹, 花輪壽彦*¹: 麻黄によるEGFR-TKI 耐性肺癌細胞におけるMet発現のダウンレギュレーション.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

- *¹ 北里大・東医研
 *² 九大院薬
 *³ 野崎徳州会病研
 *⁴ (株)常磐植物化学研究所

中森俊輔*¹, 高橋純*¹, 日向須美子*², 竹元裕明*¹, 山下忠俊*³, 丸山卓郎, 日向昌司, 大嶋直浩*⁴, 天倉吉章*⁵, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩*², 花輪壽彦*², 小林義典*¹: Formalin誘発性疼痛に対する麻黄, EFE, エフェドリン, プソイドエフェドリンの鎮痛作用の解析.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

- *¹ 北里大学薬学部
 *² 北里大学東洋医学総合研究所
 *³ (株) 常磐植物化学研究所
 *⁴ 東京理科大学薬学部
 *⁵ 松山大学薬学部

竹元裕明*¹, 片岡柚香里*¹, 高山真奈*¹, 萩原正和*¹, 日向須美子*², 山下忠俊*³, 内山奈穂子, 丸山卓郎, 日向昌司, 大嶋直浩*⁴, 天倉吉章*⁵, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩*², 花輪壽彦*², 小林義典*¹: 麻黄によるマウス強制水泳試験の不動時間短縮におけるエフェドリンアルカロイドの作用様式.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

- *¹ 北里大学薬学部
 *² 北里大学東洋医学総合研究所
 *³ (株) 常磐植物化学研究所
 *⁴ 東京理科大学薬学部
 *⁵ 松山大学薬学部

高倉美智子, 多田稔, 石井明子: 抗体医薬品の有害作用発現に関わるFcγ受容体を介した免疫応答メカニズムの解明.

日本プロテオーム学会2016年大会 (2016.7)

高倉美智子, 多田稔, 石井明子: 抗体医薬品の有害作用

発現に関連する免疫細胞活性化予測・評価系の開発。
第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9)

新見伸吾：バイオ後続品/バイオシミラー抗体医薬品における適応症の外挿 -CT-P13のケーススタディー-。
日本PDA製薬学会第23回年会 (2016.11)

Niimi S: Comparative Data of Follow-on Biologics/Similar Biological Medical Product of Antibody Drug with Reference Product Necessary for Approval.
2nd Annual Biosimilars APAC Summit (2016.11)

政田さやか, 合田幸広, 袴塚高志：機能性表示食品の品質評価に関する研究 (1) グラブリジンあるいはグラブリジン含有甘草抽出物を機能性関与成分とする製品の成分分析。

日本食品化学学会第22回総会・学術大会 (2016.6)

吉富太一, 後藤佑斗, 袴塚高志, 丸山卓郎, 大嶋直浩^{*1}, 中森俊輔^{*2}, 小林義典^{*2}, 安食菜穂子^{*3}, 杉村康司^{*3}, 淵野裕之^{*3}, 飯田修^{*3}, 川原信夫^{*3}, 神野透人^{*4}, 香川聡子^{*5}, 若菜大悟^{*6}：ショウキョウ及びカンキョウのTRPV1賦活活性予測モデル式の構築と構造活性相関について。

日本食品化学学会第22回総会・学術大会 (2016.6)

^{*1} 国際医療福祉大学薬学部

^{*2} 北里大学薬学部

^{*3} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

^{*4} 名城大学薬学部

^{*5} 横浜薬科大学

^{*6} 星薬科大学

内山奈穂子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志：簡易薬物スクリーニングキットを用いた危険ドラッグ成分の識別法の検討 (2)。

日本法中毒学会第35年会 (2016.7)

河村麻衣子, 花尻 (木倉) 瑠理, 前橋恭子^{*}, 岩楯公晴^{*}, 袴塚高志：LC-IMS-Q-TOF-MSを用いた生体試料中危険ドラッグ成分のスクリーニングおよび定量分析。

日本法中毒学会第35年会 (2016.7)

^{*} 東京慈恵会医科大学

Hashimoto T^{*}, Yasuda N^{*}, Mizuno N^{*}, Honda S^{*}, Kimura S^{*}, Hanajiri R, Hayakawa S^{*}, Nishiwaki Y^{*} : Single crystal structure analysis of designer drugs circulating in the Japanese drug market by the synchrotron radiation X-ray diffraction.

65th Annual Conference on Applications of X-ray Analysis (Denver X-ray conference) (2016.8)

^{*} Japan Synchrotron Radiation Research Institute

Kikura-Hanajiri R, Uchiyama N, Hakamatsuka T: Evaluation of inhibitory effects of 35 new psychoactive substances on the re-uptake of monoamines (dopamine, norepinephrine and serotonin) using rat brain synaptosomes.

54th TIAFT 2016 (2016.8)

堀井周文^{*}, 小此木明^{*}, 高橋隆二^{*}, 鎌倉浩之, 袴塚高志, 合田幸広：八味地黄丸エキス製剤及び湯剤の同等性に関する研究 (3)。

第33回和漢医薬学会学術大会 (2016.8)

^{*} クラシエ製薬 (株) 漢方研究所

大嶋直浩^{*1}, 山下忠俊^{*2}, 丸山卓郎, 内山奈穂子, 日向須美子^{*3}, 日向昌司, 天倉吉章^{*4}, 袴塚高志, 小田口浩^{*3}, 花輪壽彦^{*3}, 小林義典^{*3}, 合田幸広：エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE) の品質管理のための指標成分の同定及び定量法について。

第33回和漢医薬学会学術大会 (2016.8)

^{*1} 国際医療福祉大学薬学部

^{*2} (株) 常磐植物化学研究所

^{*3} 北里大学薬学部

^{*4} 松山大学薬学部

丸山卓郎, 若菜大悟^{*1}, 神谷洋^{*2}, 川崎武志^{*2}, 成暁^{*3}, 司馬真央^{*4}, 山路弘樹^{*4}, 横倉胤夫^{*5}, 山本豊^{*6}, 小松かつ子^{*7}, 合田幸広：遺伝子解析とNMRメタボロームを用いた晋着 (シンギ) の多様性解析について。

日本生薬学会第63回年会 (2016.9)

^{*1} 星薬科大学

^{*2} (株) ウチダ和漢薬

^{*3} 中国科学院昆明植物研究所

^{*4} (株) ツムラ

^{*5} 日本粉末薬品 (株)

*⁶ (株) 栃本天海堂

*⁷ 富山大学和漢医薬学総合研究所

鎌倉浩之, 細江潤子, 袴塚高志, 合田幸広: 漢方エキス中のヒ素, カドミウム, 水銀及び鉛について (第3報).

第63回日本生薬学会年会 (2016.9)

三井千穂*, 平澤祐介*, 内山奈穂子, 袴塚高志, 森田博史*: ヒカゲノカズラ科コウヨウザンカズラに含まれるアルカロイドの成分研究.

日本生薬学会第63回年会 (2016.9)

* 星薬科大学

佐藤 (増本) 直子, 内倉崇*, 杉脇秀美*, 好村守生*, 政田さやか, 内山奈穂子, 丸山卓郎, 天倉吉章*, 袴塚高志: 国外で流通する何首烏及び関連生薬の基原種について.

日本生薬学会第63回年会 (2016.9)

* 松山大学薬学部

後藤佑斗, 佐藤直子, 河村麻衣子, 花尻瑠理, 袴塚高志, 丸山卓郎: 3次元蛍光スペクトルデータの変量解析による *P. mirifica* 含有健康食品の品質評価法の検討.

日本生薬学会第63回年会 (2016.9)

政田さやか, 内山奈穂子, 袴塚高志: 一般用漢方製剤の安全性確保に関する研究 (5): セルフメディケーションのためのwebを用いた情報発信.

第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9)

田中理恵, 河村麻衣子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: DART-Orbitrap MSを用いた危険ドラッグの迅速スクリーニング法の開発について.

第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9)

佐藤 (増本) 直子, 桑田幸恵, 内山奈穂子, 合田幸広, 袴塚高志: TLC及びHPLCを用いた単味生薬エキス製剤の品質確保に資する評価法—平成27年薬生審査1225第6号通知の適用例について—.

第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9)

河村麻衣子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: イオンモ

ビリティー分離機能を有する高分解能質量分析計LC-Q-TOF-MSを用いた危険ドラッグスクリーニング分析法の検討.

第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9)

永津明人*, 加藤志保里*, 山田紗由美*, 藤原裕未*, 田中理恵, 杉本直樹, 穂山浩: 定量NMRを用いたグルコサミンの定量法の確立.

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2016 (2016.10)

* 金城学院大学薬学部

政田さやか, 内山奈穂子, 合田幸広, 袴塚高志: 機能性表示食品の品質評価に関する研究 (2) ビルベリーに由来する機能性表示食品の機能性関与成分含量について.

第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

田中理恵, 河村麻衣子, 内山奈穂子, 緒方潤, 最所和宏, 花尻 (木倉) 瑠理, 瀬川勝智, 中野達也, 斎藤嘉朗, 袴塚高志: 国立衛研違法ドラッグデータ閲覧システムについて.

第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

最所和宏, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 平成27年度無承認無許可医薬品の買い上げ調査について—強壮用健康食品等—.

第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

河村麻衣子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: イオンモビリティー分離機能を有するLC-Q-TOF-MSを用いた危険ドラッグスクリーニング法の検討.

第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

緒方潤, 河村麻衣子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: DNAを用いた指定薬物クラートン (*Mitragyna speciosa*) の分析について.

第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

藤原裕未*, 田中理恵, 杉本直樹, 穂山浩, 永津明人*: 定量NMRを用いた生薬成分の定量. 生薬分析シンポジウム (2016.11)

* 金城学院大学薬学部

鎌倉浩之, 細江潤子, 袴塚高志, 合田幸広: 漢方エキス

中の水銀, ヒ素, 鉛及びカドミウムについて (第4報).
日本薬学会第137年会 (2017.3)

鈴木淳子^{*1}, 中島順一^{*1}, 植村望美^{*1}, 内本勝也^{*1}, 高橋美佐子^{*1}, 清水雅子^{*1}, 守安貴子^{*1}, 保坂三継^{*1}, 菊池祐一^{*2}, 圖師玲子^{*2}, 柳本佳子^{*2}, 鎌倉浩之, 袴塚高志: 重金属試験法における比色法と分光学的測定法の比較検討.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*1} 東京都健康安全研究センター

^{*2} (株) ツムラ

赤坂優駿^{*}, 篠田量太^{*}, 吉田和範^{*}, 山路誠一^{*}, 佐藤直子, 内山奈穂子, 丸山卓郎, 袴塚高志: 『白首烏』の生薬学的研究 (2) ~ 『何首烏との比較について』.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*} 日本薬科大学

吉田和範^{*}, 篠田量太^{*}, 赤坂優駿^{*}, 山路誠一^{*}, 佐藤直子, 内山奈穂子, 丸山卓郎, 袴塚高志: 『白首烏』の生薬学的研究.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*} 日本薬科大学

政田さやか, 内山奈穂子, 袴塚高志: 一般用漢方製剤の安全性確保に関する研究 (6): 「漢方セルフメディケーション」ホームページの作成.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

政田さやか, 細江潤子, 内山奈穂子, 合田幸広, 袴塚高志: 機能性表示食品の品質評価に関する研究 (3): 機能性表示食品の分析法と標準品純度が機能性関与成分の含有量に及ぼす影響について.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

徳本廣子, 下村裕子, 佐藤直子, 丸山卓郎, 内山奈穂子, 小関良宏^{*}, 合田幸広, 袴塚高志: 全蠟末の蛍光顕微鏡観察および蛍光指紋を利用した鑑別法の検討.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*} 東京農工大学工学研究院

内山奈穂子, 辻本恭, 吉富太一, 丸山卓郎, 山本豊^{*}, 袴塚高志: ¹³C-NMRを用いた生薬及び漢方処方メタボ

ロミクスに関する研究 (1).

日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*} (株) 栃本天海堂

内山奈穂子, 細江潤子, 大嶋直浩^{*1}, 丸山卓郎, 山下忠俊^{*2}, 浅間宏志^{*3}, 天倉吉章^{*4}, 日向須美子^{*5}, 日向昌司, 竹元裕明^{*6}, 袴塚高志, 小林義典^{*6}, 小田口浩^{*5}, 花輪壽彦^{*5}, 合田幸広: エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE) 製剤の安定性に関する研究 (1).

日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*1} 東京理科大学薬学部

^{*2} (株) 常磐植物化学研究所

^{*3} (株) ウチダ和漢薬

^{*4} 松山大学薬学部

^{*5} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*6} 北里大学薬学部

田中理恵, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 定量NMR法を用いた危険ドラッグの純度決定.

日本薬学会第137回年会 (2017.3)

最所和宏, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 平成15-27年度における強壯を標榜する健康食品中の専ら医薬品成分含有調査.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

河村麻衣子, 水谷佐久美, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: GC-CI-QTOFMSを用いた危険ドラッグ分析について.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

吉富太一, 内山奈穂子, 白畑辰弥^{*1}, 若葉大悟^{*2}, 安食菜穂子^{*3}, 杉村康司^{*3}, 淵野裕之^{*3}, 飯田修^{*3}, 袴塚高志, 川原信夫^{*3}, 小林義典^{*1}, 丸山卓郎: ¹H-NMRを用いたショウキョウ, カンキョウの品質の多様性評価について.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*1} 北里大学薬学部

^{*2} 星薬科大学

^{*3} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

吉富太一, 若葉大悟^{*1}, 内山奈穂子, 河野徳昭^{*2}, 横倉胤夫^{*3}, 山本豊^{*4}, 淵野裕之^{*2}, 小松かつ子^{*5}, 川原信夫^{*2}, 丸山卓郎: 逆相系固相抽出による試料調製を利用したボウフウ類生薬の ¹H-NMR メタボローム解析につ

いて.

日本薬学会第 137 年会 (2017.3)

*¹ 星薬科大学

*² (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

*³ 日本粉末薬品 (株)

*⁴ (株) 栃本天海堂

*⁵ 富山大学和漢医薬学総合研究所

緒方潤, 河村麻衣子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: *Mitragyna speciosa* (Kratom) 製品のDNA塩基配列調査およびPCR-RFLP法による識別.

日本薬学会第 137 年会 (2017.3)

塚原真理*¹, 柳沢朋美*¹, 山口恭加*¹, 小暮紀行*¹, 北島満里子*¹, 杉村康司*², 飯田修*², 川原信夫*², 花尻 (木倉) 瑠理, 高山廣光*¹: 植物系危険ドラッグ・シニクイチ (*Heimia salicifolia*) 含有新規生物活性アルカロイドの探索研究.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

*¹ 千葉大学大学院薬学研究院

*² (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

Miura T, Okamura K*, Yasuda S, Umezawa A*, Sato Y: Assessment of genetic instability in human induced pluripotent stem cells during long-term cell culture. International Society for Stem Cell Research 2016 (2016.6)

* (独) 国立成育医療研究センター研究所

Kono K, Sawada R, Sato Y: Association of line-1s expression with apobec3b genotypes in human mesenchymal stem cells. International Society for Stem Cell Research 2016 (2016.6)

Nakashima H, Hasegawa K*¹, Suemori H*¹, Umezawa A*², Sato Y: Downregulation of endogenous WNT antagonists as a potential marker for resistance of human pluripotent stem cells to dissociation-induced apoptosis.

4th Annual Conference of the German Stem Cell Network (GSCN) (2016.9)

*¹ Kyoto University

*² National Center for Child Health and Development

Yusa K, Maeda Y*, Sato Y, Yuan Y: A novel virus detection test for cell-based therapeutic products by deep sequencing.

日本ウイルス学会学術集会第64回 (2016.10)

* Kumamoto University

安田智:再生医療に関連するレギュラトリーサイエンス. 第27回クロマトグラフィー科学会議 (2016.11)

Yuan Y, Maeda Y*, Sato Y, Yusa K: Murine endogenous retroviruses produced from SNL76/7 cells.

日本ウイルス学会学術集会第64回 (2016.10)

* Kumamoto University

澤田留美, 河野健, 田中和沙, 佐藤陽治, 森山幸祐*, 江端宏之*, 佐々木沙織*, 久保木タツサニーヤ*, 木戸秋悟*: ヒト間葉系幹細胞の培養力学場応答性に関する網羅的遺伝子発現解析.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016 (2016.11)

* 九州大学先導物質化学研究所

岡村浩司*, 三浦巧, 中林一彦*, 秦健一郎*, 佐藤陽治, 梅澤明弘*: ハイブリッドアセンブリによる健常日本人男性の全ゲノム配列決定.

第39回日本分子生物学会年会 (2016.11)

* (独) 国立成育医療研究センター研究所

Sato Y: Scientific challenges for the safety of cell-based therapeutic products-Development of testing methods for tumorigenicity assessment.

World Stem Cell Summit 16 (2016.12)

Kidoaki S*, Ebata H*, Sawada R, Moriyama K*, Kuboki T*, Tsuji Y*, Kono K, Tanaka K, Sasaki S*: Characterization of the frustrated differentiation of mesenchymal stem cells induced by normadic migration.

Biophysical Society 61ST Annual Meeting (2017.2)

* Institute for Materials Chemistry and Engineering,
Kyushu University

佐藤陽治：再生医療等製品（細胞加工製品）の品質・安全性・有効性確保のための科学。

第16回日本再生医療学会総会（2017.3）

佐藤陽治：再生医療等臨床研究データベースシステム（RMeD-Japan）の整備。

第16回日本再生医療学会総会（2017.3）

安田智：Challenges for standardization of tumorigenicity-associated testing methods for human cell-based therapeutic products: introduction of a draft guidance document.

第16回日本再生医療学会総会（2017.3）

大橋文哉^{*1}，宮川繁^{*1}，吉田昇平^{*1}，齋藤充弘^{*1}，福嶋五月^{*1}，増田茂夫^{*1}，伊東絵望子^{*1}，伊勢岡弘子^{*1}，石川烈^{*1}，鮫島正^{*2}，佐藤陽治，澤芳樹^{*1}：臨床応用に向けたヒトiPS細胞由来心筋細胞の凍結保存法の開発。

第16回日本再生医療学会総会（2017.3）

^{*1} 大阪大学

^{*2} テルモ株式会社

澤田留美，森山幸祐^{*}，河野健，田中和沙，佐藤陽治，江端宏之^{*}，佐々木沙織^{*}，久保木タツサニーヤ^{*}，木戸秋悟^{*}：ヒト間葉系幹細胞の分化フラストレート培養における網羅的遺伝子発現解析。

第16回日本再生医療学会総会（2017.3）

* 九州大学先導物質化学研究所

草川森士，安田智，黒田拓也，佐藤陽治：ヒト神経前駆細胞の悪性形質転換細胞検出試験。

第16回日本再生医療学会総会（2017.3）

黒田拓也，安田智，中島啓行，松山さと子，高田のぞみ，草川森士，梅澤明弘，松山晃文，川真田伸，佐藤陽治：不死化網膜色素上皮細胞マーカー IRM1の機能解析。

第16回日本再生医療学会総会（2017.3）

苑宇哲，前田洋助^{*}，佐藤陽治，遊佐敬介：フィーダー細胞SNL76/7が産生する内在性レトロウイルスの安全性について。

日本再生医療学会総会第16回（2017.3）

* 熊本大学

遊佐敬介，前田洋助^{*}，佐藤陽治，苑宇哲：フィーダー細胞次世代シークエンサーによる細胞加工製品の新規ウイルス試験法の開発。

日本再生医療学会総会第16回（2017.3）

* 熊本大学

吉田徳幸，内藤雄樹^{*1}，佐々木澄美，内田恵理子，小比賀聡^{*2}，内藤幹彦，井上貴雄：Gapmer型アンチセンスの相補結合依存的オフターゲット効果に関する研究。

第43回日本毒性学会学術年会（2016.6）

^{*1} ライフサイエンス統合データベースセンター

^{*2} 大阪大学大学院薬学研究科

堀内祥行^{*}，山本誠司^{*}，吉田徳幸，井上貴雄，奥井文^{*}，松久明生^{*}：自然免疫活性化に関わるNeutrophil Extracellular Traps (NETs) の基礎的研究。

第43回日本毒性学会学術年会（2016.6）

* 扶桑薬品工業（株）

大岡伸通，奥平桂一郎，服部隆行，内藤幹彦：低分子化合物SNIPERによるin vivoプロテインノックダウン。

第20回日本がん分子標的治療学会学術集会（2016.6）

* 徳島大学大学院医歯薬学研究部

中野なおこ^{*}，正田卓司，服部隆行，栗原正明，内藤幹彦，伊東進^{*}：がん遺伝子YAPを標的としたプロテインノックダウン法の確立。

第20回日本がん分子標的治療学会学術集会（2016.6）

* 昭和薬科大学

吉田徳幸，内藤雄樹^{*1}，佐々木澄美，内田恵理子，小比賀聡^{*2}，内藤幹彦，井上貴雄：アンチセンス医薬品による相補配列依存的オフターゲット効果に関する研究。

第8回日本RNAi研究会（2016.8）

^{*1} ライフサイエンス統合データベースセンター

^{*2} 大阪大学大学院薬学研究科

佐々木澄美，吉田徳幸，内田恵理子，内藤幹彦，佐藤陽

治, 小比賀聡*, 井上貴雄: アンチセンス医薬品の細胞内動態に関連する分子の探索.

第10回バイオ関連化学シンポジウム (2016.9)

* 大阪大学大学院薬学研究科

服部隆行, 正田卓司, 奥平桂一郎*¹, 柴田識人, 大岡伸通, 伊東進*², 栗原正明, 内藤幹彦: 低分子化合物による網羅的人工ユビキチン化システムの構築.

第89回日本生化学会大会 (2016.9)

*¹ 徳島大学大学院医歯薬学研究部

*² 昭和薬科大学

Suzuki T, Suresh T: Proteomic Data Sharing by the "ProteoMap Online".

15th Human Proteome Organization World Congress (2016.9)

水澤左衛子*¹, 落合雅樹*¹, 草川茂*¹, 内田恵理子, 古田美玲, 川村利江子*², 岡田義昭*², 山口照英*³, 浜口功*¹: HIV-RNA国内標準品の力価の再評価のための国内共同研究.

第64回日本ウイルス学会学術集会 (2016.10)

*¹ 国立感染症研究所

*² 埼玉医科大学

*³ 日本薬科大学

大岡伸通, 柴田識人, 服部隆行, 内藤幹彦: 低分子化合物SNIPERによるin vivoプロテインノックダウンと抗腫瘍活性評価.

第75回日本癌学会学術総会 (2016.10)

柴田識人, 大岡伸通, 服部隆行, 内藤幹彦: 発がん因子BCR-ABLを分解する低分子化合物の開発 Development of hybrid small molecules that induce degradation of oncogenic BCR-ABL.

第75回日本癌学会学術総会 (2016.10)

中野なおこ*, 服部隆行, 内藤幹彦, 伊東進*: 転写共役因子YAPを標的としたプロテインノックダウン法の確立

第75回日本癌学会学術総会 (2016.10)

* 昭和薬科大学

鈴木孝昌, 築茂由則, 小原有弘*, 内藤幹彦: 遺伝子検査のバリデーションのため変異導入標準細胞株の作成.

第75回日本癌学会学術総会 (2016.10)

* 医薬健康研・培養資源研究室

山本誠司*¹, 堀内祥行*¹, 萩原衆子*¹, 吉田徳幸, 佐々木澄美, 小泉誠*², 内藤幹彦, 小比賀聡*³, 植村英俊*¹, 井上貴雄: 修飾核酸搭載アンチセンスによる自然免疫活性化の評価に関する研究.

日本核酸医薬学会第2回年会 (2016.11)

*¹ 扶桑薬品工業 (株)

*² 第一三共 (株)

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

服部隆行, 高橋美帆*, 西川喜代孝*, 内藤幹彦: 志賀毒素耐性THP-1細胞の単離と解析.

第20回腸管出血性大腸菌感染症研究会 (2016.11)

* 同志社大学生命医科学部

鈴木孝昌: 再生医療と環境変異原研究との接点.

日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

鈴木孝昌, スレッシュ・ティルパッティ, 降旗千恵, 小山直己*, 鳥塚尚樹*, 朝倉省二*, 羽倉昌志*: 次世代シーケンサーを用いたマウス短期大腸発癌モデルによる発がん物質の変異シグニチャー解析.

日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

* エーザイ (株)

降旗千恵, 鈴木孝昌: 主成分分析によるOpen TG-GATEs Databaseの分析.

日本環境変異原学会第44回大会 (2016.11)

山本誠司*¹, 萩原衆子*², 堀内祥行*², 奥井文*², 吉田徳幸, 井上貴雄, 田中亜紀*¹, 松久明生*², 廣瀬豊*¹, 大熊芳明*³: TLR9活性化の際のメディエーターキナーゼによる転写制御の解析.

日本核酸医薬学会第2回年会 (2016.11)

*¹ 富山大学薬学部

*² 扶桑薬品工業 (株)

*³ 長崎大学医学部

大岡伸通, 奥平桂一郎^{*1}, 永井克典^{*2}, 伊東昌宏^{*2}, 柴田識人, 服部隆行, 宇治川治^{*2}, 佐野修^{*2}, 小山亮吉^{*2}, 今枝泰宏^{*2}, 奈良洋^{*2}, 長展生^{*2}, 内藤幹彦: 低分子化合物SNIPERによる細胞内ユビキチン化機構の制御と創薬への応用.

第39回分子生物学会年会 (2016.12)

^{*1} 徳島大学大学院医歯薬学研究所

^{*2} 武田薬品工業 (株)

Naito M: *In vivo* protein knockdown by SNIPER recruiting IAP ubiquitin ligases.

The 21th International Symposia on Cancer Chemotherapy (2016.12)

内田恵理子: カルタヘナ法に基づく運用の在り方に関する検討会 – 検討会開催の経緯.

カルタヘナ法に基づく運用の在り方に関する検討会公開フォーラム (2017.1)

吉田徳幸: 核酸医薬品の安全性確保のための評価技術開発.

平成28年度日本医療研究開発機構研究費創薬基盤推進研究事業研究成果発表会 (2017.2)

内藤幹彦 (代理: 大岡伸通): 分子標的薬のオフターゲット効果の評価法構築.

平成28年度日本医療研究開発機構研究費創薬基盤推進研究事業研究成果発表会 (2017.2)

長谷部貴亮^{*}, 小木美恵子^{*}, 内田恵理子, 會澤康治^{*}: 水中衝撃波照射による細胞周期の変化.

平成28年度衝撃波シンポジウム (2017.3)

^{*} 金沢工業大学

古田美玲, 山口照英^{*1,2}, 内藤幹彦, 内田恵理子: ドロップレットデジタルPCR (ddPCR) を用いたアデノ随伴ウイルスベクターの含量及び品質評価.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*1} 日本薬科大学

^{*2} 金沢工業大学

内田恵理子, 豊田淑江, 古田美玲, 山口照英^{*1,2}: パルボウイルス B19 感染性の迅速測定系の開発.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*1} 日本薬科大学

^{*2} 金沢工業大学

大岡伸通, 鈴木孝昌, 橋井則貴, 出水庸介, 栗原正明, 石井明子, 内藤幹彦: 分子標的薬オフターゲット効果の新しい評価法開発.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

柴田識人, 永井克典^{*}, 森田陽子^{*}, 宇治川治^{*}, 大岡伸通, 服部隆行, 今枝泰宏^{*}, 奈良洋^{*}, 長展生^{*}, 内藤幹彦: プロテインノックダウン法を利用したアンドロゲン受容体タンパク質分解誘導剤の開発.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*} 武田薬品工業 (株)

Suzuki T, Tsukumo Y, Naito M, Kasai F, Mihara M, Kohara A: Development of a cell line panel for mutation standards against cancer-related genes for clinical sequencing.

Revolutionizing Next-Generation Sequencing (2017.3)

鈴木孝昌: Regulatory Issues on the companion diagnostics in Japan.

The Essentials of Companion Diagnostic Development (2017.3)

Uematsu M, Aomi S^{*1}, Yamazaki K^{*1}, Iwasaki K^{*2}, Nakaoka R, Niimi S, Suzuki T^{*1}, Muragaki Y^{*1}, Iseki H^{*1}: Usability improvement on an intraoperative navigation system for open surgical repair of thoracic and thoracoabdominal aortic aneurysm.

The 54th Annual Conference of Japanese Society for Medical and Biological Engineering (2016.4)

^{*1} Tokyo Women's Medical University

^{*2} Waseda University

Amano R^{*1}, Takada K^{*1}, Nagata T^{*2,3}, Nomura Y, Fukunaga J^{*4}, Tanaka Y^{*4}, Katahira M^{*2,3}, Nakamura Y^{*5,6}, Kozu T^{*4}, Sakamoto T^{*1}: Binding properties of RNA aptamer against AML1 Runt domain. Aptamers 2016 (2016.4)

^{*1} Dept. of Life and Env. Sci., Chiba Inst. Tech

^{*2} Inst. of Adv. Energ., Kyoto Univ

*³ Grad. Sch. of Energ. Sci., Kyoto Univ.

*⁴ Res. Inst. Clin. Oncol., Saitama Cancer Center

*⁵ Inst. Med. Sci., Univ. Tokyo

*⁶ Ribomic Inc.

Morishita Y, Fukui C, Yuba T*, Nomura Y, Niimi S, Haishima Y: Development of protein markers for evaluating the blood compatibility of biomaterials: Validation of identified markers by comprehensive multivariate proteomic analysis for plasma proteins adsorbed on the surface of metal materials for stents. 10th World Biomaterials Congress (2016.5)

* Kawasumi Laboratoires, Inc.

Nomura Y, Fukui C, Toida H, Morishita Y, Niimi S, Miyakawa S*, Jin L*, Nakamura Y*^{1,2}, Haishima Y: Regenerative medicine: biomaterials for control of tissue induction.

10th World Biomaterials Congress (2016.5)

*¹ Inst. Med. Sci., Univ. Tokyo

*² Ribomic Inc.

宮島敦子, 河上強志, 小森谷薫, 加藤玲子, 新見伸吾, 伊佐間和郎: 二次粒子径の異なる酸化ニッケルナノ粒子に対するTHP-1細胞の細胞応答. 第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6)

Fukunaga J*¹, Nomura Y, Tanaka Y*¹, Torigoe H*², Nakamura Y*^{3,4}, Sakamoto T*⁵, Kozu T*¹: Structure and properties of an RNA aptamer against MTG8 TAFH domain.

RNA2016 (2016.7)

*¹ Res. Inst. Clin. Oncol., Saitama Cancer Center

*² Dept. of Appl. Chem., Tokyo University of Science

*³ Inst. Med. Sci., Univ. Tokyo

*⁴ Ribomic Inc.

*⁵ Dept. of Life and Env. Sci., Chiba Inst. Tech

櫻井美栄*², 藤巻日出夫*¹, 山村隼志*², 大村綾子*², 斎藤麻紀子*², 松尾健一*², 福井千恵, 靛島由二, 菊池裕: オゾン/過酸化水素混合ガス暴露による材料への影響. 日本防菌防黴学会第43回年次大会 (2016.9)

*¹ 民生科学協会

*² IHI

Miyajima-Tabata A, Komoriya K, Tanaka M, Hiruma H, Kato R, Haishima Y: Comparison of the haemocompatibility biomarker for HEMA/MEA copolymer material.

EUROTOX 2016 (2016.9)

Kandarova H*^{1,4}, Willoughby JA*², De Jong WH*³, Bachelor MA*⁴, Letasiova S*¹, Milasova T*¹, Breyfogle B*⁴, De La Fonteyne L*³, Haishima Y, Coleman KP*⁵: Development, optimization and validation of an in vitro skin irritation test for medical devices using the reconstructed human tissue model EpiDerm.

EUROTOX 2016 (2016.9)

*¹ MatTek in Vitro Life Science Laboratories Inc.

*² Cyprotex US LLC

*³ National Institute for Public Health and the Environment

*⁴ MatTek Corporation

*⁵ Medtronic

Pellevoisin C*¹, Tornier C*¹, Bremond C*¹, Rollins B*², Briotet D*³, Turley A*⁴, Lee M*⁴, Haishima Y, Seyler N*¹: Skin irritation of medical devices: In vitro assay with EPISKIN reconstructed human epidermis (RHE). EUROTOX 2016 (2016.9)

*¹ EPISKIN Academy

*² Arthrex Inc

*³ NAMSA

*⁴ Nelson Laboratories

野村祐介, 福井千恵, 伊藤雅彦*¹, 橘田久美子*², 坂口圭介*³, 新藤智子*⁴, 鳥越直彦*⁵, 中山拓生*⁶, 松田仁美*⁷, 宮崎智成*⁸, 森建一*⁹, 森下裕貴, 靛島由二: 国内ラウンドロビンテストによる簡易溶血性試験法の性能評価.

日本薬学会第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9)

*¹ ポゾリサーチセンター

*² シミックバイオリサーチセンター

*³ テルモ

*⁴ 食品薬品安全センター

*⁵ 新日本科学

*⁶ 化合物安全性研究所

*⁷ 日精バイリス

*⁸ LSIメディエンス

*⁹ 川澄化学工業

森下裕貴, 福井千恵, 柚場俊康*, 野村祐介, 靛島由二:
医用材料の血液適合性スクリーニング試験法の開発に関する研究.

日本薬学会第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9)

* 川澄化学工業

植松美幸, 青見茂之*¹, 山崎健二*¹, 中岡竜介, 靛島由二,
鈴木孝司*¹, 村垣善浩*¹, 伊関洋*², 岩崎清隆*², 梅津
光生*²: ユーザにやさしい手術ナビゲーションシステムの
開発 -人工血管置換術を対象として-.

LIFE2016 (2016.9)

*¹ 東京女子医科大学

*² 早稲田大学

加藤玲子, 佐藤正人*¹, 岡田恵里*¹, 豊田恵利子*¹, 阿
久津英憲*², 宮島敦子, 梅澤明弘*², 持田譲治*¹, 新見
伸吾: 多指症軟骨組織由来細胞シートが同種Tリンパ球
細胞の増殖及び同種CD4+T細胞のサブセットプロファ
イルに及ぼす影響について.

第31回日本整形外科学会基礎学術集会 (2016.10)

*¹ 東海大学医学部

*² 国立成育医療研究センター

迫田秀行, 岡本吉弘, 靛島由二, 菅野伸彦*: 抜去した
人工関節超高分子量ポリエチレンコンポーネントの力学
強度分布.

第43回 日本臨床バイオメカニクス学会 (2016.10)

* 大阪大学

小峯宏之*, 横山敏郎*, 塩田寛子*, 稲葉涼太*, 鈴仁*,
守安貴子*, 保坂三継*, 靛島由二, 戸井田瞳, 福井千恵:
コンタクトレンズ承認基準に基づく試験法の留意点.

第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

* 東京都健康安全研究センター

野村祐介, 福井千恵, 森下裕貴, 中村義一*^{1,2}, 靛島由二:

骨再生を促進する新規医用材料の開発に関する研究.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016 (2016.11)

*¹ リボミック

*² 東京大学医科学研究所

藤澤彩乃*, 福井千恵, 野村祐介, 鄭雄一*, 靛島由二:
医療用プラスチック製品の各種可塑剤に対する炎症惹起
メカニズムの解析.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016 (2016.11)

* 東京大学

森下裕貴, 野村祐介, 福井千恵, 中村義一*^{1,2}, 靛島由二:
血管内皮細胞増殖因子を特異的に捕捉可能な材料開発に
向けたRNAアプタマーの探索.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016 (2016.11)

*¹ リボミック

*² 東京大学医科学研究所

張替貴志*, 靛島由二, 坂口圭介*: プラスチックに含
まれる可塑剤の炎症惹起能in vitro評価法の開発.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016 (2016.11)

* テルモ

森下裕貴, 河上強志, 福井千恵, 田上昭人*¹, 向井智和*²,
柚場俊康*², 稲村健一*², 山岡久時*², 宮崎謙一*³, 野
村祐介, 靛島由二: PVC製4連血液バッグ用代替可塑剤
DL9THの特性評価.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016 (2016.11)

*¹ 国立成育医療センター研究所

*² 川澄化学工業

*³ 新日本理科

藤巻日出夫*¹, 渡辺佳世*¹, 福井千恵, 向井智和*², 柚
場俊康*², 稲村健一*², 山岡久時*², 宮崎謙一*³, 野村祐介,
森下裕貴, 河上強志, 靛島由二: PVC製4連血液バッグ
用新規基材の生物学的安全性評価.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016 (2016.11)

*¹ 民生科学協会

*² 川澄化学工業

*³ 新日本理科

野村祐介, 福井千恵, 伊藤雅彦^{*1}, 橘田久美子^{*2}, 坂口圭介^{*3}, 新藤智子^{*4}, 鳥越直彦^{*5}, 中山拓生^{*6}, 松田仁美^{*7}, 宮崎智成^{*8}, 森建一^{*9}, 森下裕貴, 靛島由二: 国内ラウンドロビンテストによる簡易溶血性試験法の性能評価.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016 (2016.11)

^{*1} ボゾリサーチセンター

^{*2} シミックバイオリサーチセンター

^{*3} テルモ

^{*4} 食品薬品安全センター

^{*5} 新日本科学

^{*6} 化合物安全性研究所

^{*7} 日精バイリス

^{*8} LSIメディエンス

^{*9} 川澄化学工業

靛島由二, 福井千恵, 戸井田瞳, 野村祐介, 森下裕貴, 田中賢*: ELISAを利用した血液適合性評価マーカの性能検証.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016 (2016.11)

* 九州大学

靛島由二, 新藤智子^{*1}, 本橋寛子^{*1}, 山影康次^{*1}, 渡辺美香^{*1}, 松本太郎^{*2}, 福井千恵, 野村祐介, 森下裕貴: 溶血性試験用陽性対照材料の領布へ向けた性能評価.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016 (2016.11)

^{*1} 食品薬品安全センター

^{*2} 昭和化成工業

加藤玲子, 小森谷薫, 宮島敦子, 半田由希^{*1}, 金澤由基子^{*2}, 靛島由二: ヒト三次元培養皮膚モデルを使用した医療機器の皮膚刺激性試験法の検証.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016 (2016.11)

^{*1} 倉敷紡績株式会社 バイオメディカル部 バイオ開発製造課 細胞グループ

^{*2} 一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所 安全性事業部

中岡竜介: 医療機器の承認審査に求められる生物学的安全性評価とその国際標準化状況.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016 (2016.11)

植松美幸, 中岡竜介, 靛島由二: 材料中の中間水存在評

価のための分子動力的シミュレーションによる水分子挙動解析.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016 (2016.11)

宮島敦子, 小森谷薫, 田中賢*, 比留間瞳, 加藤玲子, 靛島由二: HEMA/MEAランダム共重合体材料に対する血液適合性評価マーカの検証.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム 2016(2016.11)

* 九州大学

中岡竜介, 加藤玲子, 靛島由二: 次世代医療機器・再生医療等製品評価指標作成事業の概要と生体由来材料審査WGの活動状況について.

第54回日本人工臓器学会大会 (2016.11)

植松美幸, 青見茂之^{*1}, 山崎健二^{*1}, 中岡竜介, 靛島由二, 鈴木孝司^{*1}, 村垣善浩^{*1}, 伊関洋^{*2}, 岩崎清隆^{*2}, 梅津光生^{*2}: 新規大血管外科用手術ナビゲーションシステムの使用法の確立.

第54回日本人工臓器学会大会 (2016.11)

^{*1} 東京女子医科大学

^{*2} 早稲田大学

植松美幸, 青見茂之^{*1}, 山崎健二^{*1}, 中岡竜介, 靛島由二, 鈴木孝司^{*1}, 村垣善浩^{*1}, 伊関洋^{*1}, 岩崎清隆^{*2}, 梅津光生^{*2}: 人工血管置換術100症例の経験に基づくナビゲーションシステムの効果的使用法に関する検討.

第25回コンピュータ外科学会大会 (2016.11)

^{*1} 東京女子医科大学

^{*2} 早稲田大学

岡本吉弘, 迫田秀行, 宮島敦子, 靛島由二: 脳血管内治療機器の性能評価と次世代医療機器評価指標作成事業「血流解析シミュレーションソフトウェア」について.

第32回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2016.11)

岡本吉弘, 迫田秀行, 靛島由二: Design, Development, Evaluation and Validation of Medical Devices and Implants.

日本生体医工学会専門部会非臨床ME研究会2016年度第3回研究会 (2016.11)

迫田秀行, 比留間瞳, 相澤雅美, 中岡竜介, 宮島敦子,

靛島由二：併用薬剤によるプラスチック製医療機器の破損を予測する簡易試験法の開発。

第29回バイオエンジニアリング講演会 (2017.1)

山家弘雄*, 寺田友昭*, 岡本吉弘：NBCAの特性について。

第7回熱海脳血管内治療セミナー (2017.2)

* 昭和大学藤が丘病院

迫田秀行, 岡本吉弘, 靛島由二, 坂井孝司*: 超高分子量ポリエチレンの摩耗量に対するウシ血清成分の影響。

第47回日本人工関節学会 (2017.2)

* 大阪大学

迫田秀行, 河上強志, 岡本吉弘, 靛島由二, 菅野伸彦*: 抜去した超高分子量ポリエチレンコンポーネントに含まれるスクアレンの定量。

第47回日本人工関節学会 (2017.2)

* 大阪大学

Uematsu M, Aomi S^{*1}, Yamazaki K^{*1}, Iimura H^{*1}, Iwasaki K^{*2}, Umezumi M^{*2}, Nakaoka R, Haishima Y, Suzuki T^{*1}, Muragaki Y^{*1}, Iseki H^{*2}: Design, development, implementation and evaluation of a surgical navigation system for aortic vascular surgery. The 4th JSMBE Medical Engineering and Preclinical Studies Group Meeting (2017.2)

*¹ Tokyo Women's Medical University

*² Waseda University

迫田秀行, 岡本吉弘, 靛島由二, 坂井孝司*: エッジローディングによる人工股関節ライナーのリム破壊。

第37回バイオトライボロジシンポジウム (2017.3)

* 大阪大学

Sakoda H, Matsuoka A, Kono K, Takahashi H*, Nakashima Y*, Okamoto Y, Haishima Y: Cytotoxicity and genotoxicity of titanium alloy particles used for additive manufacturing of orthopaedic implants. Orthopaedic Research Society, 63rd Annual Meeting (2017.3)

* 帝人ナカシマナカシマメディカル株式会社

Sakoda H, Okamoto Y, Haishima Y, Sugano N*: Localized degradation at the surface of ultra-high molecular weight polyethylene used for hip prostheses detected by the evaluation of mechanical strength. Orthopaedic Research Society, 63rd Annual Meeting (2017.3)

* 大阪大学

中岡竜介, 靛島由二：再生医療等製品とそれに適用可能な国際標準化の現状。

第16回日本再生医療学会総会 (2017.3)

野村祐介, 福井千恵, 森下裕貴, 中村義一^{*1,2}, 靛島由二：新規骨再生促進医用材料の開発に関する研究。

第16回日本再生医療学会総会 (2017.3)

*¹ リボミック

*² 東京大学医科学研究所

森下裕貴, 野村祐介, 福井千恵, 中村義一^{*1,2}, 靛島由二：RNAアプタマーを利用した血管内皮細胞増殖因子を特異的に捕捉可能な医用材料開発。

第16回日本再生医療学会総会 (2017.3)

*¹ リボミック

*² 東京大学医科学研究所

靛島由二, 迫田秀行, 戸井田瞳, 相澤雅美, 中岡竜介, 宮島敦子：併用薬剤によるプラスチック製医療機器破損リスク評価法の開発。

日本薬学会第137年会 (2017.3)

宮島敦子, 小森谷薫, 比留間瞳, 加藤玲子, 靛島由二：血液適合性試験におけるMPC polymerに対する蛋白質マーカの挙動について

日本薬学会第137年会 (2017.3)

De Jong WH^{*1}, Hoffmann S^{*2}, Lee M^{*3}, Kandarova H^{*4}, Letasiova S^{*4}, De La Fonteyne LJJ^{*1}, Pellevoisin C^{*5}, Tornier C^{*5}, Bremond C^{*5}, Haishima Y, Zdawczyk A^{*6}, Turley A^{*3}, Willoughby JA^{*7}, Bachelor M^{*8}, Rollins B^{*9}, Coleman KP^{*10}: Round robin study to evaluate the reconstructed human epidermis (RhE) model as in vitro skin irritation test for detection of irritant activity

in medical device extracts.

Society of Toxicology 56th Annual Meeting and ToxExpo (2017.3)

*¹ National Institute for Public Health and the Environment

*² SEH consulting + services

*³ Nelson Laboratories Inc.

*⁴ MatTek in Vitro Life Science Laboratories Inc.

*⁵ EpiSkin Academy

*⁶ NAMSA

*⁷ Cyprotex US LLC

*⁸ MatTek Corporation

*⁹ Arthrex Inc.

*¹⁰ Medtronic

三上優依^{*1}, 仲川清隆^{*1}, 伊藤隼哉^{*1}, 鈴木優里^{*1}, 内野正, 宮澤陽夫^{*2,3}: ヒト肝癌細胞HepG2における ホスファチジルコリンヒドロペルオキシド (PCOOH) の与える影響.

第70回日本栄養・食糧学会大会 (2016.5)

*¹ 東北大院農・機能分子解析

*² 東北大・未来科学技術共同研究センター

*³ 東北大院農・食の健康科学ユニット

小林憲弘, 塚本多矩*, 堀池秀樹*, 久保田領志, 五十嵐良明: 水道水の検査対象農薬のLC/MS/MS一斉分析法の検討.

第25回環境化学討論会 (2016.6)

* (株) 島津製作所

久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水道水質検査精度管理のための統一試料調査に関する経年分析 (平成17~26年度): 無機物.

第25回環境化学討論会 (2016.6)

榎本剛司*, 奥野美帆*, 秋山由華*, 小林憲弘: 塩化スズ (II) を用いたジチオカルバメート系農薬の分析法の検討.

第25回環境化学討論会 (2016.6)

* 日本電子 (株)

阪間稔^{*1}, 武田晋作^{*1}, 北出崇^{*2}, 宮林武司^{*3}, 高原玲華^{*3}, 小野壮登^{*3}, 松本絵里佳^{*4}, 久保田領志: 三価及

び六価クロムの分別定量法の開発②.

第25回環境化学討論会 (2016.6)

*¹ 徳島大院・セルスバイオサイエンス研究部

*² エムエス機器

*³ ジーエルサイエンス

*⁴ 堀場製作所

河上強志, 伊佐間和郎^{*1}, 香川聡子^{*2}, 神野透人^{*3}: 家庭用水性スプレー製品中のグリコール類等の実態と製品使用時の平均室内空気中濃度の推定.

第25回環境化学討論会 (2016.6)

*¹ 現: 帝京平成大学薬学部

*² 横浜薬科大学薬学部

*³ 名城大学薬学部

河上強志, 伊佐間和郎*, 五十嵐良明: ポリウレタン製繊維製品に使用されたベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤の簡易分析法の検討と実態調査.

第25回環境化学討論会 (2016.6)

* 現: 帝京平成大学薬学部

伊藤隼哉^{*1}, 三上優依^{*1}, 加藤俊治^{*1}, 内野正, 宮澤陽夫^{*2,3}, 仲川清隆^{*1}: ヒト肝臓癌細胞HepG2におけるホスファチジルコリンヒドロペルオキシド (PCOOH) の代謝と生理活性の評価.

第58回日本脂質生化学会 (2016.6)

*¹ 東北大院農・機能分子解析

*² 東北大・未来科学技術共同研究センター

*³ 東北大院農・食の健康科学ユニット

秋山卓美, 清水久美子, 伊藤祥輔*, 内野正, 最上(西巻)知子, 五十嵐良明: Rhododendrolのシステイン含有ペプチドへのチロシナーゼ依存的な結合.

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6・7)

* 藤田保健衛生大学

内野正, 仲川清隆^{*1}, 伊藤隼哉^{*1}, 三上優依^{*1}, 宮澤陽夫^{*2,3}, 秋山卓美, 五十嵐良明: ヒト肝癌由来細胞株 (HepG2細胞) におけるホスファチジルコリンヒドロペルオキシド (PCOOH) の細胞毒性発現機構.

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6・7)

*¹ 東北大院農・機能分子解析

*² 東北大・未来科学技術共同研究センター

*³ 東北大院農・食の健康科学ユニット

大川舞^{*1}, 戸邊隆夫^{*1}, 青木明^{*1}, 岡本誉士典^{*1}, 植田康次^{*1}, 内野正, 秋山卓美, 五十嵐良明, 香川 (田中) 聡子^{*2}, 神野透人^{*1}: マクロファージ分化THP-1細胞に対する白金ナノ粒子の影響.

第62回日本薬学会東海支部総会・大会 (2016.7)

*¹ 名城大学薬学部

*² 横浜薬科大学薬学部

内野正, 仲川清隆^{*1}, 伊藤隼哉^{*1}, 三上優依^{*1}, 宮澤陽夫^{*2,3}, 秋山卓美, 五十嵐良明: 培養細胞におけるホスファチジルコリンヒドロペルオキシド (PCOOH) の細胞毒性とその発現機構.

日本過酸化脂質・抗酸化物質学会第24回年会 (2016.8)

*¹ 東北大院農・機能分子解析

*² 東北大・未来科学技術共同研究センター

*³ 東北大院農・食の健康科学ユニット

Kobayashi N, Tsuchiya Y, Kubota R, Ikarashi Y: Formation of prothiofos-oxon by chlorination of prothiofos in tap water.

Water and Environment Technology Conference 2016 (2016.8)

手島玲子, 酒井信夫, 中村政志^{*1}, 五十嵐良明, Tranquet Olivier^{*2}, Denery-Papini Sandra^{*2}, 松永佳世子^{*1}: 小麦タンパク質加水分解の処理過程に伴う抗原性発現のエピトープ部位抗体を用いる解析.

第23回日本免疫毒性学会学術年会 (2016.9)

*¹ 藤田保健衛生大

*² フランス国立農学研究所

酒井信夫, 田原麻衣子, 遠山友紀, 五十嵐良明: シックハウス (室内空気汚染) 問題に係る規制状況調査 - 低分子環状シロキサナー.

第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9)

河上強志, 秋山卓美, 五十嵐良明: 酸化染毛剤による皮膚障害の防止方策に関する研究.

第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエ

ンスフォーラム2016 (2016.9)

Tranquet O*, Pineau F*, Lupi R*, Sakai S, Larré C*, Denery S*: Relationship between deamidation intensity and allergenicity of acid Hydrolyzed Wheat Proteins preparations: from France to Japan.

The 30th Meeting of the working group on prolamins analysis and toxicity (2016.9)

* French National Institute for Agricultural Research

Tranquet O^{*1}, Pineau F^{*1}, Lupi R^{*1}, Sakai S, Teshima R, Matsunaga K^{*2}, Larré C^{*1}, Denery S^{*1}: Relationship between deamidation intensity and allergenicity of acid Hydrolyzed Wheat Proteins preparations: from France to Japan.

4th Food Allergy and Anaphylaxis Meeting (2016.10)

*¹ French National Institute for Agricultural Research

*² Fujita Health University

河上強志, 伊佐間和郎*, 五十嵐良明: 繊維製品中のアレルギー性金属に関する調査.

第46回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会 (2016.11)

* 現: 帝京平成大学

竹原友貴*, 角田佳純*, 庄田裕紀子*, 河上強志: 弾性ストッキングに含まれる2-N-octyl-4-isothiazolin-3-oneによる接触皮膚炎の1例.

第46回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会 (2016.11)

* 住友病院

Kobayashi N, Tsukamoto T*, Horiike H*, Kubota R, Ikarashi Y: Development of a simultaneous analytical method for agricultural chemicals in tap water using LC/MS/MS.

7th SETAC World Congress/37th SETAC North America Annual Meeting (2016. 11)

* Shimadzu Corporation

久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 平成27年度水道水質検査精度管理のための統一試料調査の結果および留意

点.

平成28年度全国会議（水道研究発表会）（2016.11）

田原麻衣子, 遠山友紀, 酒井信夫, 五十嵐良明: 壁紙等の内装材から放散される揮発性有機化合物に関する研究.

第53回全国衛生化学技術協議会年会（2016.11）

酒井信夫, 田原麻衣子, 遠山友紀, 五十嵐良明, 奥田晴宏, 千葉真弘^{*1}, 高橋美保^{*2}, 竹熊美貴子^{*3}, 菌部真理奈^{*4}, 高梨嘉光^{*5}, 斎藤育江^{*6}, 上村仁^{*7}, 田中礼子^{*8}, 今井美紗子^{*9}, 高田博司^{*10}, 小林浩^{*11}, 鈴木光彰^{*12}, 青木梨絵^{*13}, 南真紀^{*14}, 中嶋智子^{*15}, 吉田俊明^{*16}, 八木正博^{*17}, 新井清^{*18}, 荒尾真砂^{*19}, 中島亜矢子^{*20}, 濱野晃^{*21}, 城間朝彰^{*22}: 平成27年度室内空気環境汚染に関する全国実態調査.

第53回全国衛生化学技術協議会年会（2016.11）

*¹ 北海道立衛生研究所

*² 宮城県保健環境センター

*³ 埼玉県衛生研究所

*⁴ 千葉県衛生研究所

*⁵ 千葉市環境保健研究所

*⁶ 東京都健康安全研究センター

*⁷ 神奈川県衛生研究所

*⁸ 横浜市衛生研究所

*⁹ 新潟県保健環境科学研究所

*¹⁰ 富山県衛生研究所

*¹¹ 山梨県衛生環境研究所

*¹² 静岡県環境衛生科学研究所

*¹³ 愛知県衛生研究所

*¹⁴ 滋賀県衛生科学センター

*¹⁵ 京都府保健環境研究所

*¹⁶ 大阪府立公衆衛生研究所

*¹⁷ 神戸市環境保健研究所

*¹⁸ 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*¹⁹ 高知県衛生研究所

*²⁰ 福岡市保健環境研究所

*²¹ 熊本市環境総合センター

*²² 沖縄県衛生環境研究所

酒井信夫, 田原麻衣子, 遠山友紀, 五十嵐良明: 国際機関, 諸外国における低分子環状シロキサンの規制状況調査.

第53回全国衛生化学技術協議会年会（2016.11）

秋山卓美, 清水久美子, 河上強志, 伊佐間和郎, 五十嵐良明: グアニジン系加硫促進剤4種の感作性及び家庭用

ゴム製品中の含有量.

第53回全国衛生化学技術協議会年会（2016.11）

秋山卓美, 五十嵐良明: 加水分解コムギ末及び加水分解コムギたん白液の医薬部外品原料規格について.

第53回全国衛生化学技術協議会年会（2016.11）

久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水質検査精度管理のための統一試料調査: 平成27年度の結果および留意点について.

第53回全国衛生化学技術協議会年会（2016.11）

久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水質検査精度管理のための統一試料調査: 無機物に関する経年分析（平成17~26年度）.

第53回全国衛生化学技術協議会年会（2016.11）

小林憲弘, 久保田領志, 五十嵐良明: 水道水の検査対象農薬のLC/MS/MS一斉分析法の開発と妥当性評価.

第53回全国衛生化学技術協議会年会（2016.11）

土屋裕子, 小林憲弘, 久保田領志, 五十嵐良明: 水道水中プロチオホスの塩素処理によるオキソン体の生成.

第53回全国衛生化学技術協議会年会（2016.11）

河上強志, 宮澤法政*, 小濱とも子, 五十嵐良明: ジェタノールアミンのGC-MS分析法の妥当性評価.

第53回全国衛生化学技術協議会年会（2016.11）

* 埼玉県衛生研究所

河上強志, 伊佐間和郎*, 五十嵐良明: 家庭用品規制法における多環芳香族炭化水素類（PAHs）分析時のカラム選択に関する検討

第53回全国衛生化学技術協議会年会（2016.11）

* 現: 帝京平成大学

河上強志, 伊佐間和郎*, 五十嵐良明: ポリウレタン繊維製品におけるベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤の使用傾向.

第53回全国衛生化学技術協議会年会（2016.11）

* 現: 帝京平成大学

河上強志, 伊佐間和郎^{*1}, 香川聡子^{*2}, 神野透人^{*3}: 室内空气中グリコール類濃度に対する家庭用水性スプレー

製品の寄与.

第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

*¹ 現: 帝京平成大学

*² 横浜薬科大学

*³ 名城大学

西以和貴*¹, 仲野富美*¹, 佐藤学*¹, 辻清美*¹, 上村仁*¹, 河上強志, 伊佐間和郎*², 五十嵐良明: クレオソート油及びそれらで処理された木材中に含まれる未規制多環芳香族化合物類の実態調査.

第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

*¹ 神奈川県衛生研究所

*² 現: 帝京平成大学

味村真弓*¹, 中島晴信, 河上強志, 伊佐間和郎*²: サロゲート物質を用いた繊維製品中の防炎加工剤トリス (1-アジリジニル) ホスフィンオキシド (APO) 分析法の開発.

第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

*¹ 大阪府立公衆衛生研究所

*² 現: 帝京平成大学

内野正, 宮崎洋*¹, 山下邦彦*², 竹澤俊明*³, 小島肇, 秋山卓美, 五十嵐良明: 改良型コラーゲンビトリゲル膜チャンバーでのTHP-1細胞の細胞接着性及びサイトカイン産生量.

第29回日本動物実験代替法学会 (2016.11)

*¹ (株) ダイセル

*² 大阪大学大学院医学系研究科

*³ 農業・食品産業技術総合研究機構

伊佐間和郎*, 河上強志, 靄島由二: 蛋白質吸着を指標とした QCM 法による医用高分子材料の血液適合性評価に関する検討.

日本バイオマテリアルシンポジウム2016 (2016.11)

* 帝京平成大学

Kobayashi N, Tanaka S*, Ikarashi Y, Hirose A: Developmental toxicity assessment of various sizes of multi-wall carbon nanotubes in mice after repeated intratracheal instillation to initiate grouping and read across.

Society for Risk Analysis 2016 Annual Meeting (2016.

12)

* Biosafety Research Center

田原麻衣子, 酒井信夫, 香川(田中)聡子*¹, 神野透人*², 五十嵐良明: ウレタン製品から放散されるイソシアネート類の分析.

平成28年室内環境学会学術大会 (2016.12)

*¹ 横浜薬科大学薬学部

*² 名城大学薬学部

小林憲弘, 小松原由美*, 江里口知己*, 五十嵐良明: 環境水中農薬の動態予測モデルの構築と適用.

第51回日本水環境学会年会 (2017.3)

* (株) サイエンスアンドテクノロジー

五十嵐良明, 河上強志, 小濱とも子, 宮澤法政*¹, 久世哲也*², 武知めぐみ*³, 林正人*⁴, 安田純子*⁵, 高野勝弘*⁶, 小島尚*⁷, 坂口洋*⁸, 藤井まき子*⁹: ジェタノールアミンのGC-MS分析.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

*¹ 埼玉県衛生研究所

*² (株) カネボウ化粧品

*³ ポーラ化成工業 (株)

*⁴ (株) 資生堂

*⁵ (株) コーセー

*⁶ 日本化粧品工業連合会

*⁷ 帝京科学大学

*⁸ 日本毛髪科学協会

*⁹ 日本大学

酒井信夫, 田原麻衣子, 中村里香, 中村亮介, 佐々木和実*¹, 西嶋桂子*¹, 安宅花子*¹, Olivier Tranquet*², Sandra Denery*², 佐藤奈由*³, 中村政志*³, 松永佳世子*³, 手島玲子, 安達玲子, 五十嵐良明: 酸加水分解コムギの脱アミド化エピトープを特異的に認識するモノクローナル抗体を用いた抗原性の解析.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

*¹ (独) 製品評価技術基盤機構

*² フランス国立農学研究科

*³ 藤田保健衛生大学

田原麻衣子, 神野透人*¹, 香川(田中)聡子*², 酒井信夫,

五十嵐良明：qNMRによるアルデヒド類のトレーサビリティの確保.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

*¹ 名城大学薬学部

*² 横浜薬科大学薬学部

秋月真梨子^{*1}, 田原麻衣子, 遠山友紀, 青木明^{*1}, 岡本誉士典^{*1}, 植田康次^{*1}, 榎本孝紀^{*2}, 埴岡伸光^{*3}, 五十嵐良明, 香川(田中)聡子^{*3}, 酒井信夫, 神野透人^{*1}: 間欠サンプリング法による室内空気中総揮発性有機化合物測定法の開発.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

*¹ 名城大学薬学部

*² 柴田科学株式会社

*³ 横浜薬科大学薬学部

鳥羽陽^{*1}, 中島大介^{*2}, 遠藤治^{*3}, 香川(田中)聡子^{*4}, 神野透人^{*5}, 斎藤育江^{*6}, 杉田和俊^{*7}, 酒井信夫, 星純也^{*8}: 衛生試験法・注解 空気試験法 多環芳香族炭化水素(新規).

日本薬学会第137年会 (2017.3)

*¹ 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科

*² 国立環境研究所

*³ 麻布大学生命・環境科学部

*⁴ 横浜薬科大学薬学部

*⁵ 名城大学薬学部

*⁶ 東京都健康安全研究センター

*⁷ 麻布大学獣医学部

*⁸ 東京都環境科学研究所

秋山卓美, 清水久美子, 富田由花^{*1}, 伊藤祥輔^{*2}, 最上(西巻)知子, 五十嵐良明: Rhododendrol及び構造類似化合物のCys含有ペプチドへのチロシナーゼ依存的な結合.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

*¹ 北里大学

*² 藤田保健衛生大学

内野正, 仲川清隆^{*1}, 伊藤隼哉^{*1}, 三上優依^{*1}, 宮澤陽夫^{*2,3}, 秋山卓美, 五十嵐良明: ヒト臍帯静脈内皮細胞(HUVEC)におけるホスファチジルコリンヒドロペルオキシド(PCOOH)の細胞毒性及びその発現機構.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

*¹ 東北大院農・機能分子解析

*² 東北大・未来科学技術共同研究センター

*³ 東北大院農・食の健康科学ユニット

河上強志, 伊佐間和郎^{*1}, 五十嵐良明, 神野透人^{*2}: DPRAによる揮発性及び準揮発性有機化合物類の感作性評価.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

*¹ 帝京平成大学薬学部

*² 名城大学薬学部

西以和貴*, 大森清美*, 河上強志: クレオソート油を含有する防腐剤等で処理された木材の発がんプロモーション活性.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

* 神奈川県衛生研究所

小椋和彦*, 渡邊文子*, 岩田仁*, 鳥海栄輔*, 伊佐川聡*, 坂井隆敏, 根本了: LC-MS/MSによる畜水産物中のマラカイトグリーン分析法の検討.

日本食品衛生学会第111回学術講演会 (2016.5)

* (一財) 日本食品分析センター

小林麻紀*, 酒井奈穂子*, 上條恭子*, 大谷陽範*, 林真輝*, 小池裕*, 馬場糸子*, 笹本剛生*, 高野伊知郎*, 根本了, 新藤哲也*: LC-MS/MSを用いた畜水産物中フルオピコリド分析法の検討.

日本食品衛生学会第111回学術講演会 (2016.5)

* 東京都健康安全研究センター

志田(齊藤)静夏: 液体クロマトグラフィー質量分析法による食品中残留農薬試験法の確立に関する研究.

日本食品衛生学会第111回学術講演会 (2016.5)

植草義徳: 東日本大震災に起因した食品中の有害物質等の実態に関する研究.

日本食品化学学会第22回総会・学術大会 (2016.6)

松田りえ子, 林智子, 穂山浩, 渡邊敬浩: モンテカルロ法による魚類からのメチル水銀摂取量推定.

第25回環境化学討論会 (2016.6)

安武大輔*, 堀就英*, 小木曾俊孝*, 高橋浩司*, 梶原淳睦*, 渡邊敬浩: 食品中のデクロランブラス類の摂取量調査.

第25回環境化学討論会 (2016.6)

* 福岡県保健環境研究所

松田りえ子, 林智子, 穂山浩, 渡邊敬浩: 魚類からのメチル水銀摂取量の確率論的推定.

2016年AOAC INTERNATIONAL日本セクション年次大会 (2016.7)

片岡洋平, 渡邊敬浩, 林智子, 林恭子, 穂山浩, 手島玲子: 輸入農産品に含有される有害元素の実態調査.

2016年AOAC INTERNATIONAL日本セクション年次大会 (2016.7)

渡邊敬浩, 林智子, 松田りえ子, 穂山浩: 魚における総水銀及びメチル水銀濃度の実態調査.

2016年AOAC INTERNATIONAL日本セクション年次大会 (2016.7)

Nabeshi H, Tsutsumi T, Uekusa Y, Hachisuka A, Matsuda R, Akiyama H, Teshima R: Estimation of Dietary Intake of Strontium-90 in Six Regions in Japan after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident.

Health Physics Society 61st Annual meeting (2016.7)

Tsutsumi T, Adachi R, Matsuda R, Akiyama H, Watanabe T: Estimation of dietary intake of polycyclic aromatic hydrocarbons by duplicate diet method in Japan.

36th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2016) (2016.8)

Uekusa Y, Akiyama H, Takatsuki S, Maeda T, Tsutsumi T, Watanabe T, Matsuda R, Hachisuka A: Analysis of polychlorinated biphenyls in fish from tsunami-stricken areas of Japan.

36th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2016) (2016.8)

Takahashi K*, Yasutake D*, Hori T*, Kogiso T*, Kajiwara J*, Watanabe T: Investigation of dietary exposure to Dechlorane Plus and related compounds in Kyushu district, Japan.

36th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2016) (2016.8)

* Fukuoka City Institute of Health and Environment

志田(齊藤)静夏, 根本了, 手島玲子, 穂山浩: LC-TOF-MS法の食品中残留動物用医薬品一斉分析への適用性.

第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9)

Kikuchi H, Sakai T, Teshima R, Nemoto S, Akiyama H: Total determination of chloramphenicol and chloramphenicol glucuronide residues in foods by liquid chromatography-tandem mass spectrometry.

130th AOAC Annual Meeting and Exposition (2016.9)

志田(齊藤)静夏, 濱坂友子*, 根本了, 手島玲子, 穂山浩: 液体クロマトグラフィー高分解能質量分析法による茶中の残留農薬一斉分析~ LC-OrbitrapTM-MSとLC-TOF-MSの比較~.

第39回農薬残留分析研究会 (2016.10)

* サーマフィッシャーサイエンティフィック株式会社

渡邊敬浩, 片岡洋平, 三浦ななみ*, 滝澤和宏*, 穂山浩: アマニに含まれるシアン配糖体の分析.

日本食品衛生学会第112会学術講演会 (2016.10)

* (一財) 日本冷凍食品検査協会

片岡洋平, 渡邊敬浩, 三浦ななみ*, 滝澤和宏*, 穂山浩: アマニに含まれるシアン配糖体分析法の検討.

日本食品衛生学会第112会学術講演会 (2016.10)

* (一財) 日本冷凍食品検査協会

安武大輔*, 小木曾俊孝*, 堀就英*, 高橋浩司*, 梶原淳睦*, 渡邊敬浩: 食品中のハロゲン系難燃剤の摂取量推定.

日本食品衛生学会第112会学術講演会 (2016.10)

* 福岡県保健環境研究所

坂井隆敏, 根本了, 穂山浩: ジエチルスチルベストロールの迅速分析法開発に関する基礎検討.

日本食品衛生学会第112会学術講演会 (2016.10)

青柳光敏*, 岡部亮*, 柿本洋一郎*, 根本了: GC-MS (/MS) を用いた水産物中ジクロロベンシル分析法の検討.
日本食品衛生学会第112会学術講演会 (2016.10)

* 北海道立衛生研究所

北村真理子*, 朝倉敬行*, 石川孝明*, 飯田智成*, 中里光男*, 安田和男*, 根本了: 畜産物中のジルパテロール分析法.
日本食品衛生学会第112会学術講演会 (2016.10)

* (一財) 東京顕微鏡院 食と環境の科学センター

小椋和彦*, 渡邊文子*, 岩田仁*, 鳥海栄輔*, 伊佐川聡*, 坂井隆敏, 根本了: LC-MS/MSによる畜水産物中のマラカイトグリーン分析法の検討 (第二報).
日本食品衛生学会第112会学術講演会 (2016.10)

* (一財) 日本食品分析センター

堤智昭, 植草義徳*, 高附巧, 松田りえ子, 穂山浩: GC-MS/MSによる魚中のPCBs分析.
日本食品衛生学会第112会学術講演会 (2016.10)

* 慶應義塾大学薬学部

渡邊敬浩, 片岡洋平, 林智子, 林恭子, 穂山浩, 手島玲子: 有害物質摂取量の推定に関する研究(2013~2015年).
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

片岡洋平, 林恭子, 渡邊敬浩, 穂山浩: チョコレート・チョコレート飲料中のカドミウム含有実態調査.
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

戸渡寛法*¹, 宮崎悦子*¹, 赤木浩一*², 片岡洋平, 宮本道彦*¹, 牟田朱美*¹, 穂山浩, 渡邊敬浩: 福岡市近海で漁獲される魚介類中のヒ素濃度について.
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

*¹ 福岡県保健環境研究所

*² 福岡市水道局水道水質センター

松田りえ子, 五十嵐敦子, 鍋師裕美, 林恭子, 植草義徳, 林智子, 高附巧, 前田朋美, 片岡洋平, 堤智昭, 穂山浩, 渡邊敬浩: 幼児の元素類及びダイオキシン類の摂取量推定.
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

菊地博之, 坂井隆敏, 根本了, 穂山浩: LC-MS/MSによる畜水産物中のフルトラニル分析法の検討.
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

今井浩一*, 吉田栄充*, 石井里枝*, 根本了, 穂山浩: LC-MS/MSによる農産物中のオキシ銅分析法の検討.
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

* 埼玉県衛生研究所

志田(齊藤)静夏, 根本了, 手島玲子, 穂山浩: LC-TOF-MSを用いた穀類・豆類中の残留農薬一斉分析.
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

志田(齊藤)静夏, 根本了, 穂山浩: 残留農薬分析における標準添加法を用いた高精度な定量法の検討.
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

坂井隆敏, 菊地博之, 根本了, 穂山浩: 安定同位体を用いた内標準法を残留農薬等分析に適用する際の留意点.
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

堤智昭, 足立利華, 松田りえ子, 穂山浩, 渡邊敬浩: 加熱調理方法が食品中の多環芳香族炭化水素濃度に及ぼす影響.
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

高附巧, 植草義徳, 前田朋美, 渡邊敬浩, 穂山浩, 堤智昭: 市販ベビーフード中のダイオキシン類実態調査.
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

柿本幸子*, 吉光真人*, 阿久津和彦*, 渡邊敬浩, 梶村計志*: メチル水銀分析法の妥当性確認とベニズワイガニ中の含有量について.

平成28年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部理化学部会研修会 (2016.11)

* 大阪府立公衆衛生研究所

渡邊敬浩: 魚におけるメチル水銀濃度の実態調査とその結果を利用した摂取量推定.
メチル水銀研究ミーティング (2016.12)

穂山浩: 学術論文の読み方, 書き方 (基本編) Regulatory Scienceにおける論文の意味を踏まえて.
日本食品化学学会第2回食品科学研究のための基礎セミナー (2017.1)

穂山浩：既存添加物の安全性確保のための規格基準設定に関する研究。

平成28年度日本食品衛生学会厚生労働科学研究（食品の安全確保推進研究）シンポジウム（2017.2）

永山敏廣^{*1}，中島正博^{*2}，三宅司郎^{*3}，小木曾基樹^{*4}，小島尚^{*5}，高取聡^{*6}，高野伊知郎^{*7}，根本了，松木宏晃^{*8}，宮下隆^{*9}，望月直樹^{*10}：衛生試験法・注解 高速液体クロマトグラフィーによるアフラトキシンM1の定性および定量並びにELISAによる農薬のスクリーニング試験。日本薬学会第137年会（2017.3）

^{*1} 明治薬科大学

^{*2} 名古屋市衛生研究所

^{*3} (株)堀場製作所

^{*4} (一財)日本食品分析センター

^{*5} 帝京科学大学

^{*6} 大阪府公衆衛生研究所

^{*7} 東京都健康安全研究センター

^{*8} サントリービジネスエキスパート(株)

^{*9} キューピー(株)

^{*10} 横浜薬科大学

佐藤恭子，古庄紀子，吉川宏^{*}，山本隆志^{*}，岡村弘之^{*}，彌勒地義治^{*}，関谷史子^{*}：天然香料の使用量調査研究。第112回日本食品衛生学会学術講演会（2016.10）

^{*} 日本香料工業会

久保田浩樹，関根百合子^{*1}，田村志帆^{*1}，杉木幹雄^{*2}，宮川弘之^{*2}，田原正一^{*2}，山本純代^{*2}，植松洋子^{*2}，林千恵子^{*3}，本郷猛^{*4}，氏家あけみ^{*5}，安永恵^{*5}，中島安基江^{*6}，安部かおり^{*6}，小川尚孝^{*7}，川原るみ子^{*7}，仲間幸俊^{*8}，古謝あゆ子^{*8}，恵飛須則明^{*8}，小金澤望^{*9}，寺見祥子，熊井康人，多田敦子，佐藤恭子：平成27年度マーケットバスケット方式による食品添加物の一日摂取量調査。第53回全国衛生化学技術協議会年会（2016.11）

^{*1} 仙台市衛生研究所

^{*2} 東京都健康安全研究センター

^{*3} 千葉県衛生研究所

^{*4} 千葉県衛生研究所（現：千葉縣市川健康福祉センター（市川保健所））

^{*5} 香川県環境保健研究センター

^{*6} 広島県立総合技術研究所保健環境センター

^{*7} 長崎市保健環境試験所

^{*8} 沖縄県衛生環境研究所

^{*9} 札幌市衛生研究所

建部千絵，久保田浩樹，多田敦子，佐藤恭子：キレート樹脂固相カートリッジを用いた2価の陽イオンを含む食品添加物中の鉛試験法の開発。

日本食品化学学会 第22回総会・学術大会（2016.6）

建部千絵，久保田浩樹，多田敦子，佐藤恭子：食品添加物公定書における塩化物試験法に関する検討。

第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム（2016.9）

建部千絵，久保田浩樹，多田敦子，佐藤恭子：鉄イオンを含む食品添加物中の鉛分析法の検討。

第112回日本食品衛生学会学術講演会（2016.10）

古庄紀子，鐘熙寧，建部千絵，久保田浩樹，多田敦子，穂山浩，佐藤恭子：過酢酸製剤並びにその構成成分1-ヒドロキシエチリデン-1,1-ジホスホン酸及びオクタン酸の規格試験法の検討。

第112回日本食品衛生学会学術講演会（2016.10）

鈴木一平，久保田浩樹，大槻崇，吉田充哉^{*}，吉田美佳^{*}，佐々木祐子^{*}，建部千絵，多田敦子，穂山浩，佐藤恭子：食品中の過酢酸製剤実態調査。

第53回全国衛生化学技術協議会年会（2016.11）

^{*} (一財)日本食品分析センター

高橋未来^{*1}，多田敦子，西崎雄三，杉本直樹，竹内弘明^{*2}，中川一弥^{*2}，穂山浩，井之上浩一^{*1}：高速向流クロマトグラフィーによるゴマ油不けん化物からの高純度セサミンおよびセサモリンの単離精製。

日本食品化学学会 第22回総会・学術大会（2016.6）

^{*1} 立命館大学薬学部

^{*2} 長岡香料株式会社

西崎雄三，國井成則^{*1}，小西良子^{*1}，穂山浩，井原俊英^{*2}，加藤尚志^{*2}，多田敦子，杉本直樹，佐藤恭子：qNMR/LCから求めた相対感度係数を適用したカルミン酸定量分析法の検討。

日本食品化学学会 第22回総会・学術大会（2016.6）

^{*1} 麻布大学生命・環境科学部

^{*2} (国研)産業技術総合研究所

西崎雄三, 穂山浩, 多田敦子, 杉本直樹, 佐藤恭子: 定量NMRに基づく相対感度係数を用いた4アミノカルミン酸定量分析法の検討

第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

石附京子, 西崎雄三, 多田敦子, 箕川剛*, 中島光一*, 穂山浩, 杉本直樹, 佐藤恭子: 既存添加物クチナシ青色素の色素生成メカニズムの解明: 前駆体の構造決定.

日本食品化学学会 第22回総会・学術大会 (2016.6)

* 三栄源エフ・エフ・アイ (株)

石附京子, 西崎雄三, 杉本直樹, 佐藤恭子: ¹³C-qNMRによる定量分析の検討.

第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

天倉吉章*, 吉田晴菜*, 杉脇秀美*, 好村守生*, 多田敦子, 西崎雄三, 杉本直樹, 佐藤恭子, 穂山浩: 既存添加物「生コーヒー豆抽出物」の成分研究.

日本食品化学学会 第22回総会・学術大会 (2016.6)

* 松山大学薬学部

藤原裕未*, 水野舞*, 永津明人*, 杉本直樹, 西崎雄三, 多田敦子, 穂山浩: 定量 NMR による生薬チョウジ中の eugenol の定量.

日本生薬学会第63回年会 (2016.9)

* 金城学院大学薬学部

斎藤直樹*, 北牧祐子*, 大塚聡子*, 西崎雄三, 杉本直樹, 井原俊英*: 定量NMR法における不純物の重なる信号に対するクロマトグラフィーを併用した新規評価法の確立.

日本分析化学会 第65年回 (2016.9)

* (国研) 産業技術総合研究所

黒江美穂*, 山崎太一*, 斎藤直樹*, 中村哲枝*, 沼田雅彦*, 西崎雄三, 杉本直樹, 井原俊英*: 新規定量法であるqNMR/LC法による非イオン界面活性剤標準液の濃度評価.

第55回NMR討論会 (2016.11)

* (国研) 産業技術総合研究所

芝崎健悟^{*1}, 交久瀬綾香^{*1}, 石附京子, 西崎雄三, 兎川

忠靖^{*1}, 末松孝子^{*2}, 黒江美穂^{*3}, 山崎太一^{*3}, 斎藤直樹^{*3}, 井原俊英^{*3}, 杉本直樹, 佐藤恭子: qNMR/LCを用いたlycopeneの新規定量法の開発.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*1} 明治薬科大学薬学部

^{*2} 日本電子株式会社

^{*3} (国研) 産業技術総合研究所

六鹿元雄, 阿部孝^{*1}, 阿部智之^{*2}, 阿部裕, 大野春香^{*3}, 大野浩之^{*4}, 大野雄一郎^{*5}, 尾崎麻子^{*6}, 柿原芳輝^{*7}, 小林尚^{*8}, 柴田博^{*9}, 関戸晴子^{*10}, 菌部博則^{*11}, 但馬吉保^{*12}, 田中葵^{*13}, 中西徹^{*1}, 野村千枝^{*14}, 羽石奈穂子^{*15}, 早川雅人^{*16}, 疋田晃典^{*17}, 三浦俊彦^{*18}, 山口未来, 渡辺一成^{*16}, 穂山浩, 佐藤恭子: 器具・容器包装の溶出試験における試験溶液調製操作の試験室間共同試験.

日本食品化学学会第22回総会・学術大会 (2016.6)

^{*1} (一財) 日本食品分析センター

^{*2} (公社) 日本食品衛生協会

^{*3} 愛知県衛生研究所

^{*4} 名古屋市衛生研究所

^{*5} (一財) 千葉県薬剤師会検査センター

^{*6} 大阪市立環境科学研究所

^{*7} (一財) 日本穀物検定協会

^{*8} (一財) 食品分析開発センター SUNATEC

^{*9} (一財) 東京顕微鏡院

^{*10} 神奈川県衛生研究所

^{*11} (一財) 日本文化用品安全試験所

^{*12} (一財) 食品環境検査協会

^{*13} (一社) 日本海事検定協会

^{*14} 大阪府立公衆衛生研究所

^{*15} 東京都健康安全研究センター

^{*16} (一財) 化学研究評価機構

^{*17} 長野県環境保全研究所

^{*18} (一財) 日本冷凍食品検査協会

Mutsuga M, Abe Y, Yamaguchi M, Sato K: Interlaboratory study on migration test for food contact material.

6th International Symposium on Food Packaging (2016.11)

阿部裕, 山口未来, 六鹿元雄, 穂山浩, 佐藤恭子: DART-MS/MSを用いたポリ塩化ビニル中のフタル酸エステル類の迅速スクリーニング法の開発.

日本食品化学学会第22回総会・学術大会 (2016.6)

阿部裕, 山口未来, 阿部智之^{*1}, 大野浩之^{*2}, 六鹿元雄,
佐藤恭子: カプロラクタム試験におけるピーク形状改善
のためのGC測定条件の検討.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

^{*1} (公社) 日本食品衛生協会

^{*2} 名古屋市衛生研究所

Abe Y, Kobayashi N, Mutsuga M, Kishi E*, Ozaki
A*, Sato K: Determination of formaldehyde and
acetaldehyde levels in PET-bottled mineral water
using a rapid and simple analytical method.

6th International Symposium on Food Packaging
(2016.11)

* Osaka City Institute of Public Health and
Environmental Sciences

山口未来, 木嶋麻乃*, 阿部裕, 伊藤裕才*, 六鹿元雄,
佐藤恭子: ポリ塩化ビニル製玩具中の可塑剤使用実態調
査.

日本食品化学学会第22回総会・学術大会 (2016.6)

* 共立女子大学家政学部

山口未来, 阿部裕, 六鹿元雄, 佐藤恭子: フタル酸エス
テル類の溶出挙動に関する研究.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

大野浩之^{*1}, 六鹿元雄, 阿部智之^{*2}, 阿部裕, 天野保
希^{*3}, 石原絹代^{*4}, 大坂郁恵^{*5}, 大野春香^{*6}, 大野雄一
郎^{*7}, 尾崎麻子^{*8}, 柿原芳輝^{*9}, 小林尚^{*10}, 近藤貴英^{*11},
櫻木大志^{*1}, 柴田博^{*12}, 城野克広^{*13}, 関戸晴子^{*14}, 高
坂典子^{*15}, 竹中佑^{*16}, 但馬吉保^{*17}, 田中葵^{*18}, 田中秀
幸^{*13}, 中西徹^{*4}, 野村千枝^{*19}, 羽石奈穂子^{*20}, 早川雅
人^{*21}, 三浦俊彦^{*22}, 山口未来, 渡辺一成^{*21}, 佐藤恭子:
器具・容器包装における蒸発残留物試験の試験室間共同
試験 (その1).

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

^{*1} 名古屋市衛生研究所

^{*2} (公社) 日本食品衛生協会

^{*3} 長野県環境保全研究所

^{*4} (一財) 日本食品分析センター

^{*5} 埼玉県衛生研究所

^{*6} 愛知県衛生研究所

^{*7} 千葉県薬剤師会検査センター

^{*8} 大阪市立環境科学研究所

^{*9} (一財) 日本穀物検定協会

^{*10} (一財) 食品分析開発センター SUNATEC

^{*11} さいたま市健康科学研究センター

^{*12} (一財) 東京顕微鏡院

^{*13} (国研) 産業技術研究所

^{*14} 神奈川県衛生研究所

^{*15} (一財) 食品薬品安全センター

^{*16} (一財) 日本文化用品安全試験所

^{*17} (一財) 食品環境検査協会

^{*18} (一社) 日本海事検定協会

^{*19} 大阪府立公衆衛生研究所

^{*20} 東京都健康安全研究センター

^{*21} (一財) 化学研究評価機構

^{*22} (一財) 日本冷凍食品検査協会

大野浩之^{*1}, 六鹿元雄, 阿部智之^{*2}, 阿部裕, 天野保希^{*3},
石原絹代^{*4}, 大坂郁恵^{*5}, 大野春香^{*6}, 大野雄一郎^{*7},
尾崎麻子^{*8}, 柿原芳輝^{*9}, 小林尚^{*10}, 近藤貴英^{*11}, 櫻
木大志^{*1}, 柴田博^{*12}, 城野克広^{*13}, 関戸晴子^{*14}, 高坂
典子^{*15}, 竹中佑^{*16}, 但馬吉保^{*17}, 田中葵^{*18}, 田中秀
幸^{*13}, 中西徹^{*4}, 野村千枝^{*19}, 羽石奈穂子^{*20}, 早川雅
人^{*21}, 三浦俊彦^{*22}, 山口未来, 渡辺一成^{*21}, 佐藤恭子:
器具・容器包装における蒸発残留物試験の試験室間共同
試験 (その2).

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

^{*1} 名古屋市衛生研究所

^{*2} (公社) 日本食品衛生協会

^{*3} 長野県環境保全研究所

^{*4} (一財) 日本食品分析センター

^{*5} 埼玉県衛生研究所

^{*6} 愛知県衛生研究所

^{*7} 千葉県薬剤師会検査センター

^{*8} 大阪市立環境科学研究所

^{*9} (一財) 日本穀物検定協会

^{*10} (一財) 食品分析開発センター SUNATEC

^{*11} さいたま市健康科学研究センター

^{*12} (一財) 東京顕微鏡院

^{*13} (国研) 産業技術研究所

^{*14} 神奈川県衛生研究所

^{*15} (一財) 食品薬品安全センター

^{*16} (一財) 日本文化用品安全試験所

^{*17} (一財) 食品環境検査協会

^{*18} (一社) 日本海事検定協会

^{*19} 大阪府立公衆衛生研究所

^{*20} 東京都健康安全研究センター

*²¹ (一財) 化学研究評価機構

*²² (一財) 日本冷凍食品検査協会

中西徹*, 河村葉子, 阿部裕, 六鹿元雄: 植物油総溶出量試験法の改良 その5 改良試験法の試験室間共同試験.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

* (一財) 日本食品分析センター

阿部智之*¹, 阿部裕, 山口未来, 大野浩之*², 六鹿元雄, 佐藤恭子: 揮発性物質試験におけるスチレンメモリー現象に関する検討.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

*¹ (公社) 日本食品衛生協会

*² 名古屋市衛生研究所

尾崎麻子*, 岸映里*, 大嶋智子*, 角谷直哉*, 阿部裕, 六鹿元雄, 山野哲夫*: 食品用ラミネートフィルムに含まれる残留有機溶剤の分析.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

* 大阪市立環境科学研究所

Ozaki A*, Kishi E*, Ooshima T*, Kakutani N*, Abe Y, Mutsuga M, Yamano T*: Determination of elements and residual solvents in laminated films used for food packaging.

6th International Symposium on Food Packaging (2016.11)

* Osaka City Institute of Public Health and Environmental Sciences

Kishi E*, Ozaki A*, Ooshima T*, Abe Y, Mutsuga M, Yamano T*: Multielements analysis in polyethylene terephthalate (PET) bottles used for beverages in Japan.

6th International Symposium on Food Packaging (2016.11)

* Osaka City Institute of Public Health and Environmental Sciences

Nakanishi T*, Kawamura Y, Sugimoto T*, Abe Y, Mutsuga M: Improvement of the test methods for overall migration into vegetable oil.

6th International Symposium on Food Packaging (2016.11)

* Japan Food Research Laboratories

Asakura H: Refrigeration temperature regulation in Japan.

The 30th Korean Society of Food Hygiene and Technology Annual meeting (2016.10)

朝倉宏, 山崎栄樹*¹, 小西良子*², 五十君静信*³, 山本茂貴*⁴: 細菌学領域における基礎と臨床のクロストークセッション-カンピロバクター・ジェジュニが顕す生存・生息のための環境応答.

第90回日本細菌学会学術総会 (2017.3)

*¹ 帯広畜産大学

*² 麻布大学

*³ 東京農業大学

*⁴ 内閣府食品安全委員会

山本詩織, 朝倉宏, 岡田由美子, 吉田麻利江, 五十君静信*: 国内の市販鶏肉由来ESBL産生大腸菌が保有するIncIIプラスミドの分子疫学的傾向とその特性について.

第90回日本細菌学会学術総会 (2017.3)

* 東京農業大学

山本詩織, 須田貴之, 吉村昌徳, 岡田由美子, 朝倉宏, 五十君静信*: 国内の従来法とISO 4833-1:2013による一般生菌数試験法の比較評価-生菌数値及び菌種の差とそれに係る因子の調査.

第112回日本食品衛生学会 (2016.5)

* 東京農業大学

朝倉宏: ゲノムデータに基づく, カンピロバクターの蔓延要因と宿主・環境適応機構の探知.

第37回日本食品微生物学会学術総会 (2016.9)

澤谷守*¹, 本田三緒子*², 平健介*¹, 清水秀樹*³, 朝倉宏, 小林直樹*¹, 小西良子*¹: 鹿肉に寄生するサルコシステイスの保蔵・加工要因に関する感受性.

第37回日本食品微生物学会学術総会 (2016.9).

*¹ 麻布大学

*² ヤマサキ学園大学

*³ 山梨県峡南保健所

朝倉宏, 山本詩織, 小西良子^{*1}, 山本茂貴^{*2}, 五十君静信^{*3}: *Campylobacter jejuni*が顕す, 冷凍抵抗性関連因子の探索.

第37回日本食品微生物学会学術総会 (2016.9)

*¹ 麻布大学

*² 東海大学

*³ 東京農業大学

森篤志, 安河内彩, 小西良子^{*1}, 杉山広^{*2}, 五十君静信^{*3}, 朝倉宏: 市販ジビエ食肉の細菌汚染実態と構成菌叢に関する検討.

第43回日本防菌防黴学会年次大会 (2016.9)

*¹ 麻布大学

*² 国立感染症研究所

*³ 東京農業大学

山本詩織, 吉田麻利江, 岡田由美子, 朝倉宏, 五十君静信*: 市販鶏肉におけるESBL産生大腸菌及びVREの汚染実態と分離株の遺伝特性について.

第43回日本防菌防黴学会年次大会 (2016.9)

* 東京農業大学

宮崎知佳^{*1}, 木次日向子^{*1}, 高鳥美奈子^{*1}, 太田利子^{*2}, 朝倉宏, 高鳥浩介^{*1}: 漬物の衛生規範に関する実態調査 - 真菌調査 -.

第43回日本防菌防黴学会年次大会 (2016.9)

*¹ NPO法人カビ相談センター

*² 相模女子大学

池原強^{*1}, 大城直雅, 國吉杏子, 安元健^{*2}: 酸化酵素によるシガトキシンの化学構造修飾.

第30回海洋生物活性談話会 (2016.5)

*¹ (国研) 水産研究・教育機構水産大学校

*² (一財) 日本食品分析センター多摩研究所

富川拓海^{*1}, 國吉杏子, 石川輝^{*2}, 長谷川晶子^{*3}, 佐久川さつき^{*4}, 仲間幸俊^{*4}, 小島尚^{*5}, 大城直雅: 日本沿岸産藻食性動物におけるシガトキシン類の探索.

第111回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.5)

*¹ 帝京科学大学大学院理工学研究所

*² 三重大学大学院生物資源学研究所

*³ 愛知県衛生研究所

*⁴ 沖縄県衛生環境研究所

*⁵ 帝京科学大学生命環境学部

鎗田孝^{*1}, 稲垣真輔^{*1}, 川口研^{*1}, 山崎太一^{*1}, 内田肇^{*2}, 會澤弘城^{*3}, 大城直雅, 小林まなみ^{*4}, 永江美加^{*5}, 長尾彰文^{*6}, 納谷隆行^{*7}, 林孝子^{*8}, 高津章子^{*1}, 鈴木敏之^{*2}: 下痢性貝毒の試験所間比較試験における標準添加法の適用.

2016年AOAC INTERNATIONAL日本セクション年次大会 (2016.7)

*¹ (国研) 産業技術総合研究所

*² (国研) 水産研究・教育機構中央水産研究所

*³ (一財) 日本冷凍食品検査協会

*⁴ (株) 島津製作所

*⁵ (一財) 日本食品分析センター

*⁶ (独) 農林水産消費安全技術センター

*⁷ (一社) 青森県薬剤師会衛生検査センター

*⁸ 神奈川県衛生研究所

Ikehara T^{*1}, Kuniyoshi K, Oshiro N, Yasumoto T^{*2}: Verification of biooxidation of ciguatoxins leading species specific toxin profiles. First Workshop on Emerging Toxins (2016.9)

*¹ (国研) 水産研究・教育機構水産大学校

*² (一財) 日本食品分析センター多摩研究所

木下翼^{*1}, 池原強^{*1}, 前川公彦^{*2}, 中島志穂子^{*3}, 大城直雅, 安元健^{*4}: ホタテガイ (*Patinopecten yessoensis*) 可食部試料を用いたPP2A活性阻害法による下痢性貝毒簡易分析法の評価.

平成28年度日本水産学会秋季大会 (2016.9)

*¹ (国研) 水産研究・教育機構水産大学校

*² サロマ湖養殖漁業協同組合

*³ 福岡大学スポーツ科学部

*⁴ (一財) 日本食品分析センター多摩研究所

西村美桜^{*1}, 長沢寛弥^{*2}, 國吉杏子, 小西良子^{*2}, 大城直雅, 立原一憲^{*3}: シガテラ毒魚オジロバラハタの年齢と成長, 成熟, 食性.

2015年度日本魚類学会年会 (2016.9)

*¹ 琉球大学大学院理工学研究科

*² 麻布大学生命・環境科学部

*³ 琉球大学理学部

木村圭介^{*1}, 大城直雅, 永井宏史^{*2}, 浅倉弘幸^{*1}, 観公子^{*1}, 笹本剛生^{*1}: 東京都内で発生したオゴノリ喫食による有症事例.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

*¹ 東京都健康安全研究センター

*² 東京海洋大学大学院海洋環境学部門

鎗田孝^{*1}, 稲垣真輔^{*1}, 内田肇^{*2}, 大城直雅, 會澤弘城^{*3}, 赤星千絵^{*4}, 大泉由里^{*3}, 小野寺裕一^{*5}, 川西美穂^{*6}, 木村圭介^{*7}, 斎藤晃一郎^{*3}, 千葉美子^{*8}, 永江美加^{*9}, 長尾彰文^{*6}, 納谷隆行^{*10}, 藤井良昭^{*11}, 松本幸一郎^{*12}, 茂木久美子^{*13}, 安本三穂^{*14}, 吉津巖之^{*15}, 脇ますみ^{*16}, 高津章子^{*1}, 鈴木敏之^{*2}: ホタテガイ中腸腺中のオカダ酸群分析に関する試験所間比較試験.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

*¹ (国研) 産業技術総合研究所

*² (国研) 水産研究・教育機構中央水産研究所

*³ (一財) 日本冷凍食品検査協会

*⁴ 川崎市健康安全研究

*⁵ (一財) 食品環境検査協会

*⁶ (独) 農林水産消費安全技術センター

*⁷ 東京都健康安全研究センター

*⁸ 宮城県保健環境センター

*⁹ (一財) 日本食品分析センター

*¹⁰ (一社) 青森県薬剤師会衛生検査センター

*¹¹ 北海道立衛生研究所

*¹² 横浜市中央卸売市場本場食品衛生検査所

*¹³ (一財) 宮城県公衆衛生協会

*¹⁴ (一財) 東京顕微鏡院

*¹⁵ (公財) 北九州生活科学センター

*¹⁶ 神奈川県衛生研究所

國吉杏子, 松田りえ子, 大城直雅: 下痢性貝毒オカダ酸群のLC-MS/MS分析法における前処理法検討.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

長沢寛弥^{*1}, 國吉杏子, 谷川敏明^{*2}, 小林直樹^{*1}, 小西良子^{*1}, 安元健^{*3}, 大城直雅: 小笠原諸島産バラハタのシガトキシン分析.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

*¹ 麻布大学生命・環境科学部

*² 釣り船海賊

*³ (一財) 日本食品分析センター多摩研究所

富川拓海^{*1}, 國吉杏子, 石川輝^{*2}, 佐久川さつき^{*3}, 小島尚^{*4}, 安元健^{*5}, 大城直雅: 日本沿岸産イシガキダイのLC-MS/MSによるシガトキシン類分析.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

*¹ 帝京科学大学大学院理工学研究科

*² 三重大学大学院生物資源学研究所

*³ 沖縄県衛生環境研究所

*⁴ 帝京科学大学生命環境学部

*⁵ (一財) 日本食品分析センター多摩研究所

大城直雅, 國吉杏子, 堀田彩乃^{*1}, 鈴木貴文^{*1}, 杉田典子^{*1}, 松浦啓一^{*2}, 中島安基江^{*3}, 安西洋一^{*4}: コモンフグの毒性分析.

第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

*¹ 明治薬科大学

*² 国立科学博物館

*³ 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*⁴ 広島市保健所

Toda M, Sakugawa S^{*1}, Nakama Y^{*1}, Takamine T^{*1}, Toyofuku H^{*2}, Oshiro N: Ciguatera Fish Poisoning in Japan.

7th ISAJ (Indian Scientists Association in Japan) Symposium: India-Japan Symposium on Science and Technology for Sustainability (2016.12)

*¹ 沖縄県衛生環境研究所

*² 山口大学連合獣医学部

Tomikawa T^{*1}, Kuniyoshi K, Ishikawa A^{*2}, Toyofuku H^{*3}, Kojima T^{*4}, Yasumoto T^{*5}, Oshiro N: Detection of Ciguatoxins from Finfish Caught off the Tropical Sea.

7th ISAJ (Indian Scientists Association in Japan) Symposium: India-Japan Symposium on Science and Technology for Sustainability (2016.12)

*¹ 帝京科学大学大学院理工学研究科

*² 三重大学大学院生物資源学研究所

*³ 山口大学連合獣医学部

*⁴ 帝京科学大学生命環境学部

*⁵ (一財) 日本食品分析センター多摩研究所

長沢寛弥^{*1}, 大城直雅, 國吉杏子, 朝倉宏, 小林直樹^{*1},
小西良子^{*1}, 安元健^{*2}: バラハタ *Variola louti* の部位別
シガトキシン濃度.

平成29年度日本水産学会春季大会 (2017.3)

^{*1} 麻布大学生命・環境科学部

^{*2} (一財) 日本食品分析センター多摩研究所

佐藤繁*, 藤田沙和衣*, 森美貴*, 犬童優華*, 佐伯富貴*,
高石鈴香*, 大城直雅: デカルバモイルサキシトキシンの
大量調製法.

平成29年度日本水産学会春季大会 (2017.3)

* 北里大学海洋生命科学部

鈴木穂高: フグ毒のマウス・バイオアッセイの致死時間
- マウス単位換算表の検証 —1マウス・ユニットとは—

第159回日本獣医学会学術集会 (2016.9)

Suzuki H: Mouse strain differences in the susceptibility
to tetrodotoxin.

7th Asian Federation of Laboratory Animal Science
Associations Congress 2016 (2016.11)

Okada Y, Suzuki H, Yoshida M, Momose Y, Igimi
S*: Comparison of pathogenicities of *Listeria*
monocytogenes serotype 4b isolates.

19th International Symposium on Problems of
Listeriosis. (2016.6)

* Tokyo University of Agriculture

Shimajima Y*, Ida M*, Nakama A*, Nishino Y*, Fukui
R*, Kuroda S*, Yoshida M, Hirai A*, Sadamasu K*,
Okada Y: Pulsed-field gel electrophoresis analysis of
Listeria monocytogenes isolated in Japan.

19th International Symposium on Problems of
Listeriosis. (2016.6)

* Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

萩原博和*, 上村真理子*, 吉川夏未*, 岡田由美子:
Bacillus cereus の選択培地における比較検討.

第112回日本食品衛生学会 (2016.11)

* 日本大学

岡田由美子, 下島優香子^{*1}, 吉田麻利江, 井田美樹^{*1},
百瀬愛佳, 平井昭彦^{*1}, 泉谷秀昌^{*2}: 日本国内で分離さ
れた *Listeria monocytogenes* の分子疫学的解析.

第90回日本細菌学会 (2017.3)

^{*1} 東京都健康安全研究センター

^{*2} 国立感染症研究所

斎藤博之*, 秋野和華子*, 野田衛: 疫学的視点から見
たノロウイルスGII.P17-GII.17型の病原性に関する一考
察.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

* 秋田県健康環境センター

小菅大嗣*, 三元昌美, 上間匡, 小林直樹*, 小西良子,
野田衛: 低温加熱試験によるノロウイルスの不活化.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

* 麻布大学

鈴木達也*, 渡辺卓穂*, 中阪聡亮*, 梅津麻実*, 上間匡,
野田衛: ノロウイルス検査の外部精度管理調査.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

* (一財) 食品薬品安全センター

上間匡, 三元昌美, 古山祐輔*, 野田衛: F-RNAファ
ージの遺伝子型別法の検討および市販用カキから検出され
たF-ファージの遺伝子型別.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

* 帝京科学大学

三元昌美, 上間匡, 野田衛: 市販用カキのノロウイルス,
F-ファージ, 細菌 (細菌数, E.coli最確数) の汚染状況
の比較.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

芦塚由紀^{*1}, 吉富秀亮^{*1}, 中村麻子^{*1}, 小林孝行^{*1}, 濱
崎光宏^{*1}, 世良暢之^{*1}, 梶原淳陸^{*1}, 清水良平^{*2}, 岡本
健太郎^{*2}, 友枝哲宏^{*2}, 森一也^{*3}, 松尾寿子^{*3}, 野田衛:
飲用水からノロウイルスが検出された食中毒事例.

第37回日本食品微生物学会学術総会 (2016.9)

^{*1} 福岡県保健環境研究所

^{*2} 福岡県保健医療介護部保健衛生課

*³ 南筑後保健福祉環境事務所

斎藤博之*, 秋野和華子*, 野田衛: ノロウイルス遺伝子型別の効率化に関する検討.

第37回日本食品微生物学会学術総会 (2016.9)

* 秋田県健康環境センター

上間匡, 三元昌美, 小菅大嗣, 野田衛: 感染性推定遺伝子検査法および次世代シーケンサーを用いたカキからのノロウイルス遺伝子の検出.

第37回日本食品微生物学会学術総会 (2016.9)

小菅大嗣*, 三元昌美, 上間匡, 小林直樹*, 小西良子*, 野田衛: 各種負荷剤を用いた市販塩素系消毒剤のネコカリシウイルスに対する不活化効果の比較.

第37回日本食品微生物学会学術総会 (2016.9)

* 麻布大学

三元昌美, 上間匡, 野田衛: プラーク法によるカキからのF-ファージ検出法の検討.

第37回日本食品微生物学会学術総会 (2016.9)

秋野和華子*, 斎藤博之*, 野田衛: 市販生カキからのノロウイルス・サポウイルスの検出と秋田県内における流行状況の推移.

第37回日本食品微生物学会学術総会 (2016.9)

* 秋田県健康環境センター

谷澤由枝*, 重本直樹*, 高尾信一*, 野田衛: ふき取り検体からのハイドロキシアパタイトによるノロウイルスの濃縮法の検討.

第37回日本食品微生物学会学術総会 (2016.9)

* 広島県立総合技術研究所保健環境センター

Saito H^{*1}, Toho M^{*2}, Noda M, Tanaka T^{*3}: Noroviruses RNA detection in contaminated foods by a PANtrap method.

The 11th Japan-China International Conference of Virology (2016.7)

*¹ Akita Prefectural Research Center for Public Health and Environment

*² Fukui Prefectural Institute of Public Health and

Environment Science

*³ Sakai City Institute of Public Health

名古屋真弓*, 板持雅恵*, 稲崎倫子*, 稲畑良*, 佐賀由美子*, 米田哲也*, 野田衛, 滝澤剛則*, 小淵正次*: メタゲノム解析による下水からのノロウイルス・サポウイルス検出.

第64回日本ウイルス学会学術集会 (2016.10)

* 富山県衛生研究所

寺嶋淳: EHECに関する食品の衛生管理基準の変遷について.

第20回腸管出血性大腸菌感染症研究会 (2016.5)

森哲也*, 長尾清香, 岸野かなえ*, 難波豊彦*, 伊藤武*, 工藤由起子: 食品からの腸管出血性大腸菌検出におけるDNA抽出と遺伝子検出法の検討.

第111回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.5)

* (一財) 東京顕微鏡院

大阪美紗^{*1}, 大塚佳代子^{*1}, 星野梢^{*1}, 門脇奈津子^{*1}, 榎田希^{*1}, 小西典子^{*2}, 甲斐明美^{*3}, 寺嶋淳, 工藤由起子: 食品での腸管毒素原性大腸菌検査法を確立するための基礎検討.

第112回日本食品衛生学会 (2016.10)

*¹ 埼玉県衛生研究所

*² 東京都健康安全研究センター

*³ (公社) 日本食品衛生協会

小西典子^{*1}, 尾畑浩魅^{*1}, 平井昭彦^{*1}, 甲斐明美^{*2}, 大塚佳代子^{*3}, 寺嶋淳, 工藤由起子: 毒素原性大腸菌による集団および散発下痢症の特性解析.

第112回日本食品衛生学会 (2016.10)

*¹ 東京都健康安全研究センター

*² (公社) 日本食品衛生協会

*³ 埼玉県衛生研究所

都丸亜希子, 登田美桜, 寺嶋淳, 工藤由起子: ヒスタミン食中毒の原因となる魚種の傾向とヒスタミン生成菌の文献情報解析.

第112回日本食品衛生学会 (2016.10)

西村秀郷*, 都丸亜希子, 吉成知也, 後藤慶一*, 寺嶋淳,

工藤由起子：赤身魚でのヒスタミン生成菌の分布および菌種同定.

第112回日本食品衛生学会 (2016.10)

* 東海大学

Lee K*, Kobayashi N, Watanabe M, Sugita-Konishi Y, Tsubone H*, Kumagai S*, Hara-Kudo Y: Spread and change in stress resistance of shiga toxin-producing *Escherichia coli* O157 on food-related fungal colonies.

International Symposium of Mycotoxicology (2016.12)

* The University of Tokyo

Kikuchi Y, Yusa S, Nakajima O, Terajima J, Kanayasu-Toyoda T, Yamaguchi T: Expression of a splice variant of prion protein in human glioblastoma cell line T98G regulated by the overexpression of bHLH transcription factor DECI.

Keystone symposia: Common Mechanisms of Neurodegeneration (2016.6)

菊池裕：日局17微生物試験法.

日本防菌防黴学会第43回年次大会 (2016.9)

Kanayasu-Toyoda T, Tanaka T*, Kikuchi Y, Uchida E, Yamaguchi T: Effect of hyaluronidase on invasion of early endothelial progenitor cells derived from CD133+ cells.

第89回日本生化学会大会 (2016.9)

* Nihon Pharmaceutical University

平谷寛樹^{*1}, 大内勇樹^{*1}, 山崎朗子^{*1}, 福富友馬^{*2}, 長井和哉^{*1}, 小林直樹^{*3}, 渡辺麻衣子, 窪崎敦隆, 知花博治^{*4}, 鎌田洋一^{*1}: 次世代シーケンシングデータを利用した *Aspergillus restrictus* アレルゲン候補エノラーゼの同定と解析.

第159回日本獣医学会学術集会 (2016.9)

*¹ 岩手大学

*² (独) 国立病院機構相模原病院

*³ 麻布大学

*⁴ 千葉大学真菌医学研究センター

平谷寛樹^{*1}, 大内勇樹^{*1}, 福富友馬^{*2}, 長井和哉^{*1}, 小林直樹^{*3}, 渡辺麻衣子, 窪崎敦隆, 知花博治^{*4}, 鎌田洋

一^{*1}: *Aspergillus restrictus* エノラーゼ相同タンパク質のアレルゲン性の解析.

日本防菌防黴学会第43回年次大会 (2016.9)

*¹ 岩手大学

*² (独) 国立病院機構相模原病院

*³ 麻布大学

*⁴ 千葉大学真菌医学研究センター

釣木澤尚実^{*1}, 押方智也子^{*1}, 石田雅嗣^{*2}, 小林誠一^{*2}, 齋藤明美^{*3}, 窪崎敦隆, 寺嶋淳, 鎌田洋一^{*4}, 栗山進一^{*5}, 矢内勝^{*2}, 渡辺麻衣子: 東日本大震災における応急仮設住宅住民を対象とした気管支喘息有症率.

第53回日本小児アレルギー学会 (2016.10)

*¹ (独) 国立病院機構埼玉病院

*² 石巻赤十字病院

*³ (独) 国立病院機構相模原病院

*⁴ 岩手大学

*⁵ 東北大学

窪崎敦隆, 渡辺麻衣子, 吉成知也, 野地歩^{*1}, 小林直樹^{*1}, 小西良子^{*1}, 石毛太一郎^{*2}, 佐々木剛^{*3}, 寺嶋淳: 細菌・真菌同時検出を目指す網羅解析法の検討.

第11回日本ゲノム微生物学会年会 (2017.3)

*¹ 麻布大学

*² 東京農業大学生物資源ゲノム解析センター

*³ 東京農業大学

小林直樹^{*1,2}, 渡辺麻衣子, 吉成知也, 矢内美幸^{*3}, 杉浦義紹^{*2}, 高橋治男, 寺嶋淳, 小西良子^{*1,2}: *Aspergillus* section *Versicolores* の系統分類とステリグマトシスチン産生能の検討.

日本進化学会第18回大会東京大会 (2016.8)

*¹ 麻布大学 院環境保健

*² 麻布大学 生命環境

*³ 一般財団法人日本食品分析センター

鈴木佑奈^{*1}, 宮原彩花^{*2}, 吉成知也, 小林直樹^{*2}, 小西良子^{*2}, 寺嶋淳, 後藤慶一^{*1}, 高橋治男, 渡辺麻衣子: 発酵食品から分離された黒麹菌と近縁菌の系統分類学的研究.

第37回日本食品微生物学会学術総会 (2016.9)

*¹ 東海大学海洋学部

*² 麻布大学生命環境科学部

渡辺麻衣子：カビの分類・同定方法。
日本防菌防黴学会第43回年次大会（2016.9）

Watanabe M: Evaluation of Molecular Markers for Identification of *Aspergillus* and *Fusarium* spp.
International Symposium of Mycotoxicology 2016 (2016.11)

Hashimoto R^{*1}, Nakagawa H^{*2}, Hashimoto K^{*3}, Oda H^{*3}, Kawakami Y^{*3}, Onji Y^{*4}, Kitaoka Y^{*4}, Watanabe M, Takahashi H: Inoculation of Fumonisin-Producing *Fusarium fujikuroi* Isolates to Grape Berries and the Fumonisin Production on the Berries.
International Symposium of Mycotoxicology 2016 (2016.11)

*¹ Chiba prefectural Institute of Public Health
*² National Agriculture and Food Research Organization
*³ Laboratory of Environmental Science, FCG Research Institute, INC.
*⁴ Nara prefectural Institute of Health

Suzuki Y^{*1}, Takahashi H, Yoshinari T, Kobayashi N^{*2}, Sugita-Konishi Y^{*2}, Terajima J, Goto K^{*1}, Watanabe M: Phylogenetic Studies on Saccharifying Activity and Fumonisin Production in the Strains of Kuro-Koji Molds and Their Relatives Isolated from Fermented Foods.
International Symposium of Mycotoxicology 2016 (2016.11)

*¹ School of Marine Science and Technology, Tokai University
*² Department of Food and Life Science, Azabu University

Lee K^{*}, Kobayashi N, Watanabe M, Sugita-Konishi Y, Tsubone H^{*}, Kumagai S^{*}, Hara-Kudo Y: Spread and Change in Stress Resistance of Shiga Toxin-Producing *Escherichia Coli* O157 on Food-Related Fungal Colonies.
International Symposium of Mycotoxicology 2016 (2016.11)

* Graduate School of Agricultural and Life Sciences,

the University of Tokyo

Ohnishi T, Oyama R, Furusawa H, Ohba N^{*1}, Kamata Y^{*2}, Sugita-Konishi Y^{*3}: *Kudoa septempunctata* was Recognized by Toll-like Receptor 2.
IAFP European Symposium on Food Safety (2016.5)

*¹ Kyoritsu Women's University
*² Iwate University
*³ Azabu University

大西貴弘, 藤原真里奈^{*}, 都丸亜希子, 吉成知也, 小西良子^{*}: ヒト腸管環境における *Kudoa septempunctata* の生存性。
第37回日本食品微生物学会学術総会（2016.9）

* 麻布大学

吉成知也：カビ毒汚染事例と規制—日本に流通する食品におけるカビ毒の汚染実態—。
第37回日本食品微生物学会学術総会（2016.9）

吉成知也, 竹田名菜水^{*}, 寺嶋淳, 小林直樹^{*}, 小西良子^{*}: 発がん性を有するカビ毒ステリグマトシスチンの我が国に流通する食品における汚染実態。
第112回日本食品衛生学会学術講演会（2016.10）

* 麻布大学

Yoshinari T, Terajima J: Studies on the inhibitory activity of blasticidin S toward aflatoxin production.
International Symposium of Mycotoxicology 2016 (2016.12)

Demizu Y, Yamashita H, Misawa T, Oba M^{*}, Tanaka M^{*}, Kurihara M: Development of helix-stabilized cell-penetrating peptides as an intracellular delivery tool.
34th European Peptide Symposium & 8th International Peptide Symposium (2016.9)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

Tanaka M^{*1}, Koba Y^{*1}, Ueda A^{*1}, Doi M^{*2}, Demizu Y, Kurihara M, Oba M^{*1}: Helical secondary structures of peptides having chiral five-membered ring amino acids with an acetal moiety.
34th European Peptide Symposium & 8th International

Peptide Symposium (2016.9)

*¹ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

*² 大阪薬科大学

出水庸介, 山下博子, 三澤隆史, 大庭誠*, 田中正一*, 栗原正明: ペプチド二次構造制御に基づく細胞膜高透過性ペプチドの開発.

第14回次世代を担う有機化学シンポジウム (2016.5)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

正田卓司, 奥平桂一郎*, 内藤幹彦, 栗原正明: エストロゲン受容体分解誘導剤の分子デザイン.

第20回日本がん分子標的治療薬学会 (2016.5)

* 徳島大学

出水庸介, 山下博子, 加藤巧馬*, 大岡伸通, 三澤隆史, 服部隆行, 田中正一*, 内藤幹彦, 大庭誠, 栗原正明: ペプチド二次構造制御に基づく細胞膜高透過性ペプチドの創製.

ケミカルバイオロジー第11回年会 (2016.6)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

三澤隆史, 出水庸介, 谷内出友美*¹, 大岡伸通, 野尻久雄*², 橋高敦史*², 槇島誠*³, 内藤幹彦, 栗原正明: ビタミンD受容体 (VDR) の活性を制御するノンセコステロイド型VDRリガンドの創製.

日本ビタミン学会第68回大会 (2016.6)

*¹ 東京大学分子細胞生物学研究所

*² 帝京大学薬学部

*³ 日本大学医学部

三澤隆史, 山下博子, 出水庸介, 服部隆行, 原屋佑樹, 加藤巧馬*, 大庭誠*, 加藤くみ子, 田中正一*, 合田幸広, 内藤幹彦, 栗原正明: 二次構造制御に基づく高膜透過性ペプチドの開発.

第32回日本DDS学会学術集会 (2016.6)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

出水庸介: 核内受容体を標的とした転写活性化阻害および分解誘導ペプチドの開発.

第48回若手ペプチド夏の勉強会 (2016.8)

小林寛幸, 出水庸介, 三澤隆史, 栗原正明: 二次構造制御を基軸とした膜透過ペプチドの開発.

第48回若手ペプチド夏の勉強会 (2016.8)

沖津航陽, 出水庸介, 三澤隆史, 栗原正明: Hisタグ融合タンパク質分解誘導分子の開発.

第48回若手ペプチド夏の勉強会 (2016.8)

三澤隆史, 山下博子, 出水庸介, 服部隆行, 加藤巧馬*, 大庭誠*, 田中正一*, 内藤幹彦, 栗原正明: 二次構造に着目した高膜透過性ペプチドの開発.

第10回バイオ関連化学シンポジウム (2016.9)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

正田卓司, 藤里卓磨*, 三澤隆史, 出水庸介, 井上英史*, 内藤幹彦, 栗原正明: 長鎖アルキル基を利用した新規エストロゲン受容体分解誘導剤の創製.

第10回バイオ関連化学シンポジウム (2016.9)

* 東京薬科大学

沖津航陽, 服部隆行, 出水庸介, 三澤隆史, 正田卓司, 内藤幹彦, 栗原正明: Hisタグ融合タンパク質分解誘導分子の開発.

第60回日本薬学会関東支部大会 (2016.9)

三澤隆史, 山下博子, 加藤巧馬*, 大岡伸通, 服部隆行, 大庭誠*, 田中正一*, 内藤幹彦, 出水庸介, 栗原正明: ヘリカルテンプレート導入によるオリゴアルギニンの二次構造制御と膜透過能への効果.

第60回日本薬学会関東支部大会 (2016.9)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

出水庸介, 小林寛幸, 山下博子, 三澤隆史, 大庭誠*¹, 田中正一*¹, 松野研司*², 栗原正明: 側鎖にグアニジノ基を有するプロリン誘導体の合成と細胞膜透過性ペプチドへの応用.

第46回複素環化学討論会 (2016.9)

*¹ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

*² 工学院大学

杉山亨*¹, 桑田啓子*², 今村保忠*³, 出水庸介, 栗原正明, 高野真史*¹, 橋高敦史*¹: 機能性分子を目指した修飾デアザグアニンのペプチド核酸への導入.

第46回複素環化学討論会 (2016.9)

*¹ 帝京大学薬学部*² 名古屋大学ITbM*³ 工学院大学

上田篤志^{*1}, 大庭誠^{*1}, 和泉有紀^{*1}, 末吉康人^{*1}, 土井光暢^{*2}, 出水庸介, 栗原正明, 田中正一^{*1}: Enantioselective synthesis of isotope-labeled E-aminoisobutyric acids and the secondary structures of their homo-chiral homopeptides.

第53回ペプチド討論会 (2016.10)

*¹ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科*² 大阪薬科大学

杉山亨^{*1}, 桑田啓子^{*2}, 今村保忠^{*3}, 出水庸介, 栗原正明, 高野真史^{*1}, 橘高敦史^{*1}: New Fmoc 2-thiouracil monomer for the synthesis of pseudo-complementary PNA.

第53回ペプチド討論会 (2016.10)

*¹ 帝京大学薬学部*² 名古屋大学ITbM*³ 工学院大学

三澤隆史, 出水庸介, 山下博子, 加藤巧馬^{*}, 大庭誠^{*}, 田中正一^{*}, 栗原正明: Development of helix-stabilized amphipathic cell-penetrating peptide using helical promoter.

第53回ペプチド討論会 (2016.10)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

沖津航陽, 服部隆行, 出水庸介, 三澤隆史, 正田卓司, 内藤幹彦, 栗原正明: Design and synthesis of degradation of inducers targeted on His-tag fused proteins.

第53回ペプチド討論会 (2016.10)

正田卓司, 藤里卓磨^{*}, 三澤隆史, 出水庸介, 井上英史^{*}, 内藤幹彦, 栗原正明: 長鎖アルキル基を有する新規エストロゲン受容体分解誘導剤の合成と評価.

第42回反応と合成の進歩シンポジウム (2016.11)

* 東京薬科大学

出水庸介, 沖津航陽, 服部隆行, 三澤隆史, 内藤幹彦,

栗原正明: Hisタグ融合タンパク質分解誘導分子の開発. 第42回反応と合成の進歩シンポジウム (2016.11)

三澤隆史, 大岡伸通, 山下博子, 服部隆行, 加藤巧馬^{*}, 大庭誠^{*}, 田中正一^{*}, 内藤幹彦, 出水庸介, 栗原正明: 核酸医薬を志向した高膜透過性ペプチドの開発. 日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016 (2016.11)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

杉山亨^{*1}, 長谷川元気^{*1}, 新倉千絵^{*1}, 桑田啓子^{*2}, 今村保忠^{*3}, 出水庸介, 栗原正明, 高野真史^{*1}, 橘高敦史^{*1}: Fmoc法による擬似相補的PNAの合成.

第33回メディシナルケミストリーシンポジウム (2016.11)

*¹ 帝京大学薬学部*² 名古屋大学ITbM*³ 工学院大学

出水庸介, 三澤隆史, 山下博子, 大庭誠^{*}, 田中正一^{*}, 内藤幹彦, 栗原正明: 二次構造制御を基軸とした膜透過ペプチドの創製研究.

第33回メディシナルケミストリーシンポジウム (2016.11)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

藤里卓磨^{*}, 正田卓司, 大岡伸通, 井上英史^{*}, 内藤幹彦, 栗原正明: 芳香族炭化水素受容体を利用したプロテインノックダウン法のメカニズム解析.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

* 東京薬科大学

正田卓司, 藤里卓磨^{*}, 三澤隆史, 出水庸介, 井上英史^{*}, 内藤幹彦, 栗原正明: 選択的エストロゲン受容体分解薬の分子設計.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

* 東京薬科大学

古場百合恵^{*}, 池田光生^{*}, 上田篤志^{*}, 大庭誠^{*}, 出水庸介, 栗原正明, 田中正一: 3員環状ジ置換アミノ酸とその含有ペプチドの合成.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

齋島一史, 出水庸介, 三澤隆史, 菊池裕, 栗原正明: 抗菌活性を有するヘリカルペプチドの設計と合成.
日本薬学会第137年会 (2017.3)

三澤隆史, 大岡伸通, 山下博子, 加藤巧馬*, 大庭誠*, 田中正一*, 内藤幹彦, 出水庸介, 栗原正明: 親水性分子の細胞内導入を志向した膜透過性ペプチドの開発.
日本薬学会第137年会 (2017.3)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

沖津航陽, 服部隆行, 出水庸介, 三澤隆史, 正田卓司, 内藤幹彦, 栗原正明: ユビキチン-プロテアソーム系を介したHisタグタンパク質分解誘導分子の開発.
日本薬学会第137年会 (2017.3)

小林寛幸, 出水庸介, 三澤隆史, 山下博子, 大庭誠*¹, 田中正一*¹, 松野研司*², 栗原正明: プロリンの二次構造特異性を生かした細胞膜透過性ペプチドの開発.
日本薬学会第137年会 (2017.3)

*¹ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

*² 工学院大学

曾我慶介, 河村麻衣子, 蜂須賀暁子, 最上(西巻)知子, 花尻(木倉)瑠理: 危険ドラッグ成分のAequorin/GPCRs cell-based Ca²⁺ functional assayを用いたセロトニン受容体活性評価.
日本法中毒学会第35年会 (2016.7)

中島治, 最上(西巻)知子, 近藤一成: 遺伝子組換え食品におけるCas9の分解性と熱安定性の研究.
第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9)

中島治, 最上(西巻)知子, 近藤一成: 遺伝子組換え食品におけるCas9の免疫原性についての研究.
第112回 日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

中島治, 最上(西巻)知子, 近藤一成: 遺伝子組換え食品におけるCas9の免疫原性について.
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

曾我慶介, 亀井俊之, 最上(西巻)知子, 近藤一成, 蜂須賀暁子: 食品中自由水のトリチウム汚染に対する実用的な簡便検査法の検討.
平成28年度放射線安全取扱部会年次大会 (2016.11)

曾我慶介, 近藤一成, 蜂須賀暁子: 放射能測定におけるジオメトリー影響の検証.
日本薬学会第137年会 (2017.03)

坂田こずえ, 中村公亮, 野口秋雄, 石垣拓実, 加藤怜子, 近藤一成: ITS-RPB2領域を用いたクサウラベニタケ系統分類と中毒事例検体の分析.
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

野口秋雄, 中村公亮, 坂田こずえ, 石垣拓実, 加藤怜子, 真野潤一*, 高島令王奈*, 橘田和美*, 最上(西巻)知子, 近藤一成: 遺伝子組換えトウモロコシ粒検査法の簡易化.
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

* (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

中村公亮, 石垣拓実, 野口秋雄, 坂田こずえ, 加藤怜子, 高島令王奈*, 岸根雅宏*, 真野潤一*, 橘田和美*, 最上(西巻)知子, 近藤一成: アクリルアミド産生低減並びに打撲黒斑低減を目的に開発された遺伝子組換えジャガイモ(J3, F10, E12系統)の検知法開発 (第1報).
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

* (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

野口秋雄, 中村公亮, 坂田こずえ, 石垣拓実, 加藤怜子, 真野潤一*, 高島令王奈*, 橘田和美*, 最上(西巻)知子, 近藤一成: 遺伝子組換えトウモロコシの簡易粒検査法の開発 (続報).
第112回 日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

* (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

中村公亮, 近藤一成, 穂山浩, 石垣拓実, 野口秋雄, 勝又啓史*¹, 高崎一人*¹, 布藤聡*¹, 坂田こずえ, 福田のぞみ, 真野潤一*², 橘田和美*², 田中秀典*³, 明石良*³, 最上(西巻)知子: 安全性未審査の遺伝子組換えパパイヤ検知に向けた全ゲノムシーケンシング技術応用の検討について.
日本食品化学学会第22回総会・学術大会 (2016.6)

*¹ ファスマック

*² (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

*³ 宮崎大学

石垣拓実, 中村公亮, 布施谷実聡*, 川上浩*, 近藤一成:
ドライフルーツ食品を例とした, 標的遺伝子コピー数の
差に伴う内在性遺伝子の検出感度の違いについて.
日本食品化学学会第22回総会・学術大会 (2016.6)

* 共立女子大学

三宅奈穂*, 宮原平*, 沢藤ことは*, 中村公亮, 近藤一成,
小関良宏*: 小麦加工食品におけるゲノムDNA断片化の
評価.
日本食品化学学会第22回総会・学術大会 (2016.6)

* 東京農工大学

真野潤一^{*1}, 野間聡^{*2}, 菊池洋介^{*2}, 福留真一^{*2}, 川上
裕之^{*2}, 栗本洋一^{*2}, 布藤聡^{*2}, 野口秋雄, 中村公亮,
近藤一成, 最上(西巻)知子, 高島令王奈^{*1}, 橘田和美^{*1}
: デジタルPCRを用いた遺伝子組換えトウモロコシ簡易
定量スクリーニング法の開発.
第111回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.5)

*¹ (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究
所

*² ファスマック

高島令王奈^{*1}, 鍵屋ゆかり^{*2}, 峯岸恭孝^{*3}, 布藤聡^{*2},
野口秋雄, 近藤一成, 最上(西巻)知子, 真野潤一^{*1},
橘田和美^{*1}: LAMP法を用いた安全性審査済み遺伝子組
換えダイズおよびトウモロコシのスクリーニング的定性
検知法の開発.
日本食品化学学会第22回総会・学術大会 (2016.6)

*¹ (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究
所

*² (株) ファスマック

*³ (株) ニッポンジーン

菅野陽平*, 青塚圭二*, 佐藤正幸*, 鈴木智宏*, 坂
田こずえ, 野口秋雄, 中村公亮, 近藤一成: Loop-
Mediated Isothermal Amplification (LAMP) 法を用いたツキヨタケの迅速判別法の検討.
第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

* 北海道立衛生研究所

安達玲子, 木村美恵, 酒井信夫, 崔紅艶, 最上(西巻)
知子: 抗原感作に対する酸化チタンナノマテリアルの影
響.
第43回日本毒性学会学術年会 (2016.7)

木村美恵, 安達玲子, 近藤一成: マウスを用いるタンパ
ク質経皮感作性試験における実験手法の簡便化.
第50回日本実験動物技術者協会総会 (2016.9)

Adachi R, Tamehiro N, Nishimaki-Mogami T, Kondo
K: Investigation of residual amounts of soybean and
wheat proteins in Japanese traditional fermented food.
AOAC 130th Annual Meeting & Exposition (2016.9)

安達玲子, 土切美穂*, 板垣宏*, 為広紀正, 最上(西
巻)知子, 近藤一成: 健康食品等の原材料となるキトサ
ン・グルコサミン類の甲殻類タンパク質含有量に関する
検討.
第53回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11)

* 横浜国立大学大学院工学府

Tamehiro N, Adachi R, Kimura Y, Sakai S, Teshima R,
Kondo K: Transcutaneous sensitization testing for food
allergens.
米国毒性学会 (2017.3)

青木良子, 鈴木菜穂, 天沼喜美子, 前田初代, 丸野有利
子: 海外規制機関が公開している副作用自発報告デー
タを用いた市販後医薬品副作用データの収集 — SGLT2阻
害薬を例に.
第6回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2016.9)

前田初代, 青木良子: 国立衛研「医薬品安全性情報」か
ら見えてくる海外医薬品規制機関のリスク管理動向とそ
の効果.
日本薬学会第137年会 (2017.3)

青木良子, 鈴木菜穂, 前田初代: EudraVigilanceのウェブ公開データの活用—糖尿病薬クラス別の副作用報告パターン
の比較.
日本薬学会第137年会 (2017.3)

Kubota K, Amanuma H, Tamai K^{*1}, Shimojima M^{*2},
Yamashita T^{*3}, Sakurai Y^{*4}, Komatsu M^{*4}, Kasuga
F: Comparison of the estimated burden of foodborne
illness for *Campylobacter*, *Salmonella* and *Vibrio*

parahaemolyticus in Japan between two sets of differently sized active surveillance data for 2006-2013 (異なるアクティブサーベイランスデータを用いたカンピロバクター, サルモネラおよび腸炎ビブリオの食品由来感染症被害実態推定の比較, 2006-2013).

Foodmicro2016 (2016.7)

*¹ (株) ミロクメディカルラボラトリー

*² (株) ビー・エム・エル

*³ LSIメディエンス (株)

*⁴ 宮城県医師会健康センター

Kubota K, Amanuma H, Tamai K^{*1}, Shimojima M^{*2}, Yamashita T^{*3}, Sakurai Y^{*4}, Komatsu M^{*4}, Kasuga F; Estimating the Burden of Foodborne Illness for Campylobacter, Salmonella and Vibrio parahaemolyticus in Japan 2006-2013 (日本におけるカンピロバクター, サルモネラおよび腸炎ビブリオの食品由来感染症被害実態の推定).

International Association for Food Protection, 2016 Annual Meeting (2016.8)

*¹ (株) ミロクメディカルラボラトリー

*² (株) ビー・エム・エル

*³ LSIメディエンス (株)

*⁴ 宮城県医師会健康センター

窪田邦宏, 天沼宏, 桜井芳明^{*1}, 小松真由美^{*1}, 玉井清子^{*2}, 坂上武文^{*2}, 滝将太^{*2}, 霜島正浩^{*3}, 山下知成^{*4}, 春日文字: カンピロバクター, サルモネラ, 腸炎ビブリオに起因する食中毒被害実態の推定, 2006~2013年.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

*¹ 宮城県医師会健康センター

*² (株) ミロクメディカルラボラトリー

*³ (株) ビー・エム・エル

*⁴ LSIメディエンス (株)

登田美桜, 畝山智香子: 平成に発生したジャガイモ食中毒事例の傾向について.

第112回日本食品衛生学会学術講演会 (2016.10)

Saito Y, Maekawa K, Nakamura R: Prediction of severe adverse drug reactions using pharmacogenomic biomarkers: Current status and future prospects in Japan.

13th International Conference on Human Genetics

(2016.4)

Sai K, Imatoh T, Nakamura R, Fukazawa C^{*}, Hinomura Y^{*}, Saito Y: Assessment of impact of infection on drug-induced severe cutaneous adverse reactions and rhabdomyolysis using the Japanese Adverse Drug Event Report database.

Drug Hypersensitivity Meeting 2016 (2016.4)

* Japan Pharmaceutical Information Center

Nakamura R, Sai K, Imatoh T, Okamoto-Uchida Y, Kajinami K^{*1}, Matsunaga K^{*2}, Aihara M^{*3}, Saito Y: Effects of infection on incidence/ severity of SJS/TEN and myopathy in Japanese cases analyzed by voluntary case reports.

Drug Hypersensitivity Meeting 2016 (2016.4)

*¹ Kanazawa Medical University

*² Fujita Health University

*³ Yokohama City University

Saito K, Ishikawa M, Yamada H^{*}, Nakatsu N^{*}, Maekawa K, Saito Y: Liver lipid profiling of chemical-induced phospholipidosis.

Experimental Biology 2016 (2016.4)

* National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition

Saito Y: Updates on ICH S3A Q&A on Microsampling. 10th Workshop on Recent Issues in Bioanalysis (2016.4)

斎藤嘉朗: 蛋白質医薬品の免疫原性による臨床影響と機序解明.

第16回日本蛋白質科学年会 (2016.6)

Saito Y: Biomarker regulation and regulatory sciences in Japan.

11th International ISSX Meeting 2016 (2016.6)

Maekawa K, Komatsu H^{*}, Takemoto K, Toyoshima K, Suzuki Y^{*}, Kitta K^{*}, Saito Y: Serum lipidomic analysis of an animal model of drug-induced acute kidney injury in rats.

11th International ISSX Meeting (2016.6)

* CMIC Pharma Science Co., Ltd.

Saito K, Ishikawa M, Yamada H*, Nakatsu N*, Maekawa K, Saito Y: Plasma lipid profiling of chemical-induced liver injuries.

11th International ISSX Meeting (2016.6)

* National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition

小松弘幸*, 鈴木慶幸*, 橘田久美子*, 池田元太*, 江田景*, 高尾みゆ*, 久保田貴之*, 門田利人*, 秋江靖樹*, 斎藤嘉朗, 前川京子, 三嶽秋久*: ラット28日間反復投与毒性試験における尿中腎障害バイオマーカーの評価.

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6・7)

* シミックファーマサイエンス (株)

齊藤公亮, 合田圭佑*, 山田直人*, 小林章男*, 高橋統一*, 正田俊之*, 公納秀幸*, 菅井象一郎*, 前川京子, 斎藤嘉朗: 脂質メタボロミクスを用いたタモキシフェンによる脂肪肝及びリン脂質症の血漿中バイオマーカー探索.

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6・7)

* (株) 日本たばこ

合田圭佑*, 山田直人*, 小林章男*, 高橋統一*, 正田俊之*, 公納秀幸*, 菅井象一郎*, 齊藤公亮, 前川京子, 斎藤嘉朗: 脂質メタボロミクスを用いたタモキシフェンによる脂肪肝及びリン脂質症のメカニズム解析.

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6・7)

* (株) 日本たばこ

瀬川雅博*, 齊藤公亮, 関根秀一*, 斎藤嘉朗, 伊藤晃成*: 臓器特異的なミトコンドリア毒性とリン脂質解析.

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6・7)

* 千葉大学

秋山晴代*¹, 渡邊裕子*¹, 政岡智佳*¹, 中村亮介, 田中裕*¹, 甲斐茂美*¹, 栗原和幸*², 宮澤真紀*¹: 各種大豆加工食品のアレルゲン性評価法II ~ EXiLE法を用いた大豆アレルゲンの加工に伴う抗原性の変化の解析~.

第65回日本アレルギー学会学術大会 (2016.6)

*¹ 神奈川県衛生研究所

*² 神奈川県立こども医療センター

Saito Y, Maekawa K, Nakamura R: Use of PGx information for prediction of severe adverse drug reactions: Current status and future perspectives.

第14回日本臨床腫瘍学会学術年会 (2016.7)

Sai K, Ichihahra M*, Segawa K, Hirasawa N*, Imatoh T, Saito Y: Evaluation of impact of a Japanese regulatory action against denosumab-induced hypocalcemia using the Japanese adverse reaction reporting database.

32nd International Conference on Pharmacoepidemiology & Therapeutic Risk Management (2016.8)

* 東北大学大学院薬学研究科

Hori K*¹, Kimura M*¹, Ohe K*², Nakajima N*³, Yokoi H*⁴, Tohkin M*⁵, Sai K, Imatoh T, Sato T*⁶, Ikeda S*⁷, Saito Y, Kawakami J*¹: Review of the Pharmacoepidemiological Studies Using the Medical Information Databases in Japanese Hospitals.

32nd International Conference on Pharmacoepidemiology & Therapeutic Risk Management (2016.8)

*¹ 浜松医科大学

*² 東京大学

*³ 九州大学

*⁴ 香川大学

*⁵ 名古屋市立大学

*⁶ 東京理科大学

*⁷ 国際医療福祉大学

Imatoh T, Sai K, Hori K*, Segawa K, Kimura M*, Kawakami J*, Saito Y: Development of a detection algorithm for prednisolone-induced diabetes mellitus using a medical information database.

32nd International Conference on Pharmacoepidemiology & Therapeutic Risk Management (2016.8)

* Hamamatsu University

齊藤公亮: Orbitrap Fusionを用いたLipidomics platformの構築.

研究開発者交流のための機器分析ユーザーズフォーラム2016 (2016.8)

斎藤嘉朗：バイオマーカー開発の現状と課題。
第6回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2016.9)

中村亮介：重症薬疹の発症と関連するリスク因子の探索研究。
第6回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2016.9)

斎藤嘉朗, 岡本 (内田) 好海, 中村亮介, 石井明子：タンパク質医薬品の免疫原性に関するリスクマネジメントプランの解析。
第23回日本免疫毒性学会学術年会 (2016.9)

岡本 (内田) 好海, 中村亮介, 佐井君江, 今任拓也, 松永佳世子^{*1}, 相原道子^{*2}, 斎藤嘉朗：ステイブンス・ジョンソン症候群/中毒性表皮壊死症における感染症併発の影響。
第23回日本免疫毒性学会学術年会 (2016.9)

^{*1} 藤田保健衛生大学

^{*2} 横浜市立大学

岡本 (内田) 好海, 中村亮介, 佐井君江, 今任拓也, 松永佳世子^{*1}, 相原道子^{*2}, 斎藤嘉朗：ステイブンス・ジョンソン症候群/中毒性表皮壊死症の病態に対する感染症の影響。

第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9)

^{*1} 藤田保健衛生大学

^{*2} 横浜市立大学

斎藤嘉朗：ICH S3Aマイクロサンプリングに関するQ&Aについて。

日本薬物動態学会第31回年会 (2016.10)

斎藤嘉朗：医薬品適正使用のためのバイオマーカーおよび薬剤疫学的情報の活用。

第66回日本薬学会近畿支部大会 (2016.10)

河原崎正貴^{*1}, 前川京子, 鎌田彰^{*1}, 千葉洋祐^{*1}, 白濱陽一郎^{*1}, 上原誉志夫^{*2}, 内尾こずえ^{*3}, 根本直^{*4}, 福岡秀興^{*5}, 斎藤嘉朗：食塩感受性Dahlラットに対する魚油の降圧効果と尿中脂質代謝物の変化。

第10回メタボロームシンポジウム (2016.10)

^{*1} マルハニチロ (株)

^{*2} 共立女子大学

^{*3} (国研) 医薬基盤・栄養・健康研究所

^{*4} (国研) 産業技術総合研究所

^{*5} 早稲田大学

齊藤公亮：リポドミクス解析における質量分析計分解能の重要性。

第10回メタボロームシンポジウム (2016.10)

Maekawa K, Saito Y: Lipidomic analysis of brain tissues and plasma in a mouse model expressing mutated human amyloid precursor protein/tau for Alzheimer's disease.

2016 Annual Meeting of the Korean Societies for Anesthetic Pharmacology (2016.10)

Maekawa K, Adachi M^{*1}, Matsuzawa Y, Kuroki R^{*1}, Saito Y, Shah M^{*2}: Crystal Structures of CYP2C9, CYP2C9*3 and CYP2C9*30 in Complex with Multiple Losartan Molecules Reveal a Peripheral Binding Site and Alternate Active Site Orientations.

21st International Symposium on Microsomes and Drug Oxidations (2016.10)

^{*1} Japan Atomic Energy Agency

^{*2} University of Connecticut

Segawa M*, Sekine S*, Sato T*, Arakawa K*, Ikeyama Y*, Saito K, Saito Y, Ito K*: Relationship between increased drug sensitivity of mitochondria in type 2 diabetes and drug induced liver injury.

31st JSSX Annual Meeting (2016.10)

* Chiba University

斎藤嘉朗, 前川京子, 中村亮介：副作用予測のためのゲノムバイオマーカー探索とそのin vitro 評価。

第29回日本動物実験代替法学会 (2016.11)

中村亮介：重篤副作用の発症と関連するゲノムバイオマーカー。

第4回個別化医療研究会 (2016.11)

斎藤嘉朗, 泉高司*, 大野泰雄*: 副作用バイオマーカーと有用性及び分析法に関するバリデーション。

第56回日本臨床化学会年次学術集会 (2016.12)

* 木原記念横浜生命科学振興財団

佐井君江, 今任拓也, 望月淑恵, 伊藤幸子, 斎藤嘉朗: 東及び東南アジア地域における薬物動態・薬力学関連ゲノムバイオマーカーの民族差.
第37回日本臨床薬理学会学術総会 (2016.12)

中村亮介, 斎藤嘉朗: 重症薬疹の発症予測因子とその評価—HLAを中心に—.
第37回日本臨床薬理学会学術総会 (2016.12)

Saito Y, Nakamura R: Genomic biomarkers and patients' background information for onset of SJS/TEN.
2nd International Stevens-Johnson Syndrome Symposium (2017.1)

佐井君江, 斎藤嘉朗: 民族的要因に関する科学的知見.
PMDA-ATC Multi-Regional Clinical Trials (MRCT) Seminar 2017 (2017.1)

今任拓也, 西巧^{*1}, 安井みどり^{*2}, 前田俊樹^{*2}, 斎藤嘉朗, 畝博^{*3}, 馬場園明^{*2}: レセプトデータを用いた後期高齢者におけるDPP4阻害薬と尿路感染症発症の関連に関する後ろ向きコホート研究.
第36回日本疫学会学術総会 (2017.1)

^{*1} 福岡県保健環境研究所

^{*2} 九州大学大学院

^{*3} 天神クリニック

Saito K, Ueta M^{*}, Maekawa K, Sotozono C^{*}, Kinoshita S^{*}, Saito Y: Plasma lipid profiling of patients with chronic ocular complications caused by Stevens-Johnson Syndrome/Toxic Epidermal Necrolysis.
2nd International Stevens-Johnson Syndrome Symposium (2017.1)

^{*} Kyoto Prefectural University of Medicine

Okamoto-Uchida Y, Nakamura R, Sai K, Imatoh T, Matsunaga K^{*1}, Aihara M^{*2}, Saito Y: Effects of Infectious Diseases in the Pathogenesis of Stevens-Johnson Syndrome/Toxic Epidermal Necrolysis.
2nd International Stevens-Johnson syndrome symposium (2017.1)

^{*1} Fujita Health University

^{*2} Yokohama City University

Saito Y: Similarity among East Asians on genetic factors and several examples on drug efficacy.
The 5th Annual Seoul-Kitasato Joint Symposium (2017.2)

斎藤嘉朗, 石井明子: ICHにおけるバイオアナリス関連の動向: S3AとM10.
第8回JBF (バイオアナリスフォーラム) シンポジウム (2017.2)

Saito Y: Metabolomics investigation and current issues on safety biomarkers.
Japan Safety Biomarker Conference (2017.2)

河原崎正貴^{*1}, 前川京子, 鎌田彰^{*1}, 千葉洋祐^{*1}, 白濱陽一郎^{*1}, 上原誉志夫^{*2}, 内尾こずえ^{*3}, 根本直^{*4}, 福岡秀興^{*5}, 斎藤嘉朗: Dahl-Sラットに対する魚油の降圧効果と尿中代謝物の包括的解析.
LS-BT合同発表会 (2017.2)

^{*1} マルハニチロ (株)

^{*2} 共立女子大学

^{*3} (国研) 医薬基盤・栄養・健康研究所

^{*4} (国研) 産業技術総合研究所

^{*5} 早稲田大学

Saito Y: Introduction to the skin as a target for immune-mediated drug hypersensitivity.
Society of Toxicology, 56th Annual Meeting and ToxExpo (2017.3)

斎藤嘉朗, 佐井君江, 今任拓也, 頭金正博^{*}: 日中韓の添付文書における分子標的抗腫瘍薬の薬物動態・有効性・副作用情報の比較.
日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*} 名古屋市立大学

佐井君江, 吉田顕臣^{*1}, 今任拓也, 竹内正弘^{*1}, 成川 衛^{*1}, 渡邊裕司^{*2}, 宇山佳明^{*3}, 斎藤嘉朗: 国際共同治験データを用いた糖尿病治療薬の有効性に関するアジア諸国間の民族差解析.
日本薬学会第137年会 (2017.3)

^{*1} 北里大学

^{*2} 浜松医科大学

^{*3} (独) 医薬品医療機器総合機構

虞若星*, 岡本(内田)好海, 仁科博史*: タンパク質フェルネシル化を介したメバロン酸経路による原始線条形成の制御機構の解明.

日本薬学会第137回年会 (2017.3)

* 東京医科歯科大学

大岩亮介*, 嶋倉邦嘉*, 中村亮介, 黒瀬光一*: 培養細胞を用いたアレルゲン性評価法の開発.

平成29年度日本水産学会春季大会 (2017.3)

* 東京海洋大学

平林容子, 壺井功^{*1}, 倉本和直^{*2}, 楠洋一郎^{*3}: 全身照射後の末梢血の回復性増生における加齢影響: BUUV法による造血前駆細胞特異的細胞動態の解析.

第105回日本病理学会総会 (2016.5)

*¹ 日本大学医学部

*² 東京都健康長寿医療センター

*³ 放射線影響研究所

Hirabayashi Y, Tsuboi I^{*1}, Kusunoki Y^{*2}, Aizawa S^{*1}: Synergistic relationship of cell cycle parameters of hematopoietic stem/progenitor cells between radiation-induced late effects and senescence

The 14th Annual meeting for the International Society for Stem Cell Research (ISSCR) (2016.6)

*¹ Nihon University School of Medicine

*² Radiation Effects Research Foundation

Kitajima S, Aisaki K, Kanno J*: Lung Percellome Project: Profile analysis of Sick-Building-Syndrome level inhalation and oral exposure data for prediction of lung toxicity.

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6.7)

* 日本バイオアッセイ研究センター

菅野純*, 相崎健一, 北嶋聡: Percellome Projectの進捗 - 単回および新型反復曝露の比較による予測性向上 -.

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6.7)

* 日本バイオアッセイ研究センター

種村健太郎^{*1}, 古川佑介, 北嶋聡, 菅野純^{*2}: キシレンの経気道吸入曝露によるマウス行動影響解析.

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6.7)

*¹ 東北大学

*² 日本バイオアッセイ研究センター

高橋祐次, 小川幸男, 高木篤也, 辻昌貴, 森田紘一, 今井田克己^{*1}, 菅野純^{*2}: MWCNTのマウス全身曝露吸入における原末と高分散処理検体 (Taquann法) の肺沈着量の比較.

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6.7)

*¹ 香川大学

*² 日本バイオアッセイ研究センター

平林容子, 壺井功^{*1}, 倉本和直^{*2}, 楠洋一郎^{*3}: 定常状態並びに2Gyの単回全身照射後の回復性増生における造血前駆細胞動態に対する加齢影響.

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.7)

*¹ 日本大学医学部

*² 東京都健康長寿医療センター

*³ 放射線影響研究所

Kanno J*, Kitajima S, Aisaki K: Percellome Toxicogenomics of Newly Designed Repeated Dose Study.

The 52nd Congress of EUROTOX (EUROTOX2016) (2016.9)

* Japan Organization of Occupational Health and Safety

種村健太郎^{*1}, 古川佑介, 北嶋聡, 菅野純^{*2}: キシレン吸入曝露によるマウスへの中枢機能影響解析.

第159回日本獣医学会学術集会 (2016.9)

*¹ 東北大学

*² 日本バイオアッセイ研究センター

Kitajima S, Aisaki K, Kanno J*: Percellome Project on Sick-Building-Syndrome level inhalation for the prediction of lung and brain involvement.

14th International Congress of Toxicology 2016 (ICT 2016) (2016.10)

* Japan Organization of Occupational Health and Safety

Taquahashi Y, Takagi A, Ogawa Y, Morita K, Tsuji M, Imaida K^{*1}, Kanno J^{*2}: Level of dispersion of MWCNT aerosol affects the lung burden and lung lesion in whole body inhalation study.

14th International Congress of Toxicology 2016 (ICT 2016) (2016.10)

^{*1} Kagawa University

^{*2} Japan Organization of Occupational Health and Safety

Hirabayashi Y, Tsuboi I^{*1}, Kusunoki Y^{*2}: 2-Gy whole-body irradiation induced life-long perturbation of the cell cycle of hematopoietic stem/progenitor cells.

14th International Congress of Toxicology 2016 (ICT 2016) (2016.10)

^{*1} Nihon University School of Medicine

^{*2} Radiation Effects Research Foundation

高橋祐次：化粧品、医薬品の安全性試験代替法の動向 - 急性経口投与毒性試験の代替法とその適用限界 - . 第29回日本動物実験代替法学会 (2016.11)

Takahashi Y, Yasuhiko Y, Ikeno E, Kanno J, Hirabayashi Y: Proper regulation of Shh signaling is required for intervertebral disc/vertebral body patterning and resegmentation of neural arches in mouse vertebral column formation (Shhシグナルの適切な制御はマウスの脊椎骨形成における椎間板/椎体パターンと神経弓の再分節化に必要である).

第39回日本分子生物学会年会 (2016.12)

平林容子：核酸医薬品の非臨床安全性評価－既存ガイドラインの適用の可否からみた課題とガイドライン策定に向けた展望.

第37回日本臨床薬理学会学術総会 (2016.12)

平林容子：既存ガイドラインの適用の可否からみた核酸医薬品の非臨床安全性評価における課題.

第19回ヒューマンサイエンス総合研究ワークショップ「核酸医薬開発の最新動向と今後の展望－特許、DDSから安全性、製造まで－」(2016.12)

Ono R, Yasuhiko Y, Aisaki K, Hirabayashi Y, Kitajima S, Kanno J^{*}: Double strand break repair by capture of unintentional sequences, an emerging new risk for the leading-edge technology.

Keystone Symposia Conference (2017.1)

* Japan Organization of Occupational Health and Safety

Hirabayashi Y, Tsuboi I^{*1}, Kusunoki Y^{*2}, Aizawa S^{*1}: A Single 2-Gy Whole-body Irradiation Accelerate Aging Process and Cause Lifelong Perturbation of Hematopoiesis in Mice.

Society of Toxicology 56th Annual Meeting & ToxExpo (2017.3)

^{*1} Nihon University School of Medicine

^{*2} Radiation Effects Research Foundation

佐藤薫：ヒトiPS細胞由来神経細胞の中樞神経系副作用リスク評価への応用可能性.

シンポジウム 培養神経細胞の可能性「医薬品開発への応用を目指したモデル細胞の構築とその応用」(2016.5)

佐藤薫：ヒトiPS細胞由来神経細胞等を用いた新規 in vitro 医薬品安全性評価法の開発.

AMED「再生医療プログラム間連携のための情報交換会」(2016.5)

久保祐亮^{*1}, 山田茂, 犬塚隆志^{*2}, 諫田泰成, 関野祐子: Development of high-efficient differentiation protocols from human iPS cells to glutamatergic or GABAergic neural progenitor cells.

第14回幹細胞シンポジウム (2016.5)

^{*1} AMEDリサーチレジデント

^{*2} 一般社団法人日本薬理評価機構

石田誠一：iPS細胞由来細胞の薬物代謝酵素等の誘導性の評価・品質基準の作成・性状解析.

再生医療プログラム間連携のための情報交換会(2016.5)

石田誠一, 堀内新一郎, 原詳子^{*1}, 黒田幸恵, 内田翔子, 石田里穂, 金秀良, 松浦知和^{*2}, 小嶋聡一^{*1}, 関野祐子: 星細胞のVECELL培養器による脱活性化効果.

第23回HAB研究機構学術年会 (2016.5)

*¹ 理化学研究所

*² 東京慈恵会医科大学

石田誠一：In vitro肝毒性試験法の開発。
第23回HAB研究機構学術年会 (2016.5)

Kanda Y, Sekino Y: Toward a proposal of the revised ICH S7B: Update of the activities of Japan iPS cardiac safety assessment (JiCSA) and CiPA.
5th Chinese Safety Pharmacology Society (2016.5)

阿部浩幸*¹, 岡村愛*², 白川誉史*², 白川敬一*³, 佐藤薫, 宮本憲優*⁴, 板野泰弘*⁵, 山本渉*⁵: ヒトiPS細胞由来神経細胞を用いた微小電極アレイシステムによる痙攣・てんかん評価法確立の試み - CSAHi神経チーム。
第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6)

*¹ 日精バイリス

*² アステラス

*³ アルファメッドサイエンス

*⁴ エーザイ

*⁵ 帝人

諫田泰成：ヒトiPS細胞を用いた新規in vitro発達神経毒性評価系の構築。
第15回生命科学研究会 (2016.6)

高橋越史*^{1,3}, 宮本香織*^{1,3}, 森村馨*^{1,3}, 森山友太*^{1,4}, 前田早苗*^{1,5}, 谷口智彦*^{1,2,5}, 宮本憲優*^{1,2,5}, 石村正和*^{1,6}, 森田麻耶*^{1,7}, 佐治大介*^{1,8}, 大中浩貴*^{1,8}, 田澁弘行*^{1,9}, 小口正夫*^{1,9}, 山崎大樹, 諫田泰成, 関野祐子, 北口隆*^{1,4}: ヒトiPS細胞由来心筋細胞Cor.4Uを用いた多電極アレイシステムによる催不整脈作用評価系の検証 - CSAHi・JiCSAの協働 -。
第43回日本毒性学会 (2016.6)

*¹ CSAHi

*² JiCSA

*³ 富山化学工業

*⁴ 持田製薬

*⁵ エーザイ

*⁶ 科研製薬株

*⁷ 武田薬品工業

*⁸ 日精バイリス

*⁹ イナリサーチ

山本渉*^{1,2}, 朝倉圭一*^{1,3}, 安藤博之*^{1,4}, 谷口智彦*^{1,5},

小島敦子*^{1,5}, 宇田宗晃*^{1,4}, 長田智治*^{1,6}, 林誠治*^{1,3}, 葛西智恵子*^{1,7}, 宮本憲優*^{1,5}, 田澁弘行*^{1,8}, 吉永貴志*^{1,5}, 山崎大樹, 杉山篤*⁹, 諫田泰成, 犬塚隆志*¹⁰, 澤田光平*^{1,5}, 関野祐子：薬剤誘発性不整脈のリスク評価に関するヒトiPS細胞由来分化心筋細胞の薬理的検討：IKr阻害剤の逆頻度依存的なfield potential duration延長作用と催不整脈マーカーの探索。
第43回日本毒性学会 (2016.6)

*¹ JiCSA

*² 帝人ファーマ

*³ 日本新薬株式会社

*⁴ 小野薬品工業株式会社

*⁵ エーザイ株式会社

*⁶ LSIメディエンス

*⁷ アステラス製薬

*⁸ イナリサーチ

*⁹ 東邦大学

*¹⁰ 日本薬理評価機構

安藤博之*^{1,2}, 吉永貴志*^{1,3}, 山本渉*^{1,4}, 朝倉圭一*^{1,5}, 谷口智彦*^{1,3}, 宇田宗晃*^{1,2}, 小島敦子*^{1,3}, 長田智治*^{1,6}, 林誠治*^{1,5}, 葛西智恵子*^{1,7}, 宮本憲優*^{1,3}, 田澁弘行*^{1,8}, 山崎大樹, 杉山篤*⁹, 諫田泰成, 犬塚隆志*¹⁰, 澤田光平*^{1,3}, 関野祐子：ヒトiPS細胞由来分化心筋細胞及び多点平面電極法を用いたTdPリスク分類法の開発。
第43回日本毒性学会 (2016.6)

*¹ JiCSA

*² 小野薬品工業株式会社

*³ エーザイ株式会社

*⁴ 帝人ファーマ

*⁵ 日本新薬株式会社

*⁶ LSIメディエンス

*⁷ アステラス製薬

*⁸ イナリサーチ

*⁹ 東邦大学

*¹⁰ 日本薬理評価機構

山崎大樹, 井出吉紀*, 諫田泰成, 関野祐子：光学測定系による医薬品の催不整脈作用予測性の評価系構築。
第43回日本毒性学会 (2016.6)

* 日本薬理評価機構

山田茂, 久保祐亮*¹, 犬塚隆志*², 関野祐子, 諫田泰成：ヒトiPS細胞のミトコンドリア機能による医薬品の毒性評価。

第43回日本毒性学会 (2016.6)

*¹ AMEDリサーチレジデント

*² 日本薬理評価機構

関野祐子, 諫田泰成: ヒトiPS心筋細胞を利用した催不整脈性リスク評価とICH57B改訂に関する国際動向について.

第43回日本毒性学会 (2016.6)

黒川洵子*¹, 芦原貴司*², 諫田泰成, 永森収志*³, 古谷和春*³: *In silico* による心循環器毒性評価.

第43回日本毒性学会 (2016.6)

*¹ 東京医科歯科大学

*² 滋賀医科大学

*³ 大阪大学

宇佐見誠, 満長克祥*¹, 奥田裕計*², 土井守*³: クロロピリホスが培養ラット神経堤細胞の遊走に及ぼす影響に関する研究.

第43回日本毒性学会 (2016.6)

*¹ 東邦大学

*² 日本バイオアッセイ研究センター

*³ 岐阜大学

笛田由紀子*¹, 関野祐子, 吉田祥子*², 上野晋*¹: 胎生期トリブチルスズあるいは酢酸スズ単回投与による授乳期ラット行動と興奮・抑制系の変化.

第43回日本毒性学会 (2016.6)

*¹ 産業医科大学

*² 豊橋技術科学大学

Pierson JB*¹, Sekino Y, Colatsky T*², Fermini B*³, Li Z*², Sager P*⁴, Strauss D*², Stockbridge N*²: CiPA: Focus on compound selection and anticipated impact on ICH E14 guidelines.

第43回日本毒性学会 (2016.6)

*¹ ILSI-HESI

*² US FDA

*³ Pfizer

*⁴ Stanford University

石田誠一, 堀内新一郎, 黒田幸恵, 内田翔子, 石田里穂,

金秀良, 関野祐子: 医薬品安全性評価に向けたヒトiPS細胞由来肝細胞の肝薬物代謝能評価.

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.7)

Sekino Y: Histone deacetylase inhibitor attenuates amyloid beta toxicity in neurons.

Synaptic Function & Dysfunction in Brain Diseases 7th ISN Special Neurochemistry Conference (2016.6)

Takahashi N*¹, Mabuchi H*¹, Shigemoto-Mogami Y, Sato K, Hozumi N*¹, Yoshida S*¹: Visualization of neurotransmitter release in the developing neurosphere cells using the enzyme-linked photo-assay.

第39回日本神経科学大会 (2016.7)

* 豊橋技術科学大学

Sato K, Shigemoto-Mogami Y, Hoshikawa K, Shimizu H, Kikura-Hanajiri R, Hakamatsuka T, Sekino Y: Establishment of the quantitative evaluation system for inhibitory activities of the dissociative-analogues involved in law-evading drugs on NMDA-type glutamate receptors—a report about the effect of 3MeO-PCMO.

第39回日本神経科学大会 (2016.7)

Takahashi K, Shigemoto-Mogami Y, Shimizu H, Chujo K, Hoshikawa K, Okada Y*¹, Okano H*², Sekino Y, Sato K: Study about the sensitivities of human induced pluripotent stem cell-derived neurons to excitotoxicity and apoptosis.

第39回日本神経科学大会 (2016.7)

*¹ 愛知医科大学

*² 慶應義塾大学

Shigemoto-Mogami Y, Hoshikawa K, Sekino Y, Sato K: Microglia participate in the formation of blood-brain barrier by regulating the cytokine/chemokine circumstances.

第39回日本神経科学大会 (2016.7)

Miyamoto N*¹, Sato K, Sawada K*¹: Epileptogenic response generation in induced human pluripotent stem cell-derived neurons by humoral factor from astrocytes—trial for drug-induced seizure risk assessment system.

第39回日本神経科学大会 (2016.7)

* エーザイ

Gao M*, Sato K, Ikegaya Y*: Preclinical *in vitro* prediction for the CNS adverse actions of drugs: a study in the iNCENS project.

第39回日本神経科学大会 (2016.7)

* 東京大学

Nishikawa C*, Takahashi N*, Tomida T*, Shigemoto-Mogami Y, Sato K, Sekino Y, Mabuchi H*, Hozumi N*, Yoshida S*: Interaction between neurosphere and cultured glial cell.

第39回日本神経科学大会 (2016.7)

* 豊橋技術科学大学

Yamazaki H*, Arayama Y*, Ishizuka Y*, Sato K, Sekino Y, Shirao T*: Thrombospondin-1 induces an axon formation in early developmental stage of human iPS cell-derived neuron.

第39回日本神経科学大会 (2016.7)

* 群馬大学

諫田泰成: 脂質による癌幹細胞の増殖機構.

第41回内藤カンファレンス (2016.7)

諫田泰成, 久保祐亮^{*1}, 犬塚隆志^{*2}, 関野祐子: Development of highly efficient differentiation protocols from human iPS cells to GABAergic neural progenitor cells.

第39回日本神経科学大会 (2016.7)

*¹ AMEDリサーチレジデント

*² 日本薬理評価機構

石田誠一, 堀内新一郎, 原詳子^{*1}, 黒田幸恵, 内田翔子, 金秀良, 松浦知和^{*2}, 小嶋聡一^{*1}, 関野祐子: 新規培養基材VECELL培養器による星細胞の脱活性化の促進.

第23回肝細胞研究会 (2016.7)

*¹ 理化学研究所

*² 東京慈恵会医科大学

Kanda Y, Sekino Y: Development of cardiac safety assessment using human iPS cells: toward next generation testing method.

ISC2016 (2016.7)

佐藤薫: アストロサイト由来因子によるヒトiPS細胞由来神経細胞における NMDA 受容体機能亢進.

次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム2016 (2016.8)

石田誠一: In vitro酵素誘導試験の標準化に向けて—OECDの動向をふまえて.

第20回薬物動態談話会セミナー (2016.8)

Kanda Y: Practical application of human iPS cells for chemical toxicity assessment.

17th Annual Congress of European Society for Alternatives to Animal Testing (2016.8)

Sato K, Takahashi K, Shigemoto-Mogami Y, Chujo K, Sekino Y: Astrocyte-derived factor enhances NMDA receptor functions in human induced pluripotent stem cell-derived neurons.

第59回日本神経化学大会 (2016.9)

Shimizu H, Kohari A^{*1}, Suchi Y^{*1}, Sekiguchi T^{*1}, Hanamura K^{*2}, Shirao T^{*2}, Tanabe M^{*1}, Sekino Y, Sato K: An attempt to establish a synapse imaging-based *in vitro* evaluation system to predict adverse effects of new drugs on cognition of new drugs.

第59回日本神経化学大会 (2016.9)

*¹ 北里大学

*² 群馬大学

Shigemoto-Mogami Y, Sato K, Hoshikawa K, Shimizu H, Kikura-Hanajiri R, Hakamatsuka T, Sekino Y: A new assay method for the pharmacological activities of N-methyl-D-aspartate-type receptor antagonists detected in illegal products.

第59回日本神経化学大会 (2016.9)

山田茂, 関野祐子, 諫田泰成: ヒトiPS細胞のミトコンドリア機能を指標とした発達神経毒性評価の試み.

第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9)

堀内新一郎, 金秀良, 黒田幸恵, 内田翔子, 関野祐子,

石田誠一：ヒトiPS細胞由来肝細胞の現状とin vitro薬物動態試験への適用に向けた取り組みと課題..

第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9)

Sekino Y: Activity of Japan iPS Cardiac Safety Assessment (JiCSA) Toward the New Strategy of the Safety Pharmacology.

4th Cardio Symposium (2016.9)

Kanda Y: Electrophysiology Studies of iPS-derived Cardiomyocytes as a Surrogate of QT Prolongation.

Safety Pharmacology Society Annual Meeting (2016.9)

Sato K, Takahashi K, Shigemoto-Mogami Y, Chujo K, Sekino Y: Astrocyte-derived factor increases the level of functional N-methyl-D-aspartate receptors in human induced pluripotent stem cell-derived neurons.

Safety Pharmacology Society 16th Annual Meeting (2016.9)

Matsuo J*, Arimura Y*, Suzuki A*, Yoshifuku T*, Kanda Y, Sekino Y, Uchiyama A*: Comparison of Pharmacological Responses to an IKr Inhibitor Between Action Potential and Field Potential in Human iPS Cell-Derived Cardiomyocytes.

Safety Pharmacology Society 16th Annual Meeting (2016.9)

* Shin Nippon Biomedical Laboratories, Ltd

Ide Y^{*1}, Ichikawa M^{*2}, Kobayashi Y, Tsubokura K^{*2}, Yamazaki D, Kanda Y, Sekino Y: Cardiac Safety Assessment Methods for Human iPSC-Derived Cardiomyocytes: A Voltage Sensitive Dye Imaging with a High-speed CMOS Sensor and a Non-staining Imaging with Polarizers.

Safety Pharmacology Society 16th Annual Meeting (2016.9)

*¹ Pharmacological Evaluation Institute of Japan (PEIJ)

*² Brainvision Inc.

Yamazaki D, Ide Y*, Kanda Y, Sekino Y: Drug-Induced Proarrhythmic Testing Methods Using VSD and Calcium Indicator in FDSS/uCell.

Safety Pharmacology Society 16th Annual Meeting

(2016.9)

* Pharmacological Evaluation Institute of Japan (PEIJ)

Kitaguchi T^{*1,3}, Moriyama Y^{*1,3}, Maeda S^{*1,4}, Taniguchi T^{*1,2,4}, Ishimura M^{*1,5}, Tashibu H^{*1,2,6}, Oguchi M^{*1,6}, Yamanishi A^{*1,7}, Takahashi E^{*1,8}, Miyamoto K^{*1,8}, Morimura K^{*1,8}, Saji D^{*1,9}, Ohnaka H^{*1,9}, Yamazaki D, Kanda Y, Sekino Y, Miyamoto N^{*1,2,4}

: Evaluation of Multi-electrode Array in Combination with Cor.4U Human iPS Cell-Derived Cardiomyocytes to Predict Drug-Induced QT Prolongation and Arrhythmia -Collaboration between CSAHi and JiCSA. Safety Pharmacology Society 16th Annual Meeting (2016.9)

*¹ CSAHi

*² JiCSA

*³ Mochida Pharmaceutical Co., Ltd.

*⁴ Eisai Co., Ltd.

*⁵ Kaken Pharmaceutical Co., Ltd.

*⁶ Ina Research Inc.

*⁷ Kyorin Pharmaceutical Co., Ltd.

*⁸ Toyama Chemical Co., Ltd.

*⁹ Nissei Bilis Co., Ltd.

Yamamoto W^{*1,2}, Asakura K^{*1,3}, Ando H^{*1,4}, Taniguchi T^{*1,5}, Ojima A^{*1,5}, Uda T^{*1,4}, Osada T^{*1,6}, Hayashi S^{*1,3}, Kasai C^{*1,7}, Miyamoto N^{*1,5}, Tashibu H^{*1,8}, Yoshinaga T^{*1,5}, Yamasaki D, Sugiyama A^{*9}, Kanda Y, Sawada K^{*1,5}, Sekino Y: Electrophysiological and Pharmacological Characterization of Human iPS Cell-Derived Cardiomyocytes As a Model for Predicting the Drug-Induced Arrhythmic Events in Human Hearts.

Safety Pharmacology Society 16th Annual Meeting (2016.9)

*¹ JiCSA.

*² Teijin Pharma Ltd.

*³ Nippon Shinyaku Co., Ltd.

*⁴ Ono Pharmaceutical Co., Ltd.

*⁵ Eisai Co., Ltd.

*⁶ LSI Medience Co.

*⁷ Astellas Pharma Inc.

*⁸ Ina Research Inc.

*⁹ Toho University

Yoshinaga T^{*1,2}, Ando H^{*1,3}, Taniguchi T^{*1,2}, Uda T^{*1,3}, Yamamoto W^{*1,4}, Asakura K^{*1,5}, Ojima A^{*1,2}, Shinkyo R^{*1,2}, Kikuchi K^{*1,2}, Osada T^{*1,6}, Hayashi S^{*1,5}, Kasai C^{*1,7}, Tashibu H^{*1,8}, Miyamoto N^{*1,2}, Yamazaki D, Kanda Y, Sugiyama A^{*9}, Sawada K^{*1,2}, Sekino Y: Drug-Induced Torsadogenic Risk Prediction Using Human iPS Cell-Derived Cardiomyocytes and MEA System (II).

Safety Pharmacology Society 16th Annual Meeting (2016.9)

*¹ JiCSA

*² Eisai Co., Ltd.

*³ Ono Pharmaceutical Co., Ltd.

*⁴ Teijin Pharma Ltd.

*⁵ Nippon Shinyaku Co., Ltd.

*⁶ LSI Medience Co.

*⁷ Astellas Pharma Inc.

*⁸ Ina Research Inc.

*⁹ Toho University

Ando H^{*1,2}, Yoshinaga T^{*1,3}, Yamamoto W^{*1,4}, Asakura K^{*1,5}, Taniguchi T^{*1,3}, Ojima A^{*1,3}, Uda T^{*1,2}, Shinkyo R^{*1,3}, Kikuchi K^{*1,3}, Osada T^{*1,6}, Hayashi S^{*1,5}, Kasai C^{*1,7}, Miyamoto N^{*1,3}, Tashibu H^{*1,8}, Yamazaki D, Sugiyama A^{*9}, Kanda Y, Sawada K^{*1,3}, Sekino Y: Drug-Induced Torsadogenic Risk Prediction Using Human iPS Cell-Derived Cardiomyocytes and MEA System (I).

Safety Pharmacology Society 16th Annual Meeting (2016.9)

*¹ JiCSA

*² Ono Pharmaceutical Co., Ltd.

*³ Eisai Co., Ltd.

*⁴ Teijin Pharma Ltd.

*⁵ Nippon Shinyaku Co., Ltd.

*⁶ LSI Medience Co.

*⁷ Astellas Pharma Inc.

*⁸ Ina Research Inc.

*⁹ Toho University

Kurokawa J^{*}, Kanda Y, Kodama M^{*}, Sekino Y, Furukawa T^{*}: Effects of anticancer drugs on contractile behaviors of human-induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocyte monolayers evaluated with an image-based analysis using motion field

imaging technique.

Safety Pharmacology Society 16th Annual Meeting (2016.9)

* Tokyo Medical and Dental University

Izumi-Nakaseko H^{*}, Nakamura Y^{*}, Wada T^{*}, Ando K^{*}, Kanda Y, Sekino Y, Sugiyama A^{*}: Electrophysiological and Pharmacological Characterization of the Conduction Properties and Automaticity of Human Induced Pluripotent Stem Cell-derived Cardiomyocyte Sheets.

Safety Pharmacology Society 16th Annual Meeting (2016.9)

* Toho University

Shirao T^{*}, Ishizuka Y^{*}, Hanamura K^{*}, Kanda Y, Sekino Y: Quantitative imaging analysis of amyloid beta toxicity using cultured neurons.

5th Annual Meeting of the American Society for Cellular and Computational Toxicology (2016.9)

* Gunma University

Kanda Y, Yamada S, Hirata N, Yamazaki D, Sekino Y: Role of mitochondrial dynamics in assessment of developmental neural toxicity using human iPS cells.

5th Annual Meeting of the American Society for Cellular and Computational Toxicology (2016.9)

平田尚也, 諫田泰成: タバコ特異的ニトロソアミン NNKによるWntシグナルを介した肺癌幹細胞の増殖. 第75回日本癌学会学術総会 (2016.10)

Ishida S, Horiuchi S, Kuroda Y, Uchida S, Kim S, Sekino Y: Informatic assessments of global gene expression data obtained from the analysis of hepatic stellate cell deactivation process.

CBI学会2016年大会 (2016.10)

Satoh T^{*}, Sugiura S^{*}, Shin K^{*}, Ishida S, Kanamori T^{*}: Development of a Pneumatic Pressure-Driven Multi-Throughput Multi-Organs-On-a-Chip. YABEC2016 (2016.10)

* 産総研

石田誠一：ヒト凍結肝細胞を代替する新しい細胞資源の機能評価とその活用法。

第30回日本薬物動態学会年会 (2016.10)

Ishida S, Horiuchi S, Uchida S, Kuroda Y, Kim S, Sekino Y: Applicability of human iPS cell-derived hepatocyte to the safety test of drug candidate.

第30回日本薬物動態学会年会 (2016.10)

Yamasaki C*, Yanagi A*, Yoshizane Y*, Kageyama Y*, Iwasaki Y*, Ishida Y*, Ishida S, Tateno C*: Investigating in vitro induction assay conditions for human cytochrome P450 isoforms using fresh human hepatocytes (PXB-cells) isolated from chimeric mice with humanized livers (PXB-mice) .

第30回日本薬物動態学会年会 (2016.10)

* フェニックスバイオ

Komizu Y*, Ishida S, Ueoka R*, Matsumoto Y*, Matsushita T*: Inhibitory effect of hybrid liposomes on the growth of liver cancer stem cells.

第75回日本癌学会学術総会 (2016.10)

* 崇城大学

Satoh T*, Sugiura S*, Shin K*, Ishida S, Fujimoto T*, Miyamoto H*, Taneichi N*, Kanamori T*: A Pneumatic Pressure-Driven Multi-Throughput Multi-Organs-on-a-Chip.

MicroTAS 2016 Conference (2016.10)

* 産総研

Sekino Y: Assessment of concentration-development drug-induced repolarization delay and arrhythmias in an iPS cell-derived cardiomyocytes model.

Society of Toxicology Contemporary Concepts in Toxicology meeting (2016.10)

Sekino Y: Validation study for the possible usage of human iPS-derived cardiomyocytes for the safety pharmacology led by Japan iPS cardiac safety assessment (JiCSA).

2016 Precision Medicine and Ion Channel Retreat (2016.11)

Sato K, Shigemoto-Mogami Y, Hoshikawa K, Sekino Y: Microglia participate in the functional maturation of blood-brain barrier by regulating cytokine/chemokine circumstances as members of neurovascular unit.

Society for Neuroscience2016 (2016.11)

諫田泰成：ヒトiPS細胞を用いた新たな発達神経毒性評価系の構築。

第29回日本動物実験代替法学会シンポジウム (2016.11)

石田誠一, 堀内新一郎, 原詳子*¹, 黒田幸恵, 内田翔子, 石田里穂, 金秀良, 松浦知和*², Fabrice Morel*³, Anne Corlu*³, 小嶋聡一*¹, 関野祐子：肝実質細胞前駆細胞HepaRGと星細胞の共培養による生体を模倣したin vitro培養系構築 (第二報)。

第29回日本動物実験代替法学会 (2016.11)

*¹ 理化学研究所

*² 東京慈恵会医科大学

*³ INSERM

石田誠一：肝実質細胞前駆細胞HepaRGと星細胞の共培養による生体を模倣したin vitro培養系構築。

第29回日本動物実験代替法学会 (2016.11)

山田茂, 関野祐子, 諫田泰成：ミトコンドリア機能を介した新規神経誘導メカニズム。

第39回日本分子生物学会年会 (2016.12)

黒川洵子*¹, 児玉昌美*², 高橋健太郎*², 諫田泰成, 酒徳航平*¹, 山崎泰広*¹, 古川哲史*²：ヒトiPS由来心筋細胞の動きベクトル解析による抗がん剤心毒性の評価法。

第26回日本循環薬理学会 (2016.12)

*¹ 静岡県立大学

*² 東京医科歯科大学

山崎大樹, 諫田泰成, 関野祐子：ヒトiPS心筋とMEAシステムによる新規薬剤誘発性TdPリスク評価。

筋生理の集い (2016.12)

酒徳航平*¹, 児玉昌美*², 諫田泰成, 山崎泰広*¹, 関野祐子*³, 黒川洵子*¹：セルモーシオンイメージングとヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた抗がん剤の慢性毒性評価。

第8回日本安全性薬理研究会 (2017.2)

*¹ 静岡県立大学

*² 東京医科歯科大学

*³ 東京大学

関野祐子：ICHガイドラインS7B/E14の改訂に向けた国際協調。

第4回心臓安全性に関するシンクタンクミーティング
2017合同公開シンポジウム (2017.2)

山本渉^{*1,2}, 朝倉圭一^{*1,3}, 安藤博之^{*1,4}, 谷口智彦^{*1,5},
小島敦子^{*1,5}, 宇田宗晃^{*1,4}, 長田智治^{*1,6}, 林誠治^{*1,3},
葛西智恵子^{*1,7}, 宮本憲優^{*1,5}, 田澁弘行^{*1,8}, 吉永貴志^{*1,5},
山崎大樹, 杉山篤^{*9}, 諫田泰成, 澤田光平^{*1,5}, 関野祐子^{*10}：薬剤誘発性不整脈のリスク評価に関するヒトiPS細胞由来心筋細胞の電気生理学的及び薬理学的特性。

第8回日本安全性薬理研究会 (2017.2)

*¹ JiCSA

*² 帝人ファーマ

*³ 日本新薬株式会社

*⁴ 小野薬品工業株式会社

*⁵ エーザイ株式会社

*⁶ LSIメディエンス

*⁷ アステラス製薬

*⁸ イナリサーチ

*⁹ 東邦大学

*¹⁰ 東京大学

安藤博之^{*1,2}, 吉永貴志^{*1,3}, 山本渉^{*1,4}, 朝倉圭一^{*1,5},
宇田宗晃^{*1,2}, 谷口智彦^{*1,3}, 小島敦子^{*1,3}, 新京楽^{*1,3},
菊池清美^{*1,3}, 長田智治^{*1,6}, 林誠治^{*1,5}, 葛西智恵子^{*1,7},
宮本憲優^{*1,3}, 田澁弘行^{*1,8}, 山崎大樹, 杉山篤^{*9}, 諫田
泰成, 澤田光平^{*1,3}, 関野祐子^{*10}：ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた薬剤誘発性TdPリスク分類評価。

第8回日本安全性薬理研究会 (2017.2)

*¹ JiCSA

*² 小野薬品工業株式会社

*³ エーザイ株式会社

*⁴ 帝人ファーマ

*⁵ 日本新薬株式会社

*⁶ LSIメディエンス

*⁷ アステラス製薬

*⁸ イナリサーチ

*⁹ 東邦大学

*¹⁰ 東京大学

佐藤薫：ヒトiPS神経細胞で薬の副作用を予測する。
再生医療の実用化に関するニーズ発表会 (2017.2)

佐藤薫：ミクログリアは血液脳関門の成熟と崩壊のキー
プレイヤーである。

第90回日本薬理学会年会シンポジウム「恒常性維持機構
の破綻としての中核疾患とその新たな治療戦略」(2017.3)

清水英雄, 小針彩奈^{*1}, 須知由未子^{*1}, 関口敬洋^{*1}, 花
村健次^{*2}, 白尾智明^{*2}, 田辺光男^{*1}, 関野祐子, 佐藤薫：
ベンゾジアゼピン系薬剤の培養海馬神経細胞シナプス数
に対する作用—医薬品の中核神経系有害反応予測のため
の新規 *in vitro* 評価系確立の試み。

第90回日本薬理学会年会 (2017.3)

*¹ 北里大学

*² 群馬大学

高橋華奈子, 重本一最上由香里, 中條かおり, 干川和枝,
関野祐子, 佐藤薫：ヒトiPSC由来神経細胞標本におけ
るNMDA受容体由来興奮毒性感受性の評価について。

第90回日本薬理学会年会 (2017.3)

中瀬古寛子^{*1}, 中村裕二^{*1}, 和田剛^{*1}, 安東賢太郎^{*1},
諫田泰成, 関野祐子^{*2}, 杉山篤^{*1}：薬物性興奮伝導障害
の検出手段としてのヒトiPS細胞由来心筋細胞シート
の特徴付け。

第90回日本薬理学会 (2017.3)

*¹ 東邦大学

*² 東京大学

平田尚也, 関野祐子*, 諫田泰成：リゾホスファチジン
酸受容体LPA3を介した乳癌幹細胞の増殖。

第90回日本薬理学会 (2017.3)

* 東京大学

久保祐亮^{*1}, 山田茂, 犬塚隆志^{*2}, 諫田泰成, 関野祐子^{*3}：
ヒトiPS細胞からGABA作動性ニューロン前駆細胞への
高効率分化誘導法の開発。

第90回日本薬理学会 (2017.3)

*¹ AMEDリサーチレジデント

*² 一般社団法人日本薬理評価機構

*³ 東京大学

山田茂, 久保祐亮^{*1}, 山崎大樹, 諫田泰成, 関野祐子^{*2}
: ヒトiPS細胞の神経分化におけるミトコンドリア因子
Mfn1の機能.

第90回日本薬理学会 (2017.3)

^{*1} AMEDリサーチレジデント

^{*2} 東京大学

中瀬古寛子^{*1}, 中村裕二^{*1}, 和田剛^{*1}, 安東賢太郎^{*1},
諫田泰成, 関野祐子^{*2}, 杉山篤^{*1}: ヒトiPS由来心筋細胞
シートの伝導と自発活動におけるNa⁺チャネル活性の
制御.

第94回日本生理学会 (2017.3)

^{*1} 東邦大学

^{*2} 東京大学

岩本早起^{*1}, 富田達朗^{*1}, 笛田由紀子^{*2}, 上野晋^{*2}, 関
野祐子^{*3}, 諫田泰成, Maev Roman^{*4}, 穂積直裕^{*1}, 吉
田祥子^{*1}: バルプロ酸誘発性自閉症モデルラットにおけ
る小脳皮質の変性.

第94回日本生理学会 (2017.3)

^{*1} 豊橋技術科学大学

^{*2} 産業医科大学

^{*3} 東京大学

^{*4} ウィンザー大学

猪飼航一郎^{*1}, 中嶋さりい^{*1}, 富田達朗^{*1}, 笛田由紀子^{*2},
上野晋^{*2}, 関野祐子^{*3}, 諫田泰成, 穂積直裕^{*1}, 吉田祥
子^{*1}: オキシトシンまたはブメタニド投与によるバルプ
ロ酸誘発性自閉症モデルの小脳変性からの回復.

第94回日本生理学会 (2017.3)

^{*1} 豊橋技術科学大学

^{*2} 産業医科大学

^{*3} 東京大学

重本-最上由香里, 干川和枝, 関野祐子, 佐藤薫: ミク
ログリアの血液脳関門機能発達促進作用を介する因子の
解明.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

黒田幸恵, 金秀良, 金木達郎*, 堀川正人*, 関野祐子,
石田誠一: 細胞の浮遊培養は凍結融解ダメージの改善し
カドヘリンの発現を上昇させる.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

* 日産化学

簾内桃子, 河村麻衣子, 曾我慶介, 蜂須賀暁子, 最上知子,
宇佐見誠, 関野祐子, 袴塚高志, 花尻(木倉)瑠理: 新
規流通危険ドラッグ4-acethoxy-N,N-diethyltryptamine
の代謝に関する研究.

日本薬学第137回会年会 (2017.3)

佐藤薫: Opening remarks—神経系非臨床試験のヒト予
測性向上への挑戦.

日本薬学会第137年会シンポジウム (2017.3)

諫田泰成: ヒトiPS細胞を用いた新たな発達神経毒性評
価系の開発.

日本薬学会第137年会シンポジウム (2017.3)

Watari R^{*1}, Kakiki M^{*1}, Oshikata A^{*2}, Takezawa T^{*2},
Yamasaki C^{*3}, Ishida Y^{*3}, Tateno C^{*3}, Kuroda Y,
Ishida S, Kusano K^{*1}: A novel long-term culture
method for activating cytochrome P450 and liver-
specific function of hepatocytes utilizing a collagen
vitrigel membrane chamber.

Society of Toxicology 56th Annual Meeting and
ToxExpo 2017 (2017.3)

^{*1} エーザイ

^{*2} 農研機構

^{*3} フェニックスバイオ

後藤啓介*, 小川久美子: 炭酸ランタン内服患者の胃粘
膜には高頻度にランタン沈着が観察される.

第105回日本病理学会総会 (2016.5)

* 海南病院

木島綾希, 石井雄二, 高須伸二, 横尾諭, 土屋卓磨, 梅
村隆志, 小川久美子: 食品用途香料である2,3-pentandione
のF344ラットにおける90日間反復投与毒性試験.

日本食品化学学会第22回総会・学術大会 (2016.6)

Akagi J, Yokoi M^{*1,2}, Toyoda T, Cho YM, Ohmori H^{*1},
Hanaoka F^{*1,2}, Ogawa K: Triple knockout mouse
cells defective for Pol η , Pol ι , and Pol κ exhibit
hypersensitivity to various genotoxins and are useful
for screening of chemical genotoxicity.

Gordon Research Seminar on Mutagenesis (2016.6)

*¹ Gakushuin University

*² Kobe University

梅村隆志：香料，栄養成分，加工助剤などの物質の特性を考慮した評価を行う食品添加物。

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6)

小川久美子：前向き評価におけるがん原性評価文書 (CAD) に対する中間報告。

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6)

井上薫：農薬評価におけるマウス発がん性試験の必要性，II. マウス発がん性のヒトへの外挿性検討。

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6)

高須伸二，石井雄二，木島綾希，土屋卓磨，西川秋佳，梅村隆志：*gpt delta*マウスを用いたMeIQx誘発*in vivo*遺伝毒性に対する高脂肪食長期間摂取の影響。

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6)

曾根瑞季，豊田武士，曹永晩，赤木純一，水田保子，西川秋佳，小川久美子： γ -H2AXを指標とした*in vivo*遺伝毒性評価系の構築—ラット肝臓における検討—。

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6)

豊田武士，曹永晩，赤木純一，水田保子，西川秋佳，小川久美子：個体差に対する不確実係数の妥当性評価—高脂血症モデルラットによる検討—。

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6)

曹永晩，水田保子，豊田武士，赤木純一，曾根瑞季，安達玲子，木村美恵，最上 (西巻) 知子，小川久美子：マウス経皮曝露モデルにおけるコレラトキシンのアジュバント作用の検討。

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6)

石井雄二，高須伸二，土屋卓磨，木島綾希，小川久美子，梅村隆志：硫酸転移酵素 (SULT) により代謝活性化される肝・腎発がん物質への肝SULT阻害剤の影響。

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6)

梅村隆志：レポーター遺伝子導入動物を用いた発がん性予測のためのアプローチ。

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6)

赤木純一，横井雅幸*^{1,2}，豊田武士，曹永晩，西川秋佳，

大森治夫*¹，花岡文雄*^{1,2}，小川久美子：損傷乗り越えDNAポリメラーゼ $\eta \cdot \iota \cdot \kappa$ 三重欠損細胞およびPolk欠損マウスの遺伝毒性物質曝露に対する応答。

第31回発癌病理研究会 (2016.8)

*¹ 学習院大学

*² 神戸大学

小川久美子，高須伸二：新規臭素系難燃剤の毒性影響について。

環境科学会2016年会 (2016.9)

豊田武士，曹永晩，赤木純一，松下幸平，西川秋佳，小川久美子：化学物質の膀胱に対する*in vivo*遺伝毒性および発がん性の短期評価系開発。

第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリサイエンスフォーラム (2016.9)

Ishii Y, Takasu S, Kijima A, Ogawa K, Umemura T: Molecular mechanisms of cell proliferation contributing to the mutagenicity of estragole, a hepatocarcinogen.

14th European Congress of Toxicologic Pathology (2016.9)

Takasu S, Ishii Y, Kijima A, Yokoo Y, Tsuchiya T, Kodama Y, Ogawa K, Umemura T: *In vivo* reporter gene mutation and micronucleus assays in *gpt delta* mice treated with the flame retardant decabromodiphenyl ether.

14th European Congress of Toxicologic Pathology (2016.9)

Tamura K, Inoue K, Takahashi M, Matsuo S, Kodama Y, Yoshida M*: Imazalil induced constitutive androstane receptor (CAR)-dependent liver tumor development in mice.

14th International Congress of Toxicology (2016.10)

* Food Safety Commission

桐山諭和*，豊田武士，小川久美子，塚本徹哉*：ヒト胃癌における γ -H2AXとp53の免疫組織学的解析。

第75回日本癌学会学術総会 (2016.10)

* 藤田保健衛生大学

豊田武士，曹永晩，赤木純一，松下幸平，塚本徹哉*¹，

立松正衛^{*2}, 小川久美子: ヘリコバクター・ピロリ除菌後胃がんの発生機序における炎症関連因子の役割.
第75回日本癌学会学術総会 (2016.10)

^{*1} 藤田保健衛生大学

^{*2} 日本バイオアッセイ研究センター

赤木純一, 横井雅幸^{*1,2}, 豊田武士, 曹永晩, 花岡文雄^{*1,2}, 小川久美子: Pol η , Pol ι , およびPol κ の欠損はさまざまな化学物質に対して異なる感受性を示し, 遺伝毒性のスクリーニングに有用である.
第75回日本癌学会学術総会 (2016.10)

^{*1} 学習院大学

^{*2} 神戸大学

Akagi J, Yokoi M^{*1,2}, Toyoda T, Cho YM, Ohmori H^{*1}, Hanaoka F^{*1,2}, Ogawa K: Triple knockout mouse fibroblast cells defective for DNA polymerases η , ι , and κ exhibit hypersensitivity to various genotoxic agents and increased activation of DNA damage responses.
10th 3R Symposium in Matsue (2016.11)

^{*1} Gakushuin University

^{*2} Kobe University

石井雄二, 高須伸二, 木島綾希, 能美健彦, 小川久美子, 梅村隆志: Benzo[a]pyreneによるマウス肺の突然変異誘発過程におけるDNA Polymerase ζ の役割.
日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

赤木純一, 横井雅幸^{*1,2}, 曹永晩, 豊田武士, 大森治夫^{*1}, 花岡文雄^{*1,2}, 小川久美子: 損傷乗り越え型DNAポリメラーゼ η ・ ι ・ κ 三重欠損細胞は非代謝ベンゾ[a]ピレンに高感受性を示す.
第39回日本分子生物学会年会 (2016.11)

^{*1} 学習院大学

^{*2} 神戸大学

時亮, 石井雄二, 高須伸二, 土屋卓磨, 木島綾希, 能美健彦, 小川久美子, 西川秋佳, 梅村隆志: Elemicinの短期遺伝毒性・発がん性包括的試験による評価.
第33回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2017.1)

高須伸二, 横尾諭, 木島綾希, 石井雄二, 小川久美子, 梅村隆志: Piperonyl butoxide誘発マウス結節性再生性

肝細胞過形成の腫瘍性病変との分子病理学的差異.
第33回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2017.1)

松下幸平, 豊田武士, 曾根瑞季, 森川朋美, 小川久美子: 非アルコール性脂肪性肝疾患モデルマウスの病態進展に対するbenzo[a]pyreneの影響.
第33回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2017.1)

豊田武士, 鈴木周五^{*}, 加藤寛之^{*}, 曾根瑞季, 松下幸平, 曹永晩, 赤木純一, 井上薫, 高橋智^{*}, 西川秋佳, 小川久美子: 遺伝毒性膀胱発がん物質によるラット膀胱粘膜における γ H2AX発現.
第33回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2017.1)

^{*} 名古屋市立大学

曾根瑞季, 豊田武士, 松下幸平, 森川朋美, 曹永晩, 赤木純一, 水田保子, 西川秋佳, 小川久美子: γ H2AXを指標とした*in vivo*遺伝毒性評価系の構築-ラット腎臓における検討-.
第33回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2017.1)

曹永晩, 赤木純一, 水田保子, 豊田武士, 小川久美子: BALB/cマウスにおけるナノ銀の腹腔内投与による急性毒性はサイズによって異なる.
第33回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2017.1)

赤木純一, 水田保子, 豊田武士, 曹永晩, 小川久美子: わさびの香気成分である5-ヘキセニルイソチオシアネートは13週間の経口投与によりF344ラットに膀胱上皮過形成を誘発する.
第33回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2017.1)

Toyoda T, Sone M, Cho YM, Akagi J, Matsushita K, Mizuta Y, Nishikawa A, Ogawa K: γ H2AX expression is a biomarker of genotoxic carcinogen in the urinary bladder of rodents.
56th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2017.3)

Sone M, Toyoda T, Matsushita K, Morikawa T, Cho YM, Akagi J, Mizuta Y, Nishikawa A, Ogawa K: Detection of *in vivo* genotoxicity in rat liver and kidney using γ H2AX expression.
56th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2017.3)

Kuwata K, Inoue K, Ichimura R, Takahashi M, Kodama Y, Yoshida M: No involvement of β -catenin mutation in early stage in protox inhibitors-related hepatocarcinogenesis in mice.

56th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2017.3)

Cho YM, Mizuta Y, Akagi J, Toyoda T, Ogawa K : Acute toxicity of intraperitoneally administered silver nanoparticles of varying sizes in mice.

56th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2017.3)

増村健一：ゲノム解析による経世代突然変異の検出。
平成28年度日本環境変異原学会公開シンポジウム (2016.5)

堀端克良：*Pig-a* 試験。

JEMS・MMS研究会 第68回定例会 (2016.6)

Honma M: AMES/QSAR International Collaborative Study.

17th International Conference on QSAR in Environmental and Health Sciences (2016.6)

本間正充, 増村健一, 森田健：遺伝毒性発がん物質のリスク評価。

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.7)

Yamada M, Matsuda S*, Matsuda T*: Application of single-molecule real-time (SMRT) sequencing technology to mutation assay.

45th annual meeting of European Environmental Mutagenesis and Genomics Society (2016.8)

* Kyoto University

Sugiyama K, Furusawa H, Shimizu M, Grúz P, Honma M: Establishment of a universal detection system for epimutagen using yeast carrying human DNA methyltransferase genes.

45th annual meeting of European Environmental Mutagenesis and Genomics Society (2016.8)

Luan Y*, Cao YY*, Feng NN*, Shi OM*, Horibata K, Honma M: Human Erythrocyte *PIG-A* Assay in 218 General Subjects.

47th Annual Meeting of Environmental Mutagenesis and Genomics Society (2016.9)

* Shanghai Jiao Tong University School of Medicine

Honma M: Current Topics in Genotoxic Toxicology. Symposium on Genetic Toxicology and Developmental Toxicology in Chinese Society of Toxicology (2016.8)

Masumura K, Toyoda-Hokaiwado N, Ukai A, Gondo Y*, Honma M, Nohmi T: Estimation of the frequency of inherited germline mutations by whole-exome sequencing in ethylnitrosourea-treated *gpt* delta mice. 47th Annual Meeting of Environmental Mutagenesis and Genomics Society (2016.9)

* RIKEN BRC

Sugiyama K, Furusawa H, Honma M: Effect of epigenetic modifiers on the flocculation of human *DNMT* gene-transformed yeasts.

14th International Congress on Yeasts (2016.9)

佐々彰：DNA中の酸化リボヌクレオチドに対する損傷乗り越えDNA合成機構。

変異機構研究会第29回夏の学校 (2016.9)

杉山圭一, 古沢博子, 清水雅富, グルーズピーター, 本間正充：DNAメチル化酵素阻害剤応答性凝集酵母に対するヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の影響。

第89回日本生化学会大会 (2016.9)

杉山圭一, 古沢博子, 清水雅富, グルーズピーター, 本間正充：酵母凝集反応をエンドポイントとしたエピ変異原検出系。

酵母遺伝学フォーラム第49回研究報告会 (2016.9)

増村健一, 本間正充：マウス肝発がん物質を用いた遺伝毒性および発がん性の定量的分析に関する研究。

第75回日本癌学会学術総会 (2016.10)

堀端克良, 本間正充：Genotoxicity on the next generation and effect on the differences of both age and sex detected by the *Pig-a* assay.

第75回日本癌学会学術総会 (2016.10)

谷田貝文夫*, 本間正充, 堂前直*, 石岡憲昭*：微小重

力環境下での宇宙放射線の生物影響研究：新たな展開への重要な視点.

日本宇宙生物学会第31回大会 (2016.9)

* 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

Suzuki A*, Bonaand A*, Sassa A, Yasui M, Miyamoto A*, Honma M: Theoretical Comparison of Conformational Affinity between hOOG1 DNA Repair Protein and DNA Holding Different Number of 8-OxoG. CBI学会2016年大会 (2016.11)

* 東北大学 未来科学技術共同研究センター

堀端克良: *Pig-a*アッセイ.

JEMS・MMS研究会 第69回定例会 (2016.11)

本間正充: 何故、今、変異原性*in silico*なのか?.

日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

山田雅巳, 森田健: 遺伝毒性評価における染色体異常試験の要否を問う.

日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

須井哉*, 川上久美子*, 根岸沙記*, 増渕恵美*, 山田雅巳: ハイ・スループット微生物遺伝毒性試験法の検討11.

日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

* (一財) 食品薬品安全センター 秦野研究所

増村健一, 鶴飼明子, 豊田尚美, 権藤洋一*, 能美健彦, 本間正充: 全エキソーム解析を用いたENU 投与雄マウスの次世代個体における生殖細胞系列突然変異頻度の測定.

日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

* 理化学研究所 バイオリソースセンター

和田邦生*¹, 竹澤祐造*¹, 阿部美咲樹*¹, 田食里沙子*¹, 大杉直弘*², 高木久宜*², 鶴飼明子, 増村健一, 山田雅巳, 松元郷六*¹: *Pig-a*, 小核, 遺伝子突然変異, コメットアッセイによるo-phenylenediamine 2HCl の*in vivo* 遺伝毒性の評価.

日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

*¹ 一般財団法人残留農薬研究所

*² 日本エスエルシー株式会社

青木康展*¹, 中島大介*¹, 松本みちよ*¹, 松本理*¹, 柳澤利枝*¹, 後藤純雄*², 増村健一, 能美健彦: 過去に都市大気から採取した浮遊粒子抽出物が*gpt delta* マウス肺で示す変異原性.

日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

*¹ 国立環境研究所

*² 麻布大学

堀端克良, 鶴飼明子, 本間正充: Mice mutagenicity on the next generation and effect on the differences of both age and sex detected by the *Pig-a* assay.

日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

Cao Y*, Luan Y*, Horibata K, Honma M: A population study using the human erythrocyte *PIG-A* assay.

日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

* Shanghai Jiao Tong University School of Medicine

佐々彰, Caglayan M*, Beard WA*, Wilson SH*, 能美健彦, 本間正充, 安井学: DNA中の酸化リボヌクレオチドがDNA複製及び修復機構に及ぼす影響.

日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

* NIEHS/NIH

鈴木愛*, Bonnaud P*, 佐々彰, 安井学, 宮本明*, 本間正充: 8-oxoG付加数の異なるDNAに対する修復タンパクhOGG1の高速化量子分子動力学法による親和性評価.

日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

* 東北大学

杉山圭一, 古沢博子, 清水雅富*, グループピーター, 本間正充: エピ変異原検出系としてのヒトDNMT酵母の有用性の検討.

日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

* 東京医療保健大学 医療保健学部

グループピーター, 清水雅富*, 山田雅巳, 杉山圭一, 本間正充: Amesテスター改変株を用いた過酸化脂質誘発性GC塩基置換に対するYファミリーDNAポリメラーゼの役割.

日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

* 東京医療保健大学 医療保健学部

佐々彰, Caglayan M*, Beard WA, Wilson SH*, 能美健彦, 本間正充, 安井学: DNA中の酸化リボスクレオチドにおける損傷乗り越えDNA合成と修復. 第39回日本分子生物学会年会 (2016.12)

* NIEHS/NIH

Rathman JF^{*1,2}, Benfenati E^{*3}, Honma M, Kitazawa A, Raitano N^{*3}, Yamada T, Yang C^{*1,2,4}: Models Combined by Decision Theory to Enhance Outcomes in DGM/NIHS Ames/QSAR International Collaborative Study. 56th Annual Meeting of Society of Toxicology (2017.3)

* ¹ Altamira, Columbus, OH USA

* ² Ohio State University, Columbus, OH USA

* ³ Mario-Negri Institute, Milan, Italy

* ⁴ MN-AM, Erlangen, Germany

本間正充: 医薬品中に不純物として含まれる発がん性化学物質のリスク評価と管理.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

福地準一*, 北澤愛莉, 平林啓司*, 本間正充: (Q) SARによる変異原性不純物の評価に対するエキスパートレビューに関する研究.

日本薬学会第137年会 (2017.3)

* 医薬品医療機器総合機構

杉山圭一, 古沢博子, グルーズピーター, 本間正充: 酵母凝集反応を利用した新規エピジェネティック変異原検出法の開発.

日本農芸化学会2017年度大会 (2017.3)

Tanabe S, Aoyagi K^{*1}, Kawabata T^{*2}, Yamaguchi T^{*3}, Yokozaki H^{*4}, Sasaki H^{*1}: Gene expression and network analysis of PTCH1 and mesenchymal stem cell markers in cancer and mesenchymal stem cells. Society of Toxicology 56th Annual Meeting (2017.3)

* ¹ National Cancer Center Research Institute

* ² Institute for Protein Research, Osaka University

* ³ Tokushima University Graduate School

* ⁴ Kobe University Graduate School of Medicine

Furukawa M*, Sakakibara T*, Itoh Kouta*, Kawamura K*, Matsuura M*, Kojima H: Special stain for detection of corneal histopathological changes in BCOP (Bovine Corneal Opacity and Permeability) assay. Society of Toxicology 56th Annual Meeting (2017.3)

* Safety Research Institute for Chemical Compounds Co., Ltd

Igarashi T, Kobayashi K, Serizawa H*, Kawamura T, Matsumoto M, Yamada T, Hirose A: Initial risk assessment of 4-benzylphenol: *In vitro* genotoxicity tests and a 28-day repeated dose toxicity study. Society of Toxicology 56th Annual Meeting (2017.3)

* BoZo Research Center Inc.

Hirose A, Takahashi M, Matsumoto M, Kawamura T, Yamada T, Ishii-Watabe A: Toxicity evaluation of chemical impurities as potential leachables from apparatuses used for parenteral products. Society of Toxicology 56th Annual Meeting (2017.3)

Yamada T: Our recent experiences for development of read-across for chemical safety assessment. 56th annual meeting of the Society of Toxicology satellite meeting (2017.3)

小島肇: 日本における動物実験代替法研究の胎動, シンポジウム「日本における動物実験代替法の新たな技術展開」. 第90回日本薬理学会年会 (2017.3)

田邊思帆里, 青柳一彦^{*1}, 川端 猛^{*2}, 山口鉄生^{*3}, 横崎宏^{*4}, 佐々木博己^{*1}: がん及び間葉系幹細胞におけるPTCH1及び間葉系幹細胞マーカーの遺伝子発現・ネットワーク解析. 第16回日本再生医療学会総会 (2017.3)

* ¹ 国立がん研究センター研究所

* ² 大阪大学蛋白質研究所

* ³ 徳島大学総合科学部

* ⁴ 神戸大学大学院医学研究科

Yamaguchi H, Matsumoto M, Kato H, Hirose, A: Uncertainty analysis with the assessment processes in the screening hazard assessment of human health

under Japan's Chemical Substances Control Law.
Society for Risk Analysis 2016 annual meeting (2016.12)

Yamaguchi H, Shintani K^{*1}, Hamada N^{*2}: The chronological change of consumer anxieties and concerns related with radioactive contamination of foods in Japan: applying the text mining approach.
Society for Risk Analysis 2016 annual meeting (2016.12)

*¹ 東都生協

*² 東京海洋大学

藤田侑里香^{*1}, 本田大士^{*1}, 松村奨士^{*1}, 伊藤勇一^{*1}, 松田知成^{*2}, 森田健, 森田修^{*1}: 各種遺伝毒性試験結果を用いた発がん性の統合的評価戦略.
第45回日本環境変異原学会 (2016.11)

*¹ 花王

*² 京都大学

伊藤浩太*, 榊原隆史*, 古川正敏*, 奥村宗平*, 越田美*, 河村公太郎*, 松浦正男*, 小島肇: 牛摘出角膜を用いた混濁度及び透過性試験法 (BCOP 法: 眼刺激性代替法試験) における角膜の病理組織学的検査による弱刺激性物質の評価.
第29回日本動物実験代替法学会 (2016.11)

* (株) 化合物安全性研究所

小島肇: JaCVAM における3Rs 原則と動物実験代替法.
第29回日本動物実験代替法学会 (2016.11)

萩原沙織^{*1}, 篠田伸介^{*1}, 仲原聡^{*2}, 小島肇, 大森崇^{*3}, 遠藤麻衣^{*4}, 佐竹真悠子^{*4}, 池田英史^{*5}, 西浦英樹^{*6}, 笠原利彦^{*7}, 山本祐介^{*7}, 加藤雅一^{*8}, 菅原桂^{*8}: 培養角膜上皮モデルLabCyte CORNEA-MODEL24眼刺激性試験の多施設バリデーション研究.
第29回日本動物実験代替法学会 (2016.11)

*¹ (株) 薬物安全性試験センター

*² 丸石ラボ (株)

*³ 神戸大学医学部

*⁴ 同志社大学

*⁵ (株) マンダム

*⁶ 日本コルマー (株)

*⁷ 富士フイルム (株)

*⁸ (株) ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

加藤義直^{*1}, 山本直樹^{*2}, 佐藤淳^{*1}, 中田悟^{*1}, 小島肇: 不死化ヒト角膜細胞株 (iHCE-NY) を用いて作製した三次元角膜再構築モデルの眼刺激性試験代替法 ~再構築ヒト角膜様上皮 (RhCE) 試験法用性能標準の30物質 (TG492PS) に対する回復性を取り入れた予測性~.
第29回日本動物実験代替法学会 (2016.11)

*¹ 日本メナード化粧品 (株)

*² 藤田保健衛生大学共同利用研究施設

藤田正晴^{*1}, 笠原利彦^{*1}, 山本裕介^{*1}, 渡辺真一^{*2}, 菅原経継^{*2}, 若林晃次^{*3}, 田原宥^{*3}, 堀江宣行^{*4}, 藤本恵一^{*4}, 高橋寛明^{*5}, 黒川嘉彦^{*5}, 小野敦^{*6}, 小島肇: CysおよびLys誘導体を用いた皮膚感作性試験代替法 (ADRA法) のバリデーション研究のための技術移転結果報告.
第29回日本動物実験代替法学会 (2016.11)

*¹ 富士フイルム (株)

*² ライオン (株)

*³ 三井化学 (株)

*⁴ 住友化学 (株) 生物環境科学研究所

*⁵ 日産化学工業 (株) 生物科学研究所

*⁶ 岡山大学

松成夏美*, 九十九英恵*, 謝丹*, 岡朱音*, 小島肇, 板垣宏*: タンパク質のアレルギー性を評価するin vitro試験法の開発.
第29回日本動物実験代替法学会 (2016.11)

* 横浜国立大学

VO P.T.H*, Narita K*, Nakagawa F*, Kojima H, Itagaki H*: Reducing false negative results in an in vitro skin sensitization test: The human cell line activation test.
第29回日本動物実験代替法学会 (2016.11)

* Yokohama National University

田邊思帆里, 青柳一彦^{*1}, 川端 猛^{*2}, 山口鉄生^{*3}, 横崎 宏^{*4}, 佐々木博己^{*1}: がん細胞及び幹細胞におけるPTCH1の遺伝子発現及びシグナルパスウェイの解明.
第29回日本動物実験代替法学会 (2016.11)

*¹ 国立がん研究センター研究所

*² 大阪大学蛋白質研究所

*³ 徳島大学総合科学部

*⁴ 神戸大学大学院医学研究科

山田隆志, 福島隆^{*1}, 林真^{*2}: 我が国における化学物質のin silico評価の現状と活用推進のための方策.

日本動物実験代替法学会第29回大会 (2016.11)

*¹ (独) 製品評価技術基盤機構

*² Makoto International Consulting

Kojima H: Guidance on use of alternative methods for testing in the safety assessment of cosmetics and quasi-drug.

Asian Congress 2016 on Alternatives and Animal Use in the Life Science (2016.11)

Yamada T, Hayashi M^{*}, Hirose A: Development of read-across for chemical safety assessment.

Asian Congress 2016 on Alternatives and Animal Use in the Life Science (2016.11)

* Makoto International Consulting

広瀬明彦, 平田睦子, 小野敦, 山田隆志, 山口治子, 西村哲治^{*}: 水道水汚染物質の亜急性評価値に関する研究
平成28年度全国会議(水道研究発表会 京都市) (2016.11)

* 帝京平成大学

山田隆志: 化学物質の安全性評価のためのin silico手法の開発と活用推進のための方策.

情報計算科学生物学会2016年度大会 (2016.10)

Morita T, Toda M, Inoue K^{*}: Is necessary mouse carcinogenicity study for safety assessment of pesticide?.

14th International Conference of Toxicology (2016.10)

* Food Safety Commission Secretariat

Hirose A, Cui H, Ema M, Kanno J, Tsuda H^{*}, Nishimaki-Mogami T: Comparison with the NLRP3 inflammasome activations in THP-1 cells by various nanomaterial.

14th International Conference of Toxicology (2016.10)

* Nagoya City University

田邊思帆里, 青柳一彦^{*1}, 山口鉄生^{*2}, 横崎 宏^{*3}, 佐々木博己^{*1}: がん及び幹細胞における上皮間葉転換関連分子の遺伝子発現及びパスウェイ解析.

第75回日本癌学会学術総会 (2016.10)

*¹ 国立がん研究センター研究所

*² 徳島大学総合科学部

*³ 神戸大学大学院医学研究科

Fujita Y^{*}, Honda H^{*}, Matsumura S^{*}, Kawamoto T^{*}, Ito Y^{*}, Morita T, Morita O: Cytotoxicity-index transformation formulae and statistical-structural alerts for improvisation of current in silico clastogenicity evaluation.

2016 Environmental Mutagenesis and Genome Society 47th Annual Meeting (2016.9)

* Kao Corporation

Honda H^{*}, Fujita Y^{*}, Matsumura S^{*}, Kawamoto T^{*}, Ito Y^{*}, Morita T, Morita O^{*}: Cytotoxicity-index-transformation Formulae and statistical-structural alert enabling refinement of in silico evaluation of chromosomal damage.

2016 Environmental Mutagenesis and Genome Society 47th Annual Meeting (2016.9)

* Kao Corporation

Hamada S^{*1}, Shigano M^{*1}, Wakata A^{*2}, Kawakami S^{*3}, Uno F^{*4}, Sui H^{*5}, Yamada K^{*6}, Hagio S^{*7}, Momonami A^{*8}, Maeda A^{*9}, Terashima Y^{*10}, Ohshima W^{*11}, Morita T, Honma M, Hayashi M^{*4,12}: Novel Liver Micronucleus Assay using Formalin-fixed Rodent Liver.

2016 Environmental Mutagenesis and Genome Society 47th Annual Meeting (2016.09)

*¹ LSI Medience Corporation

*² Astellas Pharma

*³ Asahi Kasei Pharma

*⁴ Biosafety Research Center

*⁵ Food and Drug Safety Center

*⁶ Mitsubishi Tanabe Pharma

*⁷ Nissan Chemical Industries

*⁸ Suntory Business Expert

*⁹ Toray Industries

*¹⁰ Kissei Pharmaceutical

*¹¹ Yakult Honsha

*¹² Makoto International Consulting

小島肇：AOPの考え方，OECDによるAOPプロジェクトの目的，経緯と最終的なゴール。

第23回日本免疫毒性学会学術年会（2016.9）

Kojima H: International validation study on Hand1-Luc Embryonic stem cell test (Hand1-Luc EST) : A reporter gene assay using engineered mouse ES cells evaluate embryotoxicity in vitro.

5th Annual meeting of American Society for Cellular and Computational Toxicology (2016.9)

Yamada T, Tanaka Y^{*1}, Hasegawa R^{*1}, Sakuratani Y^{*1}, Yamada J^{*1}, Kamata E, Ono A, Yamazoe Y^{*2}, Mekenyan O^{*3}, Hayashi M^{*4}, Hirose A: Development of a case study on the read-across assessment of hepatotoxicity of allyl esters for OECD IATA case study project in 2015.

52th Congress of the European Societies of Toxicology (2016.9)

*¹ National Institute of Technology and Evaluation

*² Food Safety Commission Japan

*³ University "Prof. Assen Zlatarov"

*⁴ Makoto International Consulting

Hirose A, Kawamura T, Matsumoto M, Yamada T, Ono A, Ishii-Watabe A: Toxicity evaluation of extractables and leachables from apparatus used in the Single-Use System for manufacturing biologics.

52th Congress of the European Societies of Toxicology (2016.9)

Kojima H: Strategy on the OECD TG in Japan.

13th Annual meeting of Korean Society for Alternatives to Animal Experiments (2016.8)

Kojima H: The current status of non-animal test methods and prospects for Asian cooperation.

17th Annual Congress of European Society for Alternative to Animal Testing (2016.8)

Yamada T, Hirata-Koizumi M, Ise R^{*1}, Kato H^{*1}, Matsuyama T^{*1}, Nishimaki-Mogami T, Takahashi

M, Kawamura T, Ema M^{*2}, Hirose A, Ono A: Transcriptome analysis of an ultraviolet absorber, 2-(2'-hydroxy-3',5'-di-tert-butylphenyl) benzotriazole in rats.

36th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (2016.8)

*¹ Shin Nippon Biomedical Laboratories, Ltd.

*² National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

山添康^{*}，山田隆志，三森国敏^{*}：メトキシ酢酸とその関連物質の胎児毒性と精巢毒性－メチル基転移とヒストン修飾の役割－。

第43回日本毒性学会学術年会（2016.7）

* 内閣府食品安全委員会

広瀬明彦：低分子不純物の許容値の考え方。

第43回日本毒性学会学術年会（2016.6-7）

広瀬明彦：遺伝毒性発がん物質の有害性評価における推計学的手法の適用-アクリルアミドを例にして-

第43回日本毒性学会学術年会（2016.6-7）

小島肇：医薬品に係わる新添加剤の安全性評価における諸課題。

第43回日本毒性学会学術年会（2016.6-7）

小島肇：経済産業省プロジェクト「石油精製物質等の新たな化学物質規制に必要な国際先導の有害性試験法の開発：Arch-Tox」の計画概要。

第43回日本毒性学会学術年会（2016.6-7）

伊藤浩太^{*}，榊原隆史^{*}，古川正敏^{*}，奥村宗平^{*}，越田美^{*}，川村公太郎^{*}，松浦正男^{*}，小島肇：牛摘出角膜を用いた混濁度及び透過性試験（BCOP法：眼刺激性代替法試験）における角膜病理学的検査により弱刺激性物質の評価。

第43回日本毒性学会学術年会（2016.6-7）

* (株) 化合物安全性研究所

Kojima H: Japanese activities for alternative to animal testing around the world.

6th Workshop & Training of Alternative Methods (2016.6)

森田健: 農薬評価におけるマウス発がん性試験の必要性,
I. ラット発がん性試験に追加の意義.
第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6)

五十嵐智女, 小林克己, 川村智子, 松本真理子, 長瀬孝彦^{*1}, 勝亦芳裕^{*2}, 小野敦, 山田隆志, 広瀬明彦: 1,4-ジクロロブタンの反復投与毒性及び生殖発生毒性のスクリーニング評価.

第43回日本毒性学会学術年会 (2016.6)

^{*1} 日本バイオリサーチセンター

^{*2} ボゾリサーチセンター

Yamada T, Honma M, Hayashi M^{*}: Recent advances in Quantitative Structure-Activity Relationship (QSAR) and read-across for chemical safety assessment. ICCA-LRI and NIHS Workshop (2016.6)

^{*} Makoto International Consulting

Hirose A, Sakamoto Y^{*1}, Nishimaki-Mogami T, Taquahashi Y, Yamada T, Nishimura T^{*2}, Inomata A^{*1}, Nakae D^{*3}, Tsuda H^{*4}, Kanno J: Analysis of size-dependent carcinogenic potential of multiwalled carbon nanotubes. Global Cancer: Occurrence, Cause,

and Avenues to Prevention. IARC 50th Anniversary Conference (2016.6)

^{*1} Tokyo Metropolitan. Institute of Public Health

^{*2} Teikyo Heisei University

^{*3} Tokyo University of Agriculture

^{*4} Nagoya City University

小島肇: 国際機関で承認されているin vitro試験法. 日本組織培養学会第89回大会 (2016.5)

山本直樹^{*1}, 平松範子^{*1}, 加藤義直^{*2}, 佐藤淳^{*2}, 中田悟^{*2}, 松井優子^{*3}, 真野陽介^{*3}, 原和宏^{*3}, 増蘭夕紀子^{*3}, 中村政志^{*3}, 小島肇: ヒト不死化角膜上皮細胞を用いた三次元角膜モデルの有用性.

日本組織培養学会第89回大会 (2016.5)

^{*1} 藤田保健衛生大学

^{*2} 日本メナード (株)

^{*3} ホーユー (株)

Kojima H: View and suggestion about how to promote progress and cooperation in Asia. 2016上海化粧品科学フォーラム (2016.4)